

OWNER'S MANUAL 2022



701 Supermoto

ART. NO. 3402593ja



このたびは Husqvarna のモーターサイクルをお買い上げ頂き、ありがとうございます。最新のスポーツモーターサイクルを手に入れられたお客様に、これを十分満喫頂くため、適切なメンテナンスと手入れを行う事をお願いしています。

安全で楽しい走行をお楽しみ下さい。

お持ちのモーターサイクルのシリアルナンバーを下記に記して下さい。

車両識別番号 (📖 頁 13)	正規ディーラースタンプ
エンジンナンバー (📖 頁 14)	
キーナンバー (📖 頁 13)	

本オーナーズマニュアルは、公開時点現在、当該モデルシリーズの最新仕様に基づいて作成されています。しかし、車両の更なる改良により、製品と若干の差異が生じる可能性があります。

ここに記載された内容について、当社は何ら義務を負わないものと致します。Husqvarna Motorcycles GmbH は、記載された技術内容、価格、色、形、部品、サービス内容、構造、装備などにつき予告および理由の開示なく変更、代替品なく抹消、地域の状況に合わせ変更、並びに特定モデルの生産を予告なく停止する権利を有するものとします。商品入手の可否、写真・イラスト並びに記載内容との差異、印刷ミス並びに誤記に対し、Husqvarna Motorcycles は一切の責任を負いかねます。写真に使用されているモデルには、一部量産製品にはない特殊装備が施されています。

© 2021 Husqvarna Motorcycles GmbH, Mattighofen オーストリア

無断複写・転載を禁じます。

一部または全部並びにその種類を問わず、複製・複写には必ず著作者の書面による許可を要します。



ISO 9001(12 100 6061)

国際品質管理規格 ISO 9001 に基づき、Husqvarna Motorcycles では、到達しうる最高の製品品質を実現するための品質保証プロセスを導入しています。

発行: TÜV-Management Service

REG.NO. 12 100 6061

Husqvarna Motorcycles GmbH
Stallhofnerstraße 3
5230 Mattighofen, オーストリア

以下のモデルがこの書類の内容に該当します。:

701 Supermoto EU (F2603V3)



3402593ja

2021年11月

1	表示方法	5	6.14	同乗者用フットレスト	19
1.1	本書の表示マークについて	5	6.15	シフトレバー	19
1.2	使用文字種について	5	6.16	ブレーキペダル	20
2	安全の手引き	6	6.17	サイドスタンド	20
2.1	使用目的に応じた使用環境	6	6.18	フィルターキャップを開ける	20
2.2	誤使用	6	6.19	フィルターキャップを閉める	21
2.3	安全の手引き	6	7	コンビネーションインスツルメント	22
2.4	危険度と表示マーク	6	7.1	各部の名称	22
2.5	改造に関する警告	7	7.2	起動とテスト	22
2.6	使用時の安全性	7	7.3	コンビネーションインスツルメント を設定する	22
2.7	保護服	8	7.4	キロメートルかマイルを設定する	23
2.8	作業上の決まり	8	7.5	時刻を設定する	23
2.9	環境	8	7.6	サービス時期を設定する	24
2.10	オーナーズマニュアル	8	7.7	走行距離 1	24
3	重要な注意事項	10	7.8	走行距離 2	24
3.1	メーカー保証、法定保証	10	7.9	平均速度 1	25
3.2	油脂類、ケミカル類	10	7.10	平均速度 2	25
3.3	スペアパーツ、アクセサリ	10	7.11	走行時間 1	25
3.4	サービス	10	7.12	走行時間 2	26
3.5	写真	10	7.13	作動時間計	26
3.6	カスタマーサービス	10	7.14	時計	26
4	各部の名称	11	7.15	サービス実施時期の表示	26
4.1	各部の名称 左前方 (代表写真)	11	7.16	回転数表示	27
4.2	各部の名称 右後方 (代表写真)	12	7.17	走行距離計	27
5	シリアルナンバー	13	7.18	シフト表示	27
5.1	車両識別番号	13	7.19	サービス表示	28
5.2	タイプラベル	13	7.20	予備燃料の走行距離	28
5.3	キーナンバー	13	8	運転操作の前に	29
5.4	エンジンナンバー	14	8.1	初めて運転操作を行う際の注意	29
5.5	フロントフォークのタイプナン バー	14	8.2	慣らし運転をする	30
5.6	ショックアブソーバータイプナン バー	14	8.3	車両に荷物を積む	30
6	操作各部	15	9	運転上の注意事項	32
6.1	クラッチレバー	15	9.1	運転操作の前に必ず行う点検・メン テナンス作業	32
6.2	ブレーキレバー	15	9.2	車両を始動する	32
6.3	スロットルグリップ	15	9.3	発進	33
6.4	ホーンスイッチ	15	9.4	シフト操作と走行	33
6.5	ライトスイッチ	16	9.5	Easy Shift	36
6.6	ターンシグナルスイッチ	16	9.6	モーターサイクルトラクションコン トロール	36
6.7	エマージェンシーOFFスイッチ	16	9.7	ブレーキをかける	37
6.8	スタートキー	16	9.8	停止と駐車	38
6.9	コンビネーションスイッチ	17	9.9	輸送	39
6.10	イグニッション/ハンドルロック	17	9.10	故障時の牽引	39
6.11	インジケータランプ	18	9.11	燃料を給油する	40
6.12	シートロック解除レバー	19	10	サービスプラン	42
6.13	サイドグリップ	19	10.1	補足情報	42
			10.2	必須作業	42

10.3	推奨作業.....	43	12.27	クラッチレバーの基本位置を調整する.....	62
11	シャーシを調整する.....	44	12.28	油圧式クラッチのフルードレベルを点検・調節する.....	63
11.1	フロントフォーク/ショックアブソーバー.....	44	13	ブレーキシステム.....	64
11.2	フロントフォークのコンプレッションダンパーを調節する.....	44	13.1	アンチロック・ブレーキシステム (ABS).....	64
11.3	フロントフォークのリバウンドダンパーを調節する.....	44	13.2	ブレーキレバーの基本位置を調整する.....	65
11.4	ショックアブソーバーのコンプレッションダンパー.....	45	13.3	ブレーキディスクを点検する.....	65
11.5	ショックアブソーバーのコンプレッションダンパー低速を調節する.....	45	13.4	前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する.....	66
11.6	ショックアブソーバーのコンプレッションダンパー高速を調節する.....	46	13.5	前輪ブレーキのブレーキフルードを補給する.....	67
11.7	ショックアブソーバーのリバウンドダンパーを調節する.....	47	13.6	前輪ブレーキのブレーキパッドを点検する.....	68
11.8	ハンドルバーの位置.....	47	13.7	ブレーキペダルの遊びを点検する.....	68
11.9	ハンドルバーの位置を調節する.....	48	13.8	ブレーキペダルの基本位置を調整する.....	69
12	サービス作業シャーシ.....	49	13.9	後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する.....	69
12.1	車両をリフトスタンドでジャッキアップする.....	49	13.10	後輪ブレーキのブレーキフルードを補給する.....	70
12.2	車両をリフトスタンドから降ろす.....	49	13.11	後輪ブレーキのブレーキパッドを点検する.....	71
12.3	車両をリアスタンドで持ち上げる.....	49	14	車輪、タイヤ.....	72
12.4	リアスタンドから車両を降ろす.....	50	14.1	前輪を取り外す.....	72
12.5	フロントスタンドで車両を持ち上げる.....	50	14.2	前輪を取り付ける.....	73
12.6	フロントスタンドから車両を降ろす.....	50	14.3	後輪を取り外す.....	74
12.7	フォークレグのダストシールを清掃する.....	51	14.4	後輪を取り付ける.....	75
12.8	フォークカバーを取り外す.....	51	14.5	後輪のハブダンパーを点検する.....	77
12.9	フォークカバーを取り付ける.....	52	14.6	タイヤの状態を点検する.....	77
12.10	フォークレグのエア抜きをする.....	52	14.7	チューブレスタイヤシステム.....	79
12.11	シートを取り外す.....	52	14.8	タイヤ空気圧を点検する.....	79
12.12	シートを取り付ける.....	53	14.9	スポークの張りを点検する.....	80
12.13	車載工具を取り外す.....	53	14.10	バンク修理剤の使用法.....	80
12.14	車載工具を収納する.....	53	15	電装系.....	81
12.15	サイドカバーを取り外す.....	54	15.1	12V バッテリーを取り外す.....	81
12.16	サイドカバーを取り付ける.....	54	15.2	12V バッテリーを取り付ける.....	81
12.17	フロントフェンダーを取り外す.....	55	15.3	12V バッテリーを充電する.....	82
12.18	フロントフェンダーを取り付ける.....	55	15.4	メインヒューズを交換する.....	83
12.19	エアフィルターを取り外す.....	56	15.5	ABS のヒューズを交換する.....	84
12.20	エアフィルターを取り付ける.....	56	15.6	各電装系部品のヒューズを交換する.....	85
12.21	チェーンの汚れを点検する.....	57	15.7	ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り外す.....	87
12.22	チェーンを清掃する.....	57	15.8	ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り付ける.....	87
12.23	チェーンの遊びを点検する.....	58	15.9	ヘッドライトバルブを交換する.....	88
12.24	チェーンの遊びを調節する.....	58			
12.25	チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケット、チェーンガイドを点検する.....	59			
12.26	チェーンガイドを調節する.....	62			

15.10	パーキングライトのバルブを交換する	89	22.4	シャーシ	116
15.11	ヘッドライトの設定を点検する	89	22.5	電装系	117
15.12	ヘッドライトの照明距離を調節する	90	22.6	タイヤ	118
15.13	ACC1 と ACC2	90	22.7	フロントフォーク	118
15.14	診断プラグ	90	22.8	ショックアブソーバー	118
16	冷却システム	91	22.9	締付けトルク、シャーシ	119
16.1	冷却システム	91	23	油脂類	124
16.2	不凍液とクーラントのレベルを点検する	91	24	ケミカル類	126
16.3	クーラントのレベルを点検する	92	25	規格	127
16.4	クーラントを排出する	93	26	用語索引	128
16.5	冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをする	94	27	表示マーク索引	129
16.6	クーラントを交換する	95	27.1	赤のマーク	129
17	エンジンを調整する	97	27.2	黄色とオレンジ色のマーク	129
17.1	走行モードを変更する	97	27.3	緑と青のマーク	129
17.2	トラクションコントロールを設定する	97	索引		130
17.3	シフトレバーの基本位置を点検する	98			
17.4	シフトレバーの基本位置を調整する	98			
18	エンジンで行うサービス作業	99			
18.1	燃料スクリーンを交換する	99			
18.2	エンジンオイルのレベルを点検する	100			
18.3	エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃する	100			
18.4	エンジンオイルを補給する	103			
19	清掃、手入れ	105			
19.1	洗車をする	105			
19.2	冬季運転における点検・メンテナンス作業	106			
20	保管	108			
20.1	保管	108			
20.2	保管後、運転操作の前に	109			
21	トラブルシューティング	110			
22	仕様一覧	112			
22.1	エンジン	112			
22.2	締付けトルク、エンジン	113			
22.3	容量	116			
22.3.1	エンジンオイル	116			
22.3.2	クーラント	116			
22.3.3	燃料	116			

1.1 本書の表示マークについて

以下、使用されている表示マークについて説明します。



予想される正常な反応を示します。例: 特定の作業ステップや機能実行の結果。



想定外の異常な反応を示します。例: 特定の作業ステップや機能実行の結果。



専門知識や技術知識を必要とする作業を示しています。ご自身の安全のため、これら作業は Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで実施するようにして下さい！特別な訓練を受けた専門技術者が必要な専用ツールを使って、お客様の車両を最適な状態にメンテナンス致します。



参照頁を示します (詳細については記載の頁を参照して下さい)。



補足情報や役に立つ情報を示します。



確認ステップの結果を示します。



電圧の測定を示します。



電流の測定を示します。



必要に応じた再加工を含む作業の終わりについて示します。

1.2 使用文字種について

以下、使用されている文字種について説明します。

固有名詞

固有名詞を示します。

名前®

登録商標を示します。

マーク™

トレードマークを示します。

下線を引いた用語

車両の技術的詳細を参照または用語解説にある専門用語を示します。

2 安全の手引き

2.1 使用目的に応じた使用環境

この車両は、通常の道路走行で想定される使用環境に耐えられるような設計・構造となっています。この車両は、サーキットやアスファルト舗装されていない場所での走行は想定されていません。



参考

本車両は承認を受けたモデルのみ公共道路での走行が許可されています。

2.2 誤使用

車両は使用目的に従った方法でのみ使用してください。

使用目的に従わない場合、人、車両、そして環境への危険の原因となります。

使用目的に従った使用、また定義されている使用環境の範囲外で車両を使用した場合、それは誤使用とみなされます。

油脂類およびケミカル類がそれぞれの使用に適した仕様条件を満たしていない場合も誤使用とみなされます。

2.3 安全の手引き

記載された製品の安全な環境のために安全の手引きに留意して下さい。そのためにも本説明書および同梱されたその他すべての説明書をよくお読み下さい。この安全の手引きは文章が見やすく記載され、重要箇所はリンクが添付されています。



参考

記載された製品のよく見える箇所に注意・警告表示が貼付されています。注意または警告表示をはがさないで下さい。これら表示がないと危険が認識できず、お客様ご自身並びに周囲の方々が怪我をされる恐れがあります。

2.4 危険度と表示マーク



危険

適切に対応しないと直接および確実に死亡や後遺症を残す重傷につながる危険を示します。



警告

適切に対応しないと死亡や後遺症を残す重傷につながる恐れのある危険を示します。



注意

適切に対応しないと場合によっては軽傷につながる恐れのある危険を示します。

情報

適切に対応しないと車両または部品に重大な損傷をもたらす危険を示します。



情報

適切に対応しないと環境汚染につながる危険を示します。

2.5 改造に関する警告

ノイズダンパー部品の改造を行うことは禁じられています。以下の処置および該当する状態の製造は法的に禁じられています：

- 1 防音のために取り付けられている装備や部品のいずれかを、新車がエンドユーザーに販売または引き渡される前に取り外したり、機能しないように変更したりする事。あるいは車両の使用期間中にメンテナンス、修理、交換以外の目的で取り外したり、機能しないように変更したりする事。
- 2 そのように設置したり部品を取り外す、もしくは機能しないようにした車両の使用。

違法改造の例：

- 1 メインサイレンサー、バツフルプレート、マニホールド、その他排気系統の部品の取り外しもしくは穿孔。
- 2 インテークシステム部品の取り外しまたは穿孔。
- 3 非合法的なメンテナンス状態での使用。
- 4 車両の可動部品、あるいは排気装置またはインテークシステムの部品を製造者が承認していない部品と交換する事。

2.6 使用時の安全性



危険

事故の危険性 運転能力および判断力が十分でない運転者は、自身および他の方への危険となります。

- アルコール、薬物、薬品などにより運転能力が低下している場合、車両の運転をしないでください。
- 肉体的、精神的に運転能力が低下している場合も、車両の運転をしないでください。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。



警告

火傷の危険性 一部の部品は運転中非常に熱くなります。

- 車両部品が冷めるまで排気装置、ラジエーター、エンジン、ダンパー、ブレーキシステムなどの部品には触らないでください。
- 車両部品を十分に冷ましてから作業を実行してください。

車両が完璧に整備された状態である事を必ず確認し、法規定に則った安全で環境に優しい運転を心がけて下さい。

公道では適切な運転許可証が必要となります。

安全性を損なうような不具合がある場合は、すぐに Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで処置を受けて下さい。

車両に貼付されている注意・警告表示に従って下さい。

2.7 保護服



警告

怪我の危険性 不足および欠陥のある保護服の着用は安全面での危険性を高めます。

- 走行時は必ずヘルメット、ブーツ、手袋、プロテクターが取り付けられたズボンやジャケットなどの保護服を着用してください。
- 損傷等がなく、かつ法規制に従った保護服を常に着用して下さい。

お客様ご自身の安全のため、Husqvarna Motorcycles では運転の際には必ず適切な保護服を着用する事をお勧めしています。

2.8 作業上の決まり

特に断りのない限り、作業ごとにイグニッションをオフにするか (イグニッションスイッチまたはリモートキーが装備されているモデル)、エンジンを停止する (イグニッションスイッチまたはリモートキーが装備されていないモデル) 必要があります。

作業の中には専用ツールを必要とするものがあります。専用ツールは車両の付属品ではありませんが、()に記載されている番号を指定して注文する事ができます。例: ベアリングプーラー (15112017000)

特に断りのない限り、すべての作業および記載内容には通常の条件が適用されます。

外気温	20 °C
外気圧	1,013 mbar
相対湿度	60 ± 5 %

組み立ての際再利用できない部品 (緩み止めスクリューとナット、拡張ネジ、ガスケット、Oリング、割りピン、リテーナープレートなど) は新しい部品と交換します。

スクリュー脱落にはゆるみ止め材 (例、Loctite®) が必要になることがあります。使用の際にはメーカーの特別な注意事項を参照して下さい。

新しい部品にゆるみ止め剤 (Precote®など) が塗布されている場合、追加的にゆるみ止め剤を重ねて塗布する必要はありません。

分解後も再度使用する部品は清掃し、磨耗や損傷がないかを点検します。摩耗・損傷した部品は交換します。

修理およびサービス終了後は、車両が安全に使用できる状態である事を確認して下さい。

2.9 環境

責任感をもってモーターサイクルと接する事で問題や対立の発生を避ける事ができます。モーターサイクルの明るい未来のためにも、法律で定められた範囲でモーターサイクルを使用し、環境意識を持ち、他人の権利を尊重する事を常に心がけて下さい。

古い燃料、その他燃料およびケミカル類、古くなった部品の廃棄は各国の法律および規則を遵守して下さい。

モーターサイクルは古い車両の廃棄に関する EU 指令の対象ではないので、法的な規定はありません。お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

2.10 オーナーズマニュアル

初めてツーリングに出る前に、必ずこのオーナーズマニュアルを全頁注意して読んで下さい。車両の操作や取り扱い、メンテナンスのために有用なヒントや情報が盛り込まれています。車両を自分に合った最適な状態に調整し、ご自身を怪我から守る対処法を知るにはこれ以外の方法はありません。



参考

必要な時にいつでも確認できるよう、オーナーズマニュアルは端末などに保存しておいて下さい。

車両について、ここに記載されていない情報をお求めの場合やご不明な点がございましたら、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。

オーナーズマニュアルはモーターサイクルの重要な部品の一部です。転売する際、オーナーズマニュアルは新しい所有者が新たにダウンロードしなければなりません。

オーナーズマニュアルは、QRコードまたは納車証明書に記載されているリンクから何度もダウンロードすることができます。

オーナーズマニュアルは Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで、または Husqvarna Motorcycles ホームページからダウンロードすることができます。印刷されたオーナーズマニュアルは、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーから注文することもできます。

Husqvarna Motorcycles インターナショナルサイト: www.husqvarna-motorcycles.com

3 重要な注意事項

3.1 メーカー保証、法定保証

サービスプランに規定された作業は必ず Husqvarna Motorcycles の正規ディーラーで実施し、**Husqvarna Motorcycles Dealer.net**で証明を受けて下さい。この証明がないとメーカー保証に対する一切の請求が無効となります。また、車両の変更・改造に起因する直接・間接の損害はメーカー保証の対象外です。

3.2 油脂類、ケミカル類



情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。

オーナーズマニュアルおよび仕様に応じた油脂類とケミカル類を使用して下さい。

3.3 スペアパーツ、アクセサリ

ご自身の安全のため、Husqvarna Motorcycles により承認または推奨されたスペアパーツ並びにアクセサリのみを使用し、これら部品の取り付けは、Husqvarna Motorcycles の正規ディーラーで行って下さい。それ以外の製品およびその使用に起因する損害について、Husqvarna Motorcycles は一切その責任を負いかねます。関連する説明文で ()内に記載されているスペアパーツやアクセサリもあります。お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

最新の **Husqvarna Motorcycles Technische Zubehör** については、Husqvarna Motorcycles のホームページをご覧ください。

Husqvarna Motorcycles インターナショナルサイト: www.husqvarna-motorcycles.com

3.4 サービス

故障を避け、早期摩耗を防ぐには、オーナーズマニュアルの記載に従ってエンジンとシャーシのサービス、手入れ、調整作業を行う事が重要です。シャーシの調整を間違えると、シャーシ部品の損傷や破損を引き起こす恐れがあります。

ほこりの多い環境や強い雨、厳しい暑さ、あるいは重い荷物を積むなど、過酷な条件で車両を使用すると、エアフィルター、駆動装置、ブレーキシステム、サスペンションなどで部品の磨耗を大幅に早める原因となります。その結果、次回サービス実施時期に達する前に点検や部品の交換が必要になる事があります。

規定の慣らし運転時間とサービス時期を必ず守って下さい。これは、車両の寿命を長くするために非常に重要な事です。

走行距離と時間間隔は最初のインターバルで決定します。

3.5 写真

注意事項に記載された写真には一部特別装備が施されています。

より分かりやすく表示および説明するために一部部品を取り外したり、記載していない場合があります。これらの記述に関する取り外しは必ずしも必要ではありません。記載内容に留意して下さい。

3.6 カスタマーサービス

お手持ちの製品や Husqvarna Motorcycles に関するご質問については、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーの一覧は、Husqvarna Motorcycles のホームページに掲載されています。Husqvarna Motorcycles インターナショナルサイト: www.husqvarna-motorcycles.com

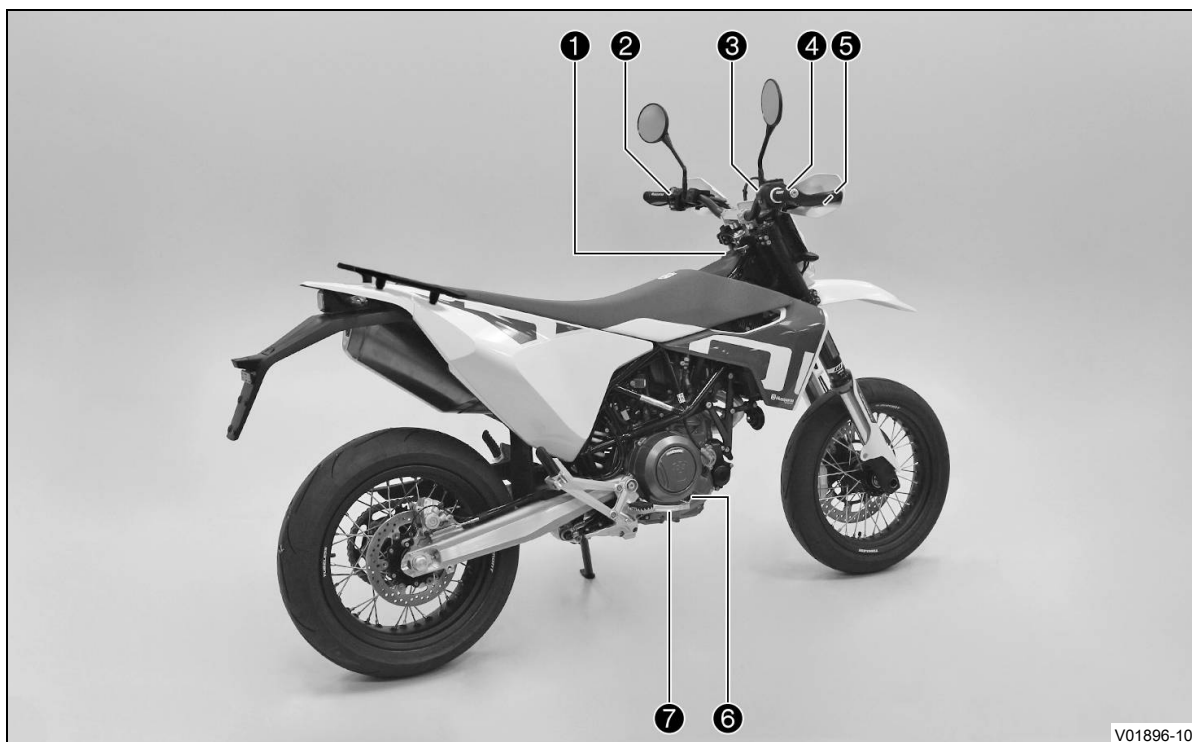
4.1 各部分の名称 左前方 (代表写真)



- ① クラッチレバー (📖 頁 15)
- ② フィラーキャップ
- ③ サイドグリップ (📖 頁 19)
- ④ 同乗者用フットレスト (📖 頁 19)
- ⑤ サイドスタンド (📖 頁 20)
- ⑥ シートロック解除レバー (📖 頁 19)
- ⑦ シフトレバー (📖 頁 19)

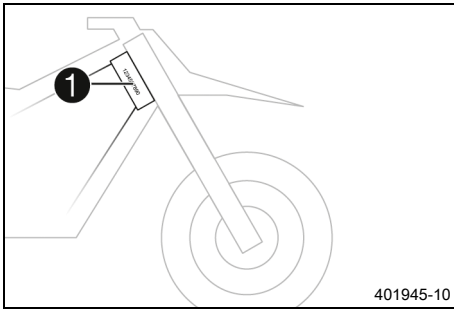
4 各部の名称

4.2 各部の名称 右後方 (代表写真)



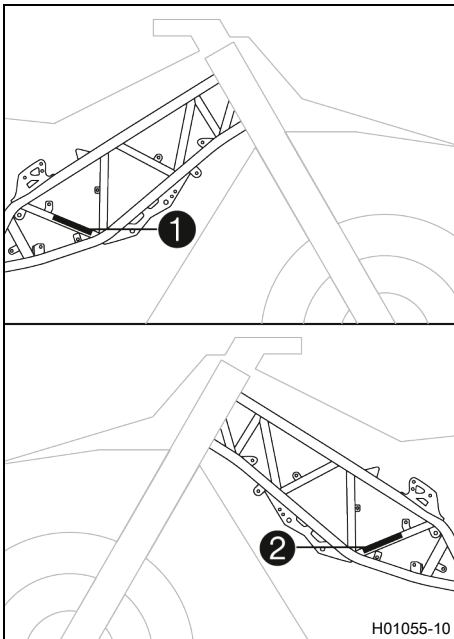
- ① イグニッション/ハンドルロック (📖 頁 17)
- ② ホーンスイッチ (📖 頁 15)
- ② ターンシグナルスイッチ (📖 頁 16)
- ② ライトスイッチ (📖 頁 16)
- ③ スタートキー (📖 頁 16)
- ③ エマージェンシーOFFスイッチ (📖 頁 16)
- ④ スロットルグリップ (📖 頁 15)
- ⑤ ブレーキレバー (📖 頁 15)
- ⑥ エンジンオイル点検窓
- ⑦ ブレーキペダル (📖 頁 20)

5.1 車両識別番号



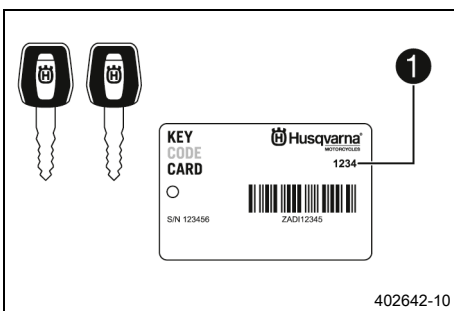
シャリヨウシキベツバンゴウ①はステアリングヘッドの右に刻印されています。

5.2 タイプラベル



タイプラベルヨーロッパ①は右側のフレームに貼付されています。
タイプラベルオーストラリア②は左側のフレームに貼付されています。

5.3 キーナンバー

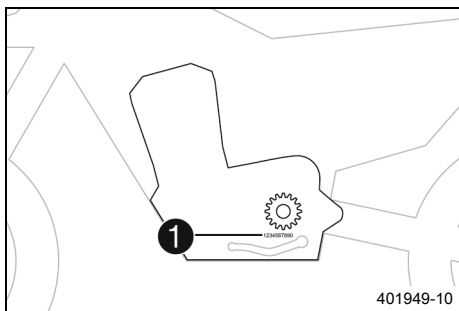


キーナンバー①はKEYCODECARDに記載してあります。

i 参考
予備のキーを注文する際にキーナンバーが必要となります。KEYCODECARDは安全な場所に保管して下さい。

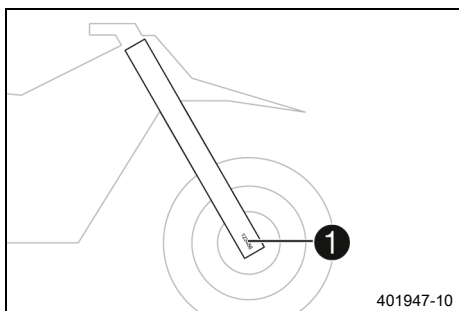
5 シリアルナンバー

5.4 エンジンナンバー



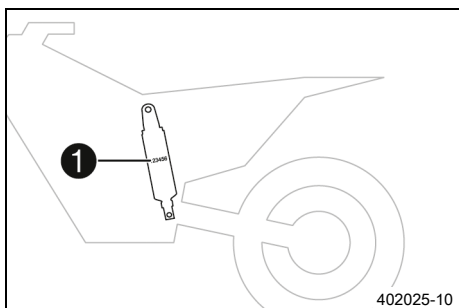
エンジンナンバー①はエンジンの左側、フロントスプロケットの下に刻印されています。

5.5 フロントフォークのタイプナンバー



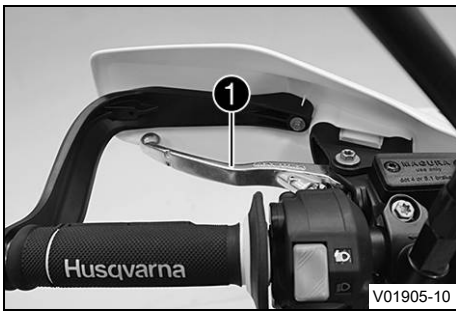
フロントフォークのタイプナンバー①はフォークレッグのアクスル通し穴の内側に刻印されています。

5.6 ショックアブソーバータイプナンバー



ショックアブソーバータイプナンバー①はダンパーの左側に表示されています。

6.1 クラッチレバー



クラッチレバー①は左のハンドルバーに設置されています。
クラッチは油圧で作動し、自動調整されています。

6.2 ブレーキレバー



ブレーキレバー①は右のハンドルバーに設置されています。
ブレーキレバーで前輪ブレーキを作動します。

6.3 スロットルグリップ



スロットルグリップ①は右のハンドルバーに設置されています。

6.4 ホーンスイッチ



ホーンスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

- ホーンスイッチが基本位置にある
- ホーンスイッチが押されている- この位置でホーンが鳴ります。

6.5 ライトスイッチ



ライトスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

	ヘッドライト (ロービーム)点灯-ライトスイッチの下を押します。ヘッドライト (ロービーム)とテールランプが点灯します。
	ヘッドライト (ハイビーム)点灯-ライトスイッチの上を押します。ヘッドライト (ハイビーム)とテールランプが点灯します。

6.6 ターンシグナルスイッチ



ターンシグナルスイッチ①は左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

	ターンシグナル停止
	左のターンシグナルを作動- ターンシグナルスイッチを左に押します。ターンシグナルが作動し、スイッチは中央位置に戻ります。
	右のターンシグナルを作動- ターンシグナルスイッチを右に押します。ターンシグナルが作動し、スイッチは中央位置に戻ります。

ターンシグナルを停止するには、ターンシグナルスイッチをスイッチボックスに向かって押します。

6.7 エマージェンシーOFFスイッチ



エマージェンシーOFFスイッチ①は右のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

	エマージェンシーOFFスイッチがオフ-この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、エンジン作動中はこれを停止し、停止中の場合はエンジンをかける事ができません。
	エマージェンシーOFFスイッチがオン- 運転する際はこの位置に設定します。イグニッション回路が接続されています。

6.8 スタートキー

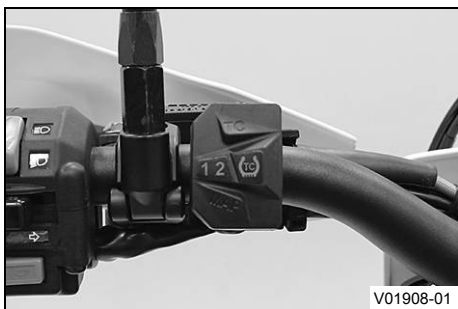


スタートキー①は右のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

- スタートキー③が基本位置にある
- スタートキー③が押されている- この位置でセルフスターターモーターを作動します。

6.9 コンビネーションスイッチ

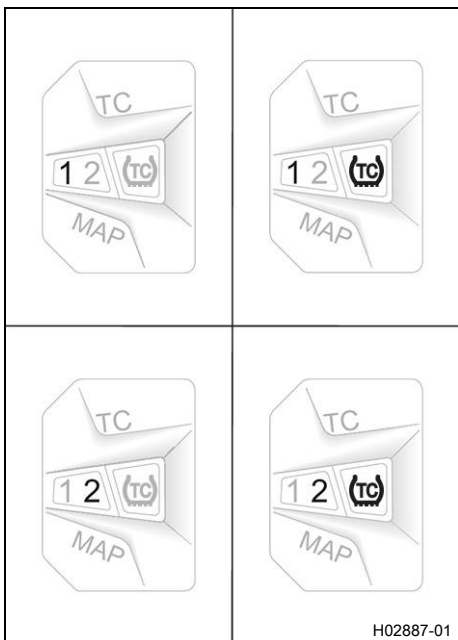


V01908-01

コンビネーションスイッチは左のハンドルバーに設置されています。

確認すべき状態

1	STREET – LED1が点灯している場合、走行モード STREET とトラクションコントロールがオンになっています。
1TC	STREET 、TC 無効 – 1とTCのLED が点灯している場合、走行モード STREET は有効で、トラクションコントロールはオフになっています。
2	SPORT – LED2が点灯している場合、走行モード SPORT 、反応が遅めのトラクションコントロール、ABS モード Supermoto は有効です。
2TC	SPORT 、TC 無効 – LED2とTCが点灯している場合、走行モード SPORT と ABS モード Supermoto は有効です。トラクションコントロールは無効です。



H02887-01

コンビネーションスイッチは現行の走行モードとトラクションコントロールの設定を表示します。

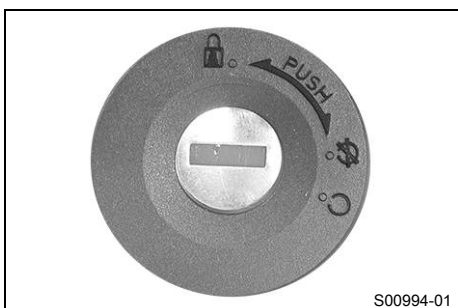
コンビネーションスイッチの**MAP**キーでは走行モード、トラクションコントロール、ABS モードを変更することができます。コンビネーションスイッチの**TC**キーではトラクションコントロールをオン / オフすることができます。

i 参考

イグニッションをオンにすると、機能点検のため3つのスイッチのLED全てが点灯します。

走行中に3つ全てのLEDが点灯した場合、エンジン制御ユニットが不具合を検出しています。早急にHusqvarna Motorcycles 正規ディーラーで点検を行ってください。

6.10 イグニッション / ハンドルロック




S00994-01

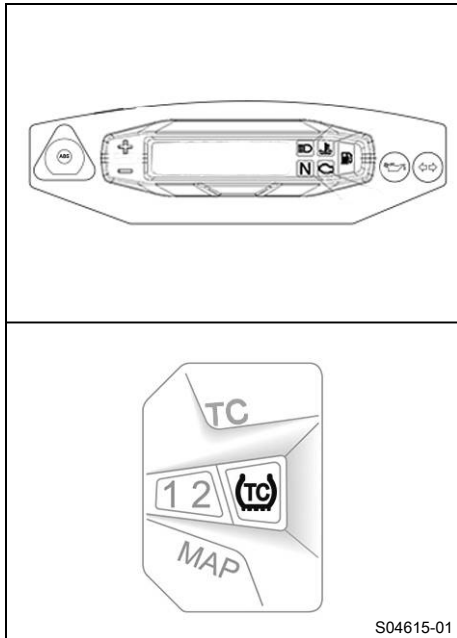
イグニッション / ハンドルロックはシートの前方に設置されています。

確認すべき状態

	イグニッションがオフ OFF – この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、エンジン作動中はこれを停止し、停止中の場合はエンジンをかける事ができません。イグニッションキーを抜く事ができます。
	イグニッションがオン ON – この位置ではイグニッション回路が接続されており、エンジンをかける事ができます。

	ハンドルのロック-この位置ではイグニッション回路が接続されておらず、ハンドルはロックされています。イグニッションキーを抜く事ができません。
-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

6.11 インジケータランプ



確認すべき状態

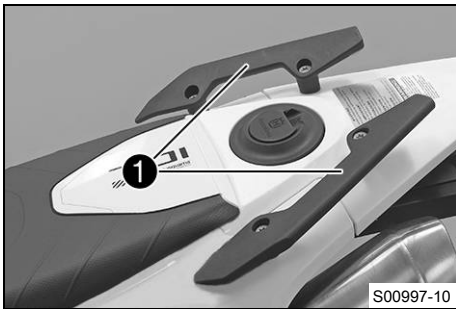
	ABS 警告ランプが黄色に点灯 / 点滅-ABS警告ランプが点灯している場合、ABS はオンになっていません。ABS 警告ランプは不具合が検出された場合にも点灯します。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。ABS 警告ランプがゆっくりと点滅している場合、ABS モード Supermoto は有効です。
	ハイビームインジケータランプが青く点灯-ハイビームが点灯しています。
	燃料レベル警告ランプがオレンジに点灯-燃料レベルがリザーブマークに達しています。
	不具合インジケータランプがオレンジに点灯-OBD(オンボード・ダイアグノーシス)が車両の電気システムで不具合を検出しました。交通規制に従った方法で速やかに停車し、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
	クーラント温度警告ランプが赤く点灯-クーラントの温度が危険な値に達しています。交通規制に従った方法で速やかに停止し、エンジンを切り、冷却させてからフルードレベルを点検します。
	ニュートラルインジケータランプが緑に点灯-ギアがニュートラルに入っています。
	ターンシグナルインジケータランプが緑に点滅-ターンシグナルが作動しています。
	オイル圧力警告ランプが赤く点灯-油圧が低過ぎます。交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを止めます。
	TC インジケータランプが黄色に点灯 / 点滅-TC インジケータランプが点灯している場合、コーナリング MTC (頁 36)はオンになっていません。TC インジケータランプと両走行モードが同時に点灯している場合、不具合が検出されています。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。TC インジケータランプはコーナリング MTC が稼働すると点滅します。

6.12 シートロック解除レバー



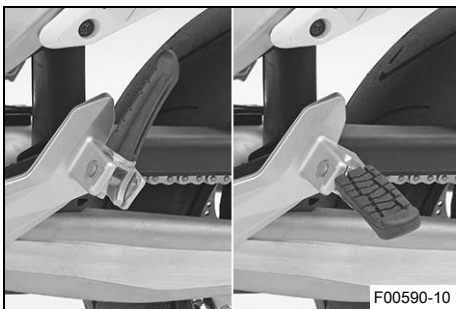
シートロックはベルト①で解除することができます。

6.13 サイドグリップ



サイドグリップ①は車両を移動する際に使用します。同乗者を乗せている場合、同乗者はサイドグリップをつかんで身体を支える事ができます。

6.14 同乗者用フットレスト

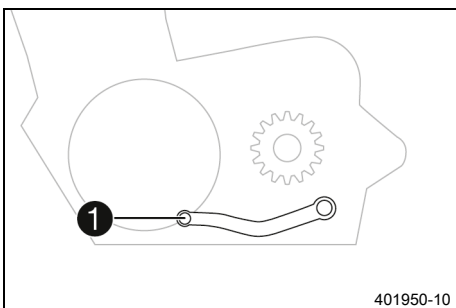


同乗者用フットレストは開閉式になっています。

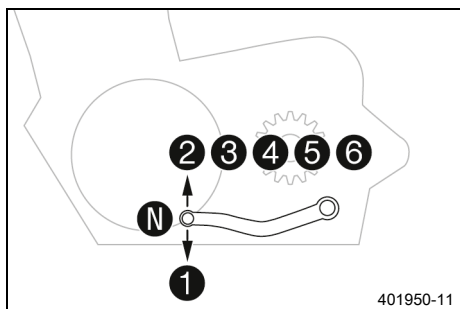
確認すべき状態

- 同乗者用フットレストが収納された状態- 同乗者がいない場合。
- 同乗者用フットレストが展開された状態- 同乗者がいる場合。

6.15 シフトレバー

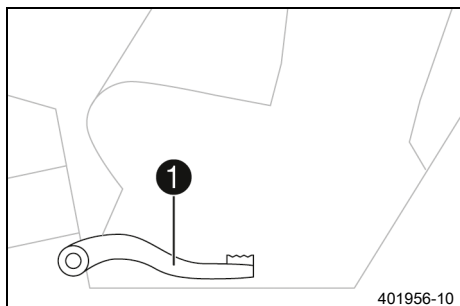


シフトレバー①はエンジンの左側に設置されています。



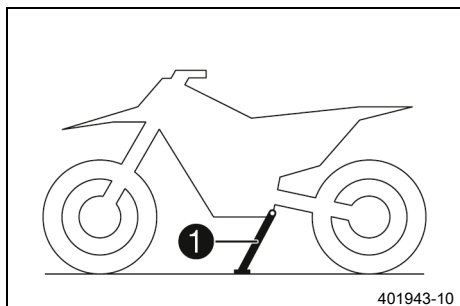
各ギアのポジションは図の通りです。
ニュートラルは1速と2速の間にあります。

6.16 ブレーキペダル



ブレーキペダル①は右のフットレストの前方にあります。
ブレーキペダルで後輪ブレーキを作動します。

6.17 サイドスタンド



サイドスタンド①は車両の左側に設置されています。
サイドスタンドは車両を立てるのに使用します。

参考

走行中はサイドスタンドを上には収納して下さい。
サイドスタンドは安全スタートシステムと連結しています。
運転上の注意事項の説明に従って下さい。

確認すべき状態

- サイドスタンドが開かれている- サイドスタンドで車両を立てることができます。安全スタートシステムが作動していません。
- サイドスタンドが収納されている- 走行中は必ずこの位置にして下さい。安全スタートシステムは作動していません。

6.18 フィラーキャップを開ける



危険

火事の危険 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。



警告

中毒の危険性 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。
- 燃料は適切なキャニスターに入れ、子供の手の届かない場所に保管して下さい。



情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。



- フィラーキャップ①のカバーを上を開け、イグニッションキーを差し込みます。
- イグニッションキーを時計と反対回りに 90 度回し、フィルターキャップを外します。



参考

フィルターキャップにはフューエルタンクのエア抜きホースが装備されています。

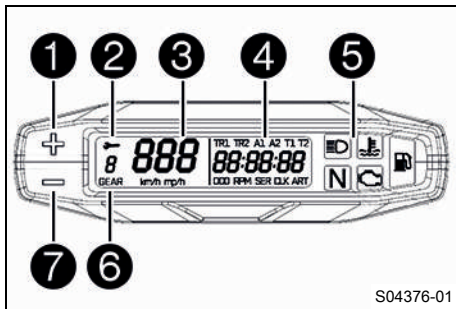
6.19 フィラーキャップを閉める



- フィラーキャップを取り付け、イグニッションキーを時計回りに 90 度回します。
- イグニッションキーを抜き、カバーを閉めます。

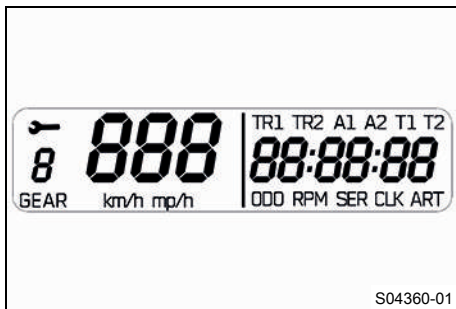
7 コンビネーションインストルメント

7.1 各部の名称



- ① +スイッチ
- ② サービス表示 (📖 頁 28)
- ③ 速度表示
- ④ ディスプレイ
- ⑤ インジケータランプ (📖 頁 18)
- ⑥ シフト表示 (📖 頁 27)
- ⑦ -スイッチ

7.2 起動とテスト



コンビネーションインストルメントを起動する
イグニッションをオンにすると、コンビネーションインストルメントが起動します。

ディスプレイテスト

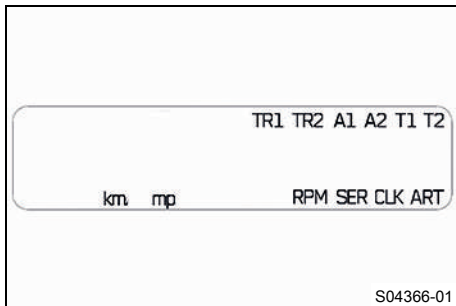
画面の機能テストのため、全表示アイテムを短く表示します。

7.3 コンビネーションインストルメントを設定する

条件

車両が停止している。

- 両方のキーを 3～5 秒間押し続けます。
- ✓ セットアップメニューが表示されます。



参考

セットアップメニューではすべての表示を有効化および無効化することができます。

- +ボタンで好みの表示を選択します。
- -ボタンで選択した表示を有効化または無効化します。

参考

有効化された表示は早く点滅します。
無効化された表示はゆっくり点滅します。

- セットアップメニューが閉じるまで+ボタンを何度か押しします。

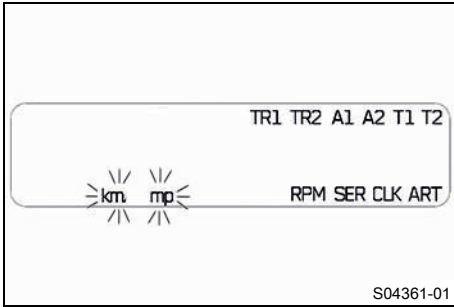
参考

セットアップメニューが閉じると、+または-ボタンで有効化されたディスプレイを切り替えることができます。

7.4 キロメートルかマイルを設定する

参考

単位を変更しても値は保存され、選択単位に合わせて換算されます。
国に応じた設定を選択して下さい。

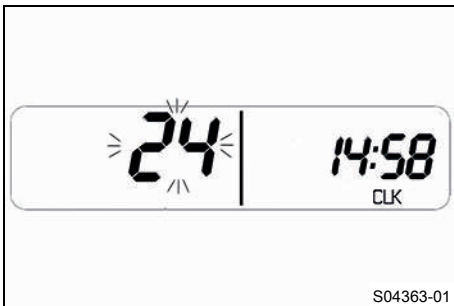


条件

車両が停止している。

- 両方のキーを3~5秒間押し続けます。
- ✓ セットアップメニューが表示されます。
- +ボタンを何度か押して、kmまたはmpを点滅させます。
- -ボタンをkmからmpに、またはmpからkmに切り替えます。
- +ボタンを押します。
- ✓ 変更された設定が適用され、設定メニューが閉じます。

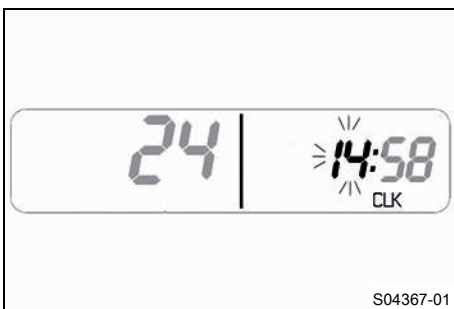
7.5 時刻を設定する



条件

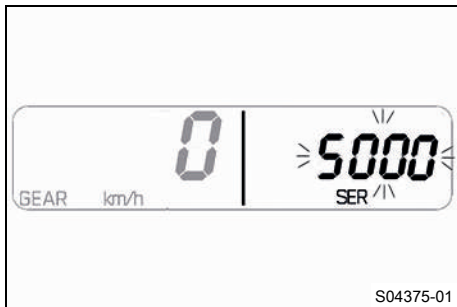
車両が停止している。

- +または-ボタンを何度か押し、CLKをコンビネーションインストルメントに表示させます。
- -ボタンを3~5秒間押し続けます。
- ✓ コンビネーションインストルメントが時計の設定モードに切り替わります。
- -キーを押して時計の表示を24時間もしくは12時間表記にするかを選択します。
- +キーで選択を確定します。
- ✓ 設定が適用され、コンビネーションインストルメントは自動で次のメニュー項目に切り替わります。
- -ボタンで時間を設定します。
- +キーで選択を確定します。
- ✓ 設定が適用され、コンビネーションインストルメントは自動で次のメニュー項目に切り替わります。
- -ボタンで分を設定します。
- +キーで選択を確定します。
- ✓ 設定が適用され、設定モードが閉じます。



7 コンビネーションインストルメント

7.6 サービス時期を設定する



条件

車両が停止している。

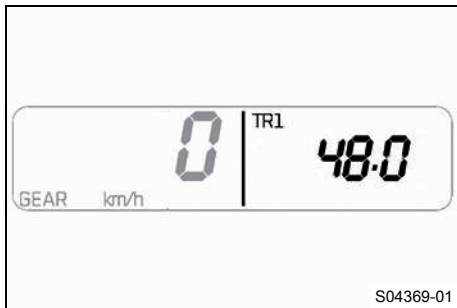
- +または-ボタンを何度か押して、SERをコンビネーションインストルメントに表示させます。
- -ボタンを長く押して、サービス時期の表示を点滅させます。
- 目的のサービス時期が表示されるまで-ボタンを何度か押しします。

参考

表示は 500 から 10000 の範囲で設定できます。

- 表示が点滅しなくなるまで- ボタンを 3~ 5 秒間押し続けます。

7.7 走行距離 1



- +または-ボタンを何度か押して、TR1をコンビネーションインストルメントに表示させます。

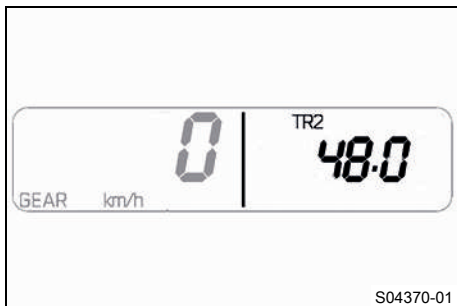
TR1モードでは最後のリセットからの走行距離 1 が表示されます (例、給油の間隔)。

参考

9999.9 までカウントされると、TR1の値が自動的にゼロにリセットされます。

■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを 2~ 3 秒間押し続けます。	TR1の表示をゼロにリセットします。

7.8 走行距離 2



- +または-ボタンを何度か押して、TR2をコンビネーションインストルメントに表示させます。

TR2モードでは最後のリセットからの走行距離 2 が表示されます (例、給油の間隔)。

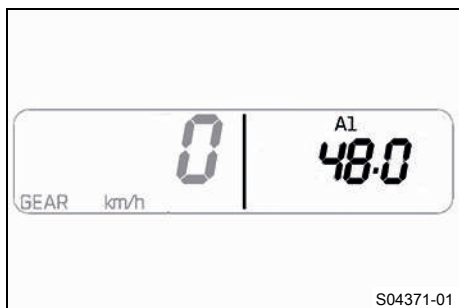
参考

9999.9 までカウントされると、TR2の値が自動的にゼロにリセットされます。

■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります

■ ボタンを2~3秒間押し続けます。	TR2の表示をゼロにリセットします。
--------------------	--------------------

7.9 平均速度 1



- +または-ボタンを何度か押して、A1をコンビネーションインストルメントに表示させます。

A1モードでは最後にリセットされてからの平均速度1が表示されます。

⊕ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを2~3秒間押し続けます。	A1の表示をゼロにリセットします。

7.10 平均速度 2



- +または-ボタンを何度か押して、A2をコンビネーションインストルメントに表示させます。

A2モードでは最後にリセットされてからの平均速度2が表示されます。

⊕ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを2~3秒間押し続けます。	A2の表示をゼロにリセットします。

7.11 走行時間 1



- +または-ボタンを何度か押して、T1をコンビネーションインストルメントに表示させます。

T1は最後にリセットされてからの走行時間1を表示します。

⊕ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを2~3秒間押し続けます。	T1の表示をゼロにリセットします。

7 コンビネーションインストルメント

7.12 走行時間 2



- +または-ボタンを何度か押して、T2をコンビネーションインストルメントに表示させます。

T2は最後にリセットされてからの走行時間 2 を表示します。

⊕ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
⊖ ボタンを短く押します。	次のモードに切り替わります
■ ボタンを 2~3 秒間押し続けます。	T2の表示をゼロにリセットします。

7.13 作動時間計



- +または-ボタンを何度か押して、ARTをコンビネーションインストルメントに表示させます。

ARTは車両の運転時間を表示します。

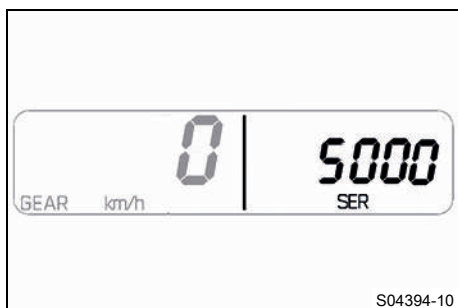
7.14 時計



- +または-ボタンを何度か押して、CLKをコンビネーションインストルメントに表示させます。

CLKは時計を表示します。

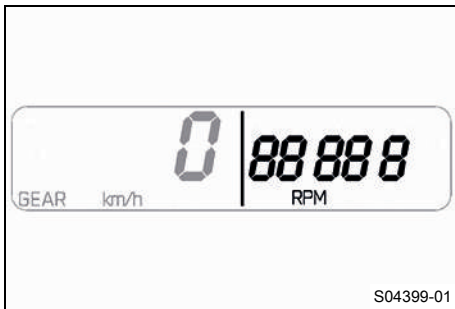
7.15 サービス実施時期の表示



- +または-ボタンを何度か押して、SERをコンビネーションインストルメントに表示させます。

SERは次のサービスまでの残りの走行距離を表示します。

7.16 回転数表示



- +または-ボタンを何度か押して、RPMをコンビネーションインスツルメントに表示させます。

規定

シンボルあたりの回転数約	
8	1,000 rpm
88	3,000 rpm
888	4,000 rpm
8888	5,000 rpm
88888	7,000 rpm
888888	9,000 rpm

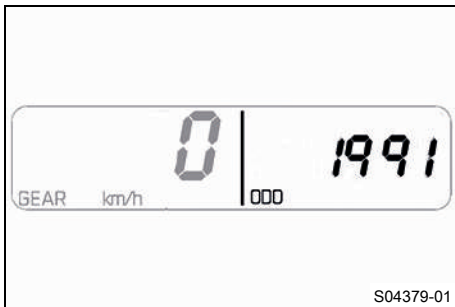
RPMは現在のエンジン回転数を表示します。



参考

第一回目のサービス前に、エンジン回転数が6500rpmに達すると、速度表示が常にゆっくりとした周波数(5 Hz)で点滅します。
 以下の場合、回転数表示がゆっくりとした周波数(5 Hz)で点滅します：クーラント温度が35℃以下で、エンジン回転数が6500rpmに達した、または推奨シフト回転数8000rpmに達した場合。
 エンジン回転数が最大に達すると、速度表示が早く点滅します(10 Hz)。

7.17 走行距離計



- +または-ボタンを何度か押して、ODOをコンビネーションインスツルメントに表示させます。

ODOは車両の総走行距離を表示します。

7.18 シフト表示



ギア表示は現在選択されているギアを示します。

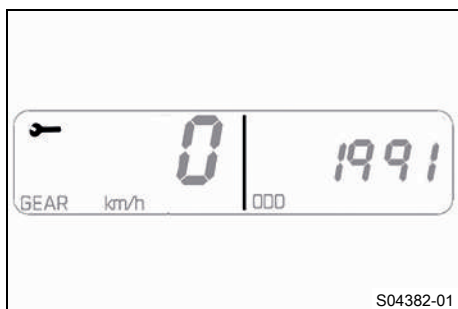


参考

ギア表示はディスプレイの左側にあります。

7 コンビネーションインストルメント

7.19 サービス表示

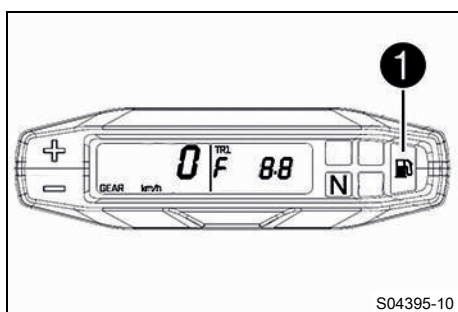


サービス表示はディスプレイの左上にあります。

i 参考

サービス実施時期に達した場合、サービス表示が表れます。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。

7.20 予備燃料の走行距離



燃料レベルがリザーブマークに達した場合、TR1 Fがディスプレイに表示され、燃料レベル警告ランプ①が点灯し始めます。この表示は+または-ボタンで閉めることができます。

i 参考

この表示は予備燃料を消費し始めてからの走行距離を示します。表示が閉まっても、燃料レベル警告ランプは点灯したままです。給油後に表示を+または-キーでリセットすることができます。

8.1 初めて運転操作を行う際の注意



危険

- 事故の危険性** 運転能力および判断力が十分でない運転者は、自身および他の方への危険となります。
- アルコール、薬物、薬品などにより運転能力が低下している場合、車両の運転をしないでください。
 - 肉体的、精神的に運転能力が低下している場合も、車両の運転をしないでください。



警告

- 怪我の危険性** 不足および欠陥のある保護服の着用は安全面での危険性を高めます。
- 走行時は必ずヘルメット、ブーツ、手袋、プロテクターが取り付けられたズボンやジャケットなどの保護服を着用してください。
 - 損傷等がなく、かつ法規制に従った保護服を常に着用して下さい。



警告

- 転倒の危険性** 前輪と後輪のトレッドが異なると走行性能に影響を及ぼします。異なるトレッドのタイヤを使用すると車両のコントロールが大幅に難しくなります。
- 前輪と後輪に同様のトレッドのタイヤが装着されていることを確認してください。



警告

- 事故の危険性** 承認または推奨されていないタイヤならびに車輪を装着した場合、走行性能が損なわれます。
- Husqvarna モーターサイクルにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。



警告

- 事故の危険性** 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。
- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。
慣らし走行期間 200 km



警告

- 事故の危険性** ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。ブレーキペダルに足をかけたままにすると、ブレーキパッドが常にこすられる状態になります。
- ブレーキを作動しないときはブレーキペダルに足をかけないで下さい。



参考

運転の際は、過度の騒音で周辺の人々の迷惑にならないよう心がけましょう。

- Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーで納車前検査がきちんと行われた事を確認して下さい。
✓ 納車の際、納車証明書がお客様に手渡されます。
- 初めて運転をする前に、オーナーズマニュアルを全頁よく読んで下さい。
- 操作各部の扱いに慣れて下さい。
- クラッチレバーの基本位置を調整します。(📖 頁 62)
- ブレーキレバーの基本位置を調整します。(📖 頁 65)
- ブレーキペダルの基本位置を調整します。👉(📖 頁 69)
- ツーリングに出る前に、まず適切な路面で車両の取り扱いに慣れて下さい。一度、できるだけゆっくり走る練習やスタンディング走行などで、車両の感覚をつかむようにして下さい。
- 走行中は両手でしっかりとハンドルバーを握り、フットレストに両足をのせて下さい。
- 自分の能力や経験を超えた、無理な走行はしないで下さい。

8 運転操作の前に

- 慣らし運転をします。(📖 頁 30)

8.2 慣らし運転をする

- 慣らし運転の段階では、各速に定められている走行速度を超えないように注意して下さい。
規定

走行開始から最初の	1,000 km
各速の最高速度	
1 速	50 km/h
2 速	70 km/h
3 速	90 km/h
4 速	110 km/h
5 速	125 km/h
6 速	140 km/h

- フルスロットルでの運転は避けて下さい！。

8.3 車両に荷物を積む



警告

事故の危険性 総重量および軸重は走行性能に影響を与えます。

総重量は運転準備が整い満タンに給油した状態の車両、保護服とヘルメットを着用したライダーと同乗者、荷物の総重量です。

- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。



警告

事故の危険性 ケースまたはタンクバッグを不適切に固定すると走行性能に影響を与えます。

- ケースやバッグはメーカーの規定に従った方法で固定してください。



警告

事故の危険性 荷物を載せ高速で走行すると走行性能が変わります。

- 積載量に適した速度で走行して下さい。
- 車両にハードケースやその他荷物を載せている場合は、通常よりゆっくり走行して下さい。
荷物を載せている場合の最高速度 130 km/h



警告

事故の危険性 キャリアシステムの過負荷は破損の原因となります。

- ケースを取り付ける場合はメーカー規定の最大積載量を確認してください。



警告

事故の危険性 荷物のずれは視認性に影響を及ぼします。

テールライトが覆われてしまうと、暗がりでは特に後続の車両に認識されにくくなります。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



警告

事故の危険性 積載量が増加すると走行性能に影響を及ぼし制動距離が長くなります。

- 積載量に適した速度で走行して下さい。



警告

事故の危険性 荷物のずれは走行性能に影響を及ぼします。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



警告

火災の危険性 熱せられた排気装置により荷物に燃焼の危険があります。

- 荷物を載せる際は、熱せられた排気装置により燃焼したり焦げたりしないように固定して下さい。

- 荷物を積む場合は、できるだけ車両の中心にしっかりと固定し、前輪と後輪に均等に重量がかかるように注意して下さい。
- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。

規定

最大許容重量	350 kg
前方許容最大軸重	150 kg
最大許容軸重後輪	200 kg

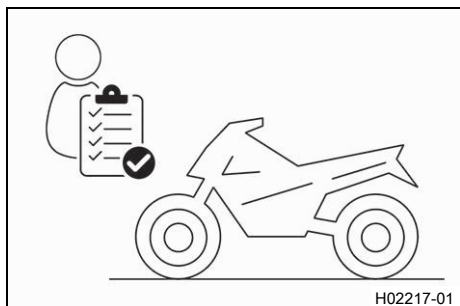


9 運転上の注意事項

9.1 運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業

i 参考

走行前には必ず車両の状態を点検し、道路交通で安全に使用できる事を確認して下さい。
運転の際は車両が技術的に完璧な状態でなければなりません。



- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 100)
- 前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 66)
- 後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 69)
- 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 68)
- 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 71)
- ブレーキシステムの機能を点検します。
- クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 92)
- チェーンの汚れを点検します。(📖 頁 57)
- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 58)
- タイヤの状態を点検します。(📖 頁 77)
- タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 79)
- 操作各部が正しく調節されているか、スムーズに操作できるかを点検します。
- 電装系部品の機能を点検します。
- 荷物が正しく固定されているかを点検します。
- 車両に乗り、バックミラーの位置を確認します。
- 燃料の残量を確認します。

9.2 車両を始動する

! 危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼動する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼動状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

! 注意

事故の危険性 12V バッテリーがあがった状態、または 12V バッテリー無しでは電子部品および安全関連装置を破損してしまいます。

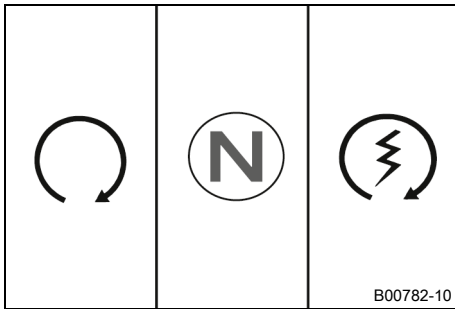
12V バッテリーがあがっていたり、故障している場合、特にエンジン始動時に車両の電気系統の不具合が発生する可能性があります。

- 12V バッテリーがあがった状態、もしくは 12V バッテリー無しで車両を運転する事は絶対に避けて下さい。

情報

エンジン損傷 冷えた状態でのエンジンを高回転させるのは、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

- 常に低回転数でエンジンを暖機してください。



- エマージェンシーOFFスイッチを押して○の位置に入れません。
- イグニッションキーをON○の位置に回して、イグニッションを作動します。

規定

コントロールユニットの通信の不具合を避けるために、イグニッションのオフとオンを連続して行わないでください。

- ✓ イグニッションをオンにすると、約2秒間、燃料ポンプの作動音が聞こえます。同時にコンビネーションインスツルメントの機能チェックが実行されます。
- ✓ ABS警告ランプが点灯し、発進するとまた消えます。
- ギアをニュートラルに入れます。
- ✓ 緑のニュートラルインジケータランプNが点灯します。
- スタートキー③を押します。

i 参考

コンビネーションインスツルメントの機能チェックが終了するまで、スタートキーを押さないで下さい。始動の際、スロットルは開かないで下さい。5秒以上連続してエンジンをかけようとししないで下さい。再度試みるまで最低5秒は間隔をおいて下さい。本モデルには安全スタートシステムが装備されています。ギアがニュートラルに入っているか、またはニュートラル以外のポジションでクラッチレバーが握られている場合のみ、エンジンの始動が可能です。サイドスタンドが開いた状態でギアを入れ、クラッチレバーを離すとエンジンが停止します。

- 車両を立ててサイドスタンドを自由にし、足で上に最後まで押し上げます。

9.3 発進

- クラッチレバーを握り、ギアを1速に入れ、クラッチレバーをゆっくりと離しながら慎重にスロットルを開いていきます。

9.4 シフト操作と走行

警告
事故の危険性 左右の負荷バランスが突然変わると、車両は制御不可能な状態に陥ることがあります。
 - 突然負荷バランスを変更したり強くブレーキを作動することは避けてください。
 - 道路状態の変化に合わせた速度で走行して下さい。

警告
事故の危険性 エンジンが高回転中にシフトダウンすると後輪がロックされ、エンジンが過回転します。
 - エンジン回転数が高いままシフトダウンする事は避けて下さい。

警告
事故の危険性 イグニッションキーが誤った位置にある場合、不具合の原因となります。
 - 走行中にイグニッションキーの位置を変えないで下さい。

9 運転上の注意事項



警告

事故の危険性 走行中に車両での設定作業を行うと交通状況に集中することができません。

- 全ての設定作業は車両静止状態で行ってください。



警告

人体への危険 同乗者が誤った行動をとった場合、車両から落下する危険があります。

- 同乗者がリアシートに正しく乗り、足を同乗者用のフットレストに置いて、ライダーあるいはサイドグリップにしっかりつかまっていることを確認してください。
- 同乗者の最低年齢に関する国内の規則を守って下さい。



警告

事故の危険性 危険な走行は大きな危険の原因となります。

- 交通規則を守り、危険をできるだけ早く認識できるよう、安全かつ予見的な運転を心がけて下さい。



警告

事故の危険性 タイヤが冷えた状態である場合グリップ力が低下します。

- タイヤが作動温度に達するまで、最初の数キロメートルは常に慎重に速度を抑えて走行して下さい。



警告

事故の危険性 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。

新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。
慣らし走行期間 200 km



警告

事故の危険性 総重量および軸重は走行性能に影響を与えます。

総重量は運転準備が整い満タンに給油した状態の車両、保護服とヘルメットを着用したライダーと同乗者、荷物の総重量です。

- 最大許容総重量と最大許容軸重を遵守して下さい。



警告

事故の危険性 荷物のずれは走行性能に影響を及ぼします。

- 車両に載せている荷物の固定状態を定期的に点検して下さい。



警告

事故の危険性 転倒した場合、車両には一瞥で確認できる以上に大きな破損がある場合があります。

- 転倒後は初運転操作の前に実施するものと同様の点検を行って下さい。

情報

エンジン損傷 フィルターを通さずに吸い込んだ空気は、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

エアフィルターがないと埃や汚れがエンジンに侵入します。

- 車両はエアフィルターがある状態でのみ使用して下さい。

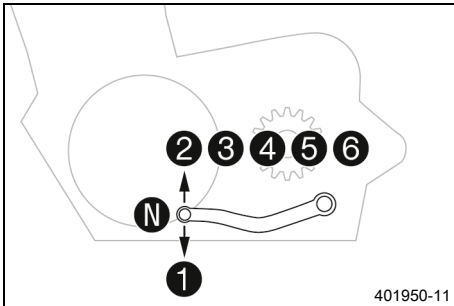
情報

エンジン損傷 過熱でエンジンが損傷します。

- クーラント温度の警告表示が点灯したら、すぐに他の交通の妨げにならないように停車して下さい。
- エンジンと冷却システムの温度が下がるまでお待ち下さい。
- 冷却システムの温度が下がった時に、クーラントのレベルを調節ならびに調整して下さい。

i 参考

運転中に異常な音がする場合はすぐに停止してエンジンを切り、車両を他の交通の妨げにならないように停車した後、Husqvarna モーターサイクル正規ディーラーに連絡して下さい。



- 状況 (勾配や走行状況など)に応じてシフトアップできます。
- スロットルを閉じ、同時にクラッチレバーを握り、次のギアに入れ、クラッチレバーを離してスロットルを開きます。

i 参考

6つの前進ギアのポジションは図の通りです。ニュートラル/アイドリングは1速と2速の間にあります。1速は発進または登り坂で使用するギアです。

- スロットルグリップを全開にして最高速度に達したら、スロットルを $\frac{3}{4}$ まで戻します。ほとんど減速する事なく燃費を大幅に抑える事ができます。
- 常に車道や天候状態に合わせてスロットルを開くようにして下さい。特にカーブではシフトチェンジをせず、細心の注意を払ってスロットルを開くようにして下さい。
- シフトダウンするには、必要に応じてブレーキをかけながらスロットルを閉じます。
- クラッチレバーを握り、低いギアに入れ、クラッチレバーをゆっくりと離しながらスロットルを開くか、再度ギアチェンジします。
- 例えば交差点でエンストしてしまった場合は、クラッチレバーを握り、スタートキーを作動するだけで大丈夫です。ギアをニュートラルに入れる必要はありません。
- しばらくアイドリングや停止状態が続く場合は、エンジンを停止します。
- クラッチを頻繁に、長時間スリップさせることは避けて下さい。これにより、エンジンオイルが熱せられ、エンジン並びに冷却システム過熱の原因となります。
- 高回転・半クラッチは避け、エンジン回転数を抑えた走行をしましょう。
- オイル圧力警告ランプ \odot が点灯した場合、交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを切ります。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
- 走行中に不具合インジケータランプ \odot が点灯したら、できるだけ早く Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
- Easy Shiftでは、指定されている回転域でクラッチレバーを引くことなくシフトアップすることができます。

規定

ギアシフト前の最低速度	
1速から2速へ	30 km/h
2速から3速へ	40 km/h
3速から4速へ	45 km/h
4速から5速へ	50 km/h
5速から6速へ	55 km/h

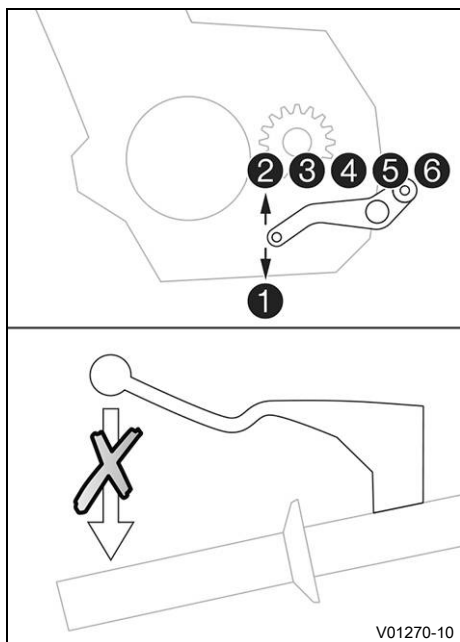
- Easy Shiftでは、指定されている回転域でクラッチレバーを引くことなくシフトダウンすることができます。

9 運転上の注意事項

規定

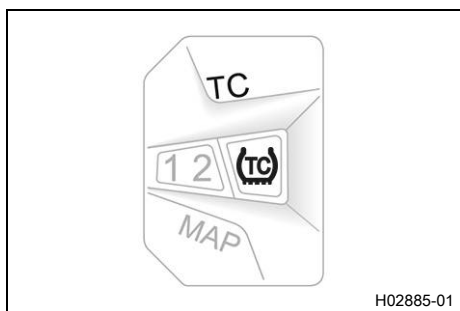
ギアシフト前の最高速度	
6速から5速へ	165 km/h
5速から4速へ	145 km/h
4速から3速へ	120 km/h
3速から2速へ	90 km/h
2速から1速へ	60 km/h

9.5 Easy Shift



Easy Shiftがオンになっていると、クラッチを操作することなく上下にシフトすることができます。スロットルグリップを閉じる必要がないので、ギアシフトを中断することなく行うことができます。Easy Shiftはシフトシャフト位置に応じシフトが行われるべきか否かを感知し、エンジン制御に適切な信号を送ります。

9.6 モーターサイクルトラクションコントロール





後輪でトラクションが失われると、モーターサイクルトラクションコントロール (コーナリング MTC)がエンジントルクを低減します。トラクションコントロールが有効である場合、スリップの度合は走行モードに応じて上下します。

i 参考

モーターサイクルトラクションコントロールがオフの状態では、大きく加速した場合や路面へのグリップ力が低下している場合には、後輪が空転し、転倒する恐れがあります。イグニッションをオンにすると、モーターサイクルトラクションコントロールが再びオンになります。

バイクトラクションコントロールMTCはコンビネーションスイッチの左にあるTCキーでオン / オフします。

i 参考

バイクトラクションコントロールによる制御中は、TCランプが点滅します。
バイクトラクションコントロールがオフになっていると、TCインジケータランプが点灯します。

9.7 ブレーキをかける



警告

事故の危険性 水分や汚れはブレーキシステムに影響を及ぼします。

- ブレーキパッドとブレーキディスクを乾燥させ汚れを落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。



警告

事故の危険性 前輪または後輪ブレーキで圧点が安定していない場合、ブレーキ性能が低下します。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くのHusqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

事故の危険性 ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。

ブレーキペダルに足をかけたままにすると、ブレーキパッドが常にこすられる状態になります。

- ブレーキを作動しないときはブレーキペダルに足をかけないで下さい。



警告

事故の危険性 総重量が高くなると制動距離が長くなります。

- 同乗者や荷物を乗せている場合は、制動距離が長くなる事にご注意下さい。



警告

事故の危険性 路上の撒き塩はブレーキシステムに影響を与えます。

- ブレーキパッドとブレーキディスクから撒き塩を落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。



警告

事故の危険性 ABSは特定の状況によって制動距離を伸ばすことがあります。

- 走行状態や路面状況に応じて適切にブレーキをかけてください。



警告

事故の危険性 ブレーキを強くかけすぎると車輪がロックします。

ABSはスイッチが入れられてはじめてその効果を発揮することができます。

- この安全機能を利用するために、ABSはオンの状態を維持してください。



警告

事故の危険性 後輪はエンジンブレーキでロックされることがあります。

- 緊急ブレーキやフルブレーキをかける場合、または地面が滑りやすい場所でブレーキをかける場合はクラッチを引いてください。

- ブレーキをかけるにはスロットルを閉じ、前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に作動します。

9 運転上の注意事項



参考

ABSにより、フルブレーキングではもちろん、砂地、雨で濡れた地面やスリップしやすい場所でグリップ力が低下している場合にも、車輪のロックを心配する事なく制動力をフルに活用できます。



警告

事故の危険性 斜面や横方向に地面が傾斜している場合、可能な減速力を最大限に発揮することはできません。

- 可能な場合、カーブ開始前にブレーキングを終了してください。

- ブレーキをかけるプロセスは必ずカーブが始まる前までに終了させます。その際、速度に合わせてシフトダウンして下さい。
- 長い下り坂ではエンジンブレーキを利用して下さい。エンジンブレーキを利用するには、エンジンが過回転しないよう注意しながら1段か2段シフトダウンします。これによりブレーキをかける回数をはるかに減り、ブレーキシテムが過熱するのを防ぐことができます。

9.8 停止と駐車



警告

人体への危険 常識のない行動をとる人物は自身および他の方への危険となります。

- エンジン稼働中には決して車両から目を離さないでください。
- 権限のない人物が車両に近づかないよう注意してください。
- 車両を放置する場合はハンドルをロックし、イグニッションキーを抜いてください。



警告

火傷の危険性 一部の部品は運転中非常に熱くなります。

- 車両部品が冷めるまで排気装置、ラジエーター、エンジン、ダンパー、ブレーキシテムなどの部品には触らないでください。
- 車両部品を十分に冷ましてから作業を実行してください。

情報

部品の損傷 誤った方法で駐車を行った場合、車両が破損する恐れがあります。

車両が動いたり倒れたりした場合、大きな破損につながる恐れがあります。


車両を立てる部品はその車両重量のみを考慮して設計されています。

- 車両は安定した平らな地面の上に立っています。
- 車両がスタンド一本で駐車されている場合、車両に誰も乗っていないことを確かめて下さい。

情報

火事の危険 高温になった車両部品は火傷や爆発の危険となります。

- 可燃性がある、または爆発の危険がある物付近に車両を設置しないでください。
- 車両を十分に冷ましてから、車両にカバーをかけてください。

- 車両にブレーキをかけます。
- ギアをニュートラルに入れます。
- イグニッションキーをOFF  の位置に回して、イグニッションを停止します。



参考

エンジンをエマージェンシーOFFスイッチで停止し、イグニッションがまだ作動している状態では、大部分の電装系部品への電源供給が中断されません。これにより12Vバッテリーが放電します。エンジンは必ずイグニッションで停止し、エマージェンシーOFFスイッチは非常の場合にのみ使用するようして下さい。

- 車両を安定した地面の上に駐車します。
- 足でサイドスタンドを前に押し完全に開き、車両の重量をかけます。
- ハンドルバーを左に切り、イグニッションキーを ☒ の位置で押し込み、☐ の位置まで回し入れてハンドルをロックします。ハンドルを少し左右に動かすとロックがはまりやすくなります。イグニッションキーを抜きます。

9.9 輸送

情報

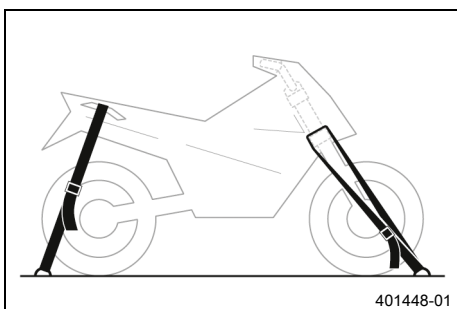
損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

情報

火事の危険 高温になった車両部品は火傷や爆発の危険となります。

- 可燃性がある、または爆発の危険がある物付近に車両を設置しないでください。
- 車両を十分に冷ましてから、車両にカバーをかけてください。



401448-01

- エンジンを停止し、イグニッションキーを抜きます。
- ラッシングベルトが適切な固定器具で、車両が倒れたり動いたりしないよう固定します。

9.10 故障時の牽引

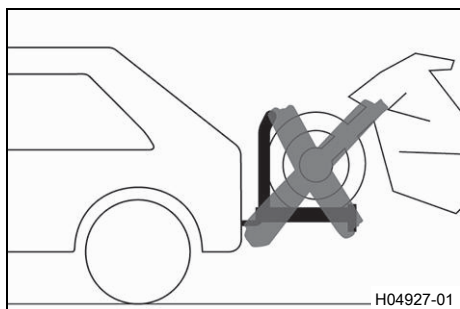
情報

損傷の危険性 牽引車での牽引は、適切な回収手段ではありません。

牽引時にドライブトレインやギアにダメージを与えてしまうことがあります。

- 故障した車両の車輪を車道で回転させ引っ張るような牽引装置は使用しないでください。
- 故障した車両は、必ずトレーラーや輸送車の荷台に乗せて輸送してください。

9 運転上の注意事項



- 故障した車両がトレーラーや輸送車両に適切に固定されていることを確認します。
- 故障した車両の回収に関しての現地の規制を遵守してください。

9.11 燃料を給油する



危険

火事の危険 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。



警告

中毒の危険性 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

情報

部品の損傷 低品質の燃料を使用すると燃料フィルターが早期に詰まってしまいます。

国や地域によっては入手可能な燃料の品質が不十分であったり、また多くの不純物が混入していることがあります。その結果燃料システムで問題を引き起こす事があります。

- 指定された規格に適合し不純物の少ない燃料のみを使用してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱い、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。



- エンジンを停止します。
- フィラーキャップを開けます。(📖 頁 20)
- **A**で示した範囲を超えないように注意してフューエルタンクに燃料を注ぎます。

規定

寸法 A	20 mm	
フューエルタンク容量 (約)	12.7 L	無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95) (📖 頁 125)

- フィラーキャップを閉めます。(📖 頁 21)



V01462-10

10.1 補足情報

必須項目や推奨項目の作業実施により発生した、これら項目以外の作業については、別途注文・請求となります。現地における使用環境によってはサービス頻度が異なってくる場合もあります。技術改良が行われていく中で、個々のサービス頻度および範囲が変わってくる場合があります。最終的なサービスプランは Husqvarna Motorcycles Dealer.net に表示されています。お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

10.2 必須作業

	24	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
	走行ごと	20,000 km		
	走行ごと	10,000 km		
	走行後	1,000 km		
Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧	○	●	●	●
シフトシャフトセンサーをプログラミングします。🔧	○	●	●	●
電装系部品の機能を点検します。🔧	○	●	●	●
エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧 (📖 頁 100)	○	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 68)	○	●	●	●
後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 71)	○	●	●	●
ブレーキディスクを点検します。(📖 頁 65)	○	●	●	●
ブレーキホースに損傷や漏れがないかを点検します。🔧	○	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキフルードを交換します。🔧				●
後輪ブレーキのブレーキフルードを交換します。🔧				●
油圧式クラッチのフルードを交換します。🔧				●
後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 69)	○	●	●	●
前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検します。(📖 頁 66)	○	●	●	●
油圧式クラッチのフルードレベルを点検・調節します。(📖 頁 63)			●	●
ブレーキペダルの遊びを点検します。(📖 頁 68)	○	●	●	●
ショックアブソーバーとフロントフォークに漏れがないか点検します。車両の使用目的および必要に応じてショックアブソーバーとフロントフォークでサービス作業を実施します。🔧	○	●	●	●
フォークレグのダストシールを清掃します。(📖 頁 51)			●	●
ステアリングヘッドベアリングの遊びを点検します。🔧	○	●	●	●
タイヤの状態を点検します。(📖 頁 77)	○	●	●	●
タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 79)	○	●	●	●
スポークの張りを点検します。(📖 頁 80)	○	●	●	●
リムの歪みを点検します。🔧	○	●	●	●
チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケット、チェーンガイドを点検します。(📖 頁 59)			●	●
チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 58)	○	●	●	●
燃料スクリーンを交換します。🔧	○	●	●	●
スパークプラグを交換します。🔧				●
バルブの遊びを点検します。🔧			●	●
不凍液とクーラントのレベルを点検します。(📖 頁 91)	○	●	●	●
ケーブルに損傷がないか、そして配線折れがないか点検します。🔧			●	●

	24	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
	走行ごと	20,000 km		
	走行ごと	10,000 km		
	走行後	1,000 km		
エアフィルターを交換します。エアフィルターケースを清掃します。🔧			●	●
燃圧を点検します。🔧			●	●
ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 89)	○		●	●
冷却ファンの機能を点検します。🔧	○		●	●
最終確認: 車両が交通上安全に使用できる状態であることを確認し、試験走行を行います。🔧	○		●	●
試験走行後に Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧	○		●	●
サービス時期を設定します。(📖 頁 24)	○		●	●
Husqvarna Motorcycles Dealer.netでサービス登録を行います。🔧	○		●	●

- 一度限りの実施時期
- 定期的な実施時期

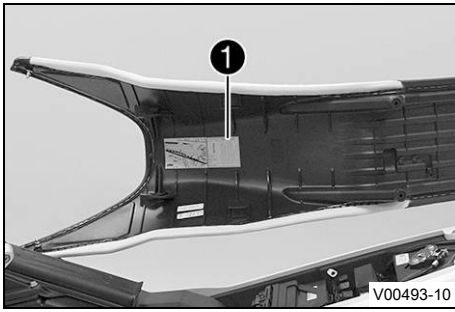
10.3 推奨作業

	48	カ	月	毎
	12	カ	月	毎
	走行ごと	30,000 km		
	走行ごと	10,000 km		
	走行後	1,000 km		
フレームを点検します。🔧			●	
スイングアームを点検します。🔧			●	
スイングアームのベアリングのガタを点検します。🔧			●	●
ホイールベアリングのガタを点検します。🔧	○		●	●
排水ホースを空にします。🔧	○		●	●
全ての可動部品 (サイドスタンド、ハンドレバー、チェーンなど)をグリースアップし、これら部品がスムーズに動くかを点検します。🔧	○		●	●
ホース類 (燃料、クーラント、エア抜き、排水などの各ホース)とワイヤーブーツの全てで、ひびや漏れがないか、正しく取り回されているかを点検します。🔧			●	●
簡単に確認することができ、安全上重要なスクリューとナットがきちんと締められているかを点検します。🔧	○		●	●
クーラントを交換します。🔧(📖 頁 95)				●

- 一度限りの実施時期
- 定期的な実施時期

11 シャーシを調整する

11.1 フロントフォーク/ショックアブソーバー



フロントフォークとショックアブソーバーにより、走行スタイルや積載量に合わせてシャーシを調節することができます。

i 参考

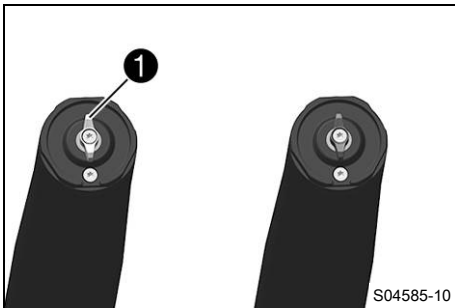
シャーシ調整における推奨値が表①にまとめられています。表はフロントシートの内側に貼付されています。

この設定値を基準値として理解し、ここからお好みのシャーシ調整を行います。設定は自由に変更しないで下さい。特に高速での走行性能に悪影響を与える恐れがあります。

11.2 フロントフォークのコンプレッションダンパーを調節する

i 参考

油圧式コンプレッションダンパーはフロントフォークのスプリングの縮み方を調節します。



- 白い調節スクリュー①を時計回りに最後まで回し切ります。

i 参考

調節スクリュー①は左のフォークレッグの上端にあります。コンプレッションダンパーは左のフォークレッグCOMP (白い調節スクリュー)に設置されています。リバウンドダンパーは右のフォークレッグREB (赤い調節スクリュー)に設置されています。

- フロントフォークのタイプに応じた回数カチッとクリックするよう、時計と反対回りに回します。

規定

コンプレッションダンパー	
コンフォート	20 クリック
スタンダード	15 クリック
スポーツ	10 クリック
最大積載時	10 クリック

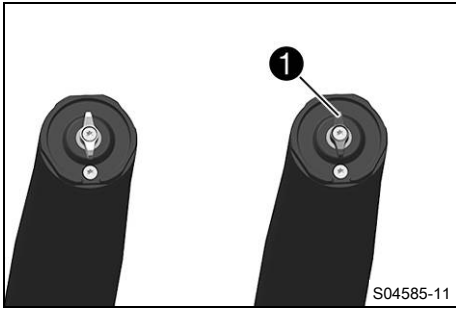
i 参考

時計回りに回すとスプリングが圧縮する際のダンパー効果を高め、逆方向に回すとこれを低減します。

11.3 フロントフォークのリバウンドダンパーを調節する

i 参考

油圧式リバウンドダンパーはフロントフォークのスプリングの伸び方を調節します。



- 赤い調節スクリュー①を時計回りに最後まで回し切ります。

i 参考
調節スクリュー①は右のフォークレッグの上端にあります。リバウンドダンパーは右のフォークレッグ**REB** (赤い調節スクリュー)に設置されています。コンプレッションダンパーは左のフォークレッグ**COMP** (白い調節スクリュー)に設置されています。

- フロントフォークのタイプに応じた回数カチッとクリックするよう、時計と反対回りに回します。

規定

リバウンドダンパー	
コンフォート	20 クリック
スタンダード	15 クリック
スポーツ	10 クリック
最大積載時	10 クリック

i 参考
時計回りに回すとスプリングがリバウンドする際のダンパー効果を高め、逆方向に回すとこれを低減します。



11.4 ショックアブソーバーのコンプレッションダンパー

ショックアブソーバーのコンプレッションダンパーは高速・低速の2つの領域に分けられています。ここでいう高速・低速は、後輪のサスペンションが圧縮する際の速度を示しており、車両の走行速度とは関係がありません。

コンプレッションレベルの高速設定は、アスファルト舗装の端の部分を超えて走行する場合など、後輪のサスペンションが素早く縮む際に有効となる設定です。

コンプレッションレベルの低速設定は、緩やかな凹凸のある道の走行など、後輪のサスペンションがゆっくりと縮む際にその効果を発揮します。

これら2つの範囲は別々に設定できますが、低速設定と高速設定の切り替えは流動的に行われます。そのため、高速範囲のコンプレッションレベルで設定を変更すると、低速範囲の設定にも影響を及ぼします。逆も同様です。

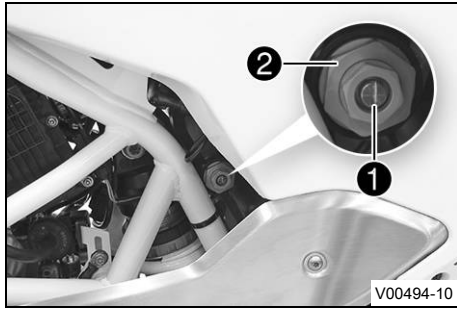
11.5 ショックアブソーバーのコンプレッションダンパー低速を調節する

⚠ 注意
人体への危険 ショックアブソーバーの部品は不適切に分解した場合、様々な方向に動いてしまいます。ショックアブソーバーには高圧縮窒素が充填されています。

- 注意事項に従ってください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

i 参考
低速設定は、ショックアブソーバーが低速から通常速度で圧縮する際に有効となる設定です。

11 シャーシを調整する



- ドライバーで調節スクリュー①を、最後のカチッというラッチ音が感じられるまで時計回りに回します。

i 参考

ナット留め②は緩めないで下さい！

- ショックアブソーバーのタイプに応じた回数カチッとクリックするよう、時計と反対回りに回します。

規定

コンプレッションダンパー低速	
コンフォート	20 クリック
標準	15 クリック
スポーツ	10 クリック
最大積載時	10 クリック

i 参考

時計回りに回すとダンパー効果を高め、逆方向に回すとこれを低減します。

11.6 ショックアブソーバーのコンプレッションダンパー高速を調節する



注意

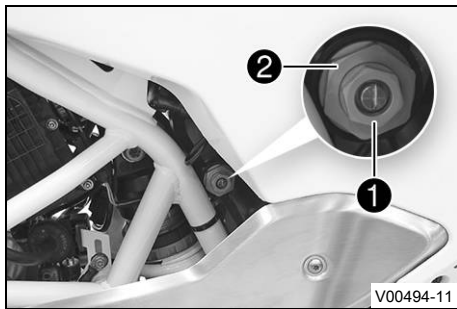
人体への危険 ショックアブソーバーの部品は不適切に分解した場合、様々な方向に動いてしまいます。ショックアブソーバーには高圧縮窒素が充填されています。

- 注意事項に従ってください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



参考

高速設定は、ショックアブソーバーが高速で圧縮する際に有効となる設定です。



- ボックススパナで調節スクリュー①を時計回りに最後まで回し切ります。

i 参考

ナット留め②は緩めないで下さい！

- ショックアブソーバーのタイプに応じた回数、時計と反対回りに回します。

規定

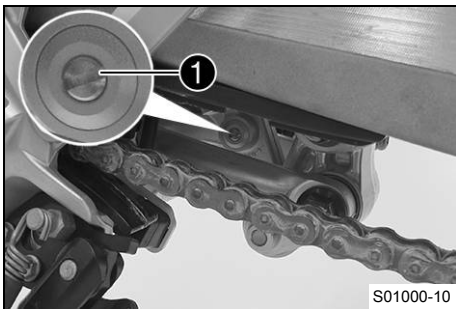
コンプレッションダンパー高速	
コンフォート	2 回転
スタンダード	1.5 回転
スポーツ	1 回転
最大積載時	1 回転

i 参考
時計回りに回すとダンパー効果を高め、逆方向に回すとこれを低減します。

11.7 ショックアブソーバーのリバウンドダンパーを調節する

! **注意**
人体への危険 ショックアブソーバーの部品は不適切に分解した場合、様々な方向に動いてしまいます。ショックアブソーバーには高圧縮窒素が充填されています。

- 注意事項に従ってください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



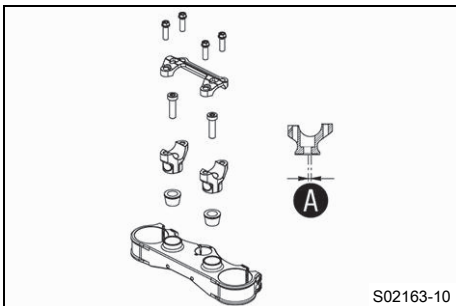
- 調節スクリュー①を、最後のカチッというクリックが感じられるまで時計回りに回します。
- ショックアブソーバーのタイプに応じた回数カチッとクリックするよう、時計と反対回りに回します。

規定

リバウンドダンパー	
コンフォート	20 クリック
スタンダード	15 クリック
スポーツ	10 クリック
最大積載時	10 クリック

i 参考
時計回りに回すとスプリングがリバウンドする際のダンパー効果を高め、逆方向に回すとこれを低減します。

11.8 ハンドルバーの位置



ハンドルアダプターの穴は中心から **A** の距離に配置されています。

穴間の距離 A	3.5 mm
----------------	--------

ハンドルバーは2つの異なるポジションニングで取り付けられます。これにより、運転者に最適なポジションニングを選ぶ事ができます。

11.9 ハンドルバーの位置を調節する

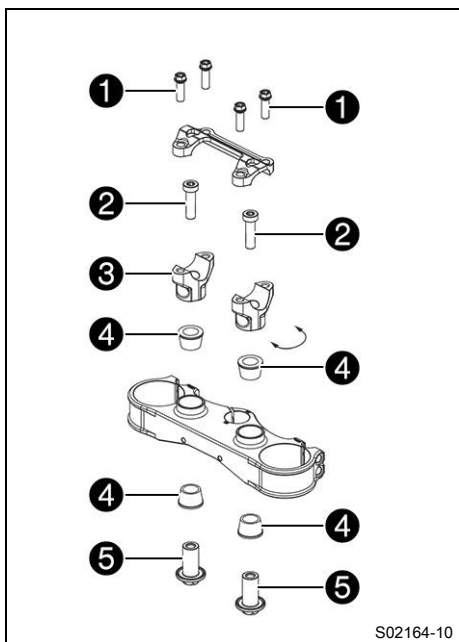


警告

事故の危険性 修正されたハンドルバーは安全面での危険を提示するものです。

ハンドルバーが曲げられたり、伸ばされたりすると素材が老化します。その結果ハンドルバーが折れてしまうこともあります。

- ハンドルバーが破損または曲がってしまった場合、ハンドルバーを交換してください。



S02164-10

- スクリュー①を外します。ハンドルバーのクランプを取り外します。ハンドルバーを取り外し、脇に置きます。



参考

部品を損傷させないように、カバーをかけて保護します。ケーブル、ホース、ワイヤー類は折り曲げないで下さい。

- スクリュー②を外します。ハンドルアダプター③を取り外します。
- ゴムブッシング④の位置を調整し、ナット⑤を下から差し込みます。
- ハンドルアダプターの位置を好みに応じて変更します。



参考

ハンドルアダプターは片側が長く、高くなっています。ハンドルアダプターの位置は左右で同じように調節して下さい。

- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

ハンドルアダプター用スクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
-----------------	-----	-------	--------------

- ハンドルバーの位置を調整します。



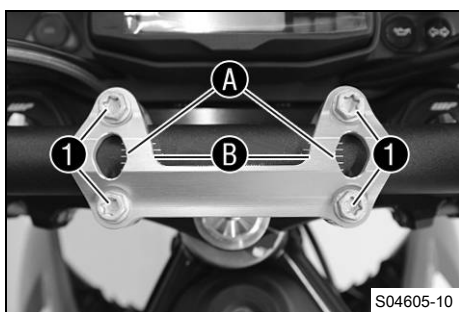
参考

ケーブル、ホース、ワイヤー類が正しく取り回されているか注意して下さい。

- ハンドルバーのクランプの位置を調整します。
- スクリュー①を取り付け、締めないままにしておきます。
- ✓ ハンドルークランプのマーキングAはハンドルバースケールの中心線Bに合わせます。
- ハンドルークランプをハンドルアダプターの長く高くなっている側からブロックにスクリュー①で固定します。
- スクリュー①を均等にしっかりと締めます。

規定

ハンドルバークランプ用スクリュー	M8	20 Nm
------------------	----	-------



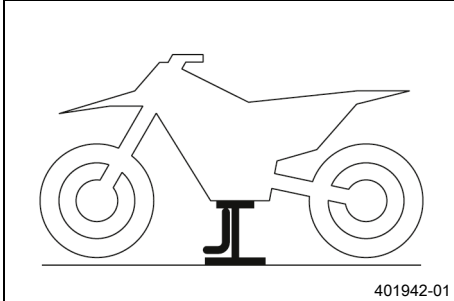
S04605-10

12.1 車両をリフトスタンドでジャッキアップする

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



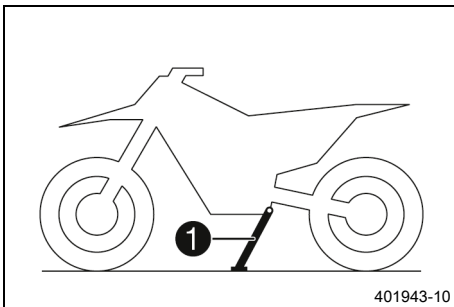
- フットレストサポートの辺りで車両を持ち上げます。
- ✓ 両方のホイールは接地していません。
- 車両が倒れないように支えをします。

12.2 車両をリフトスタンドから降ろす

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



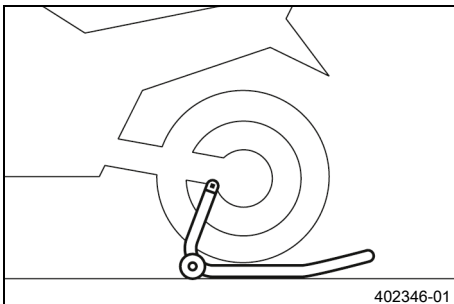
- バイクをリフトスタンドから降ろし、サイドスタンド①で立てます。
- リフトスタンドを片付けます。

12.3 車両をリアスタンドで持ち上げる

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



- アダプターをリアスタンドに差し込みます。

アダプター (69329955030)

後輪のメンテナンススタンド (6932995500033)

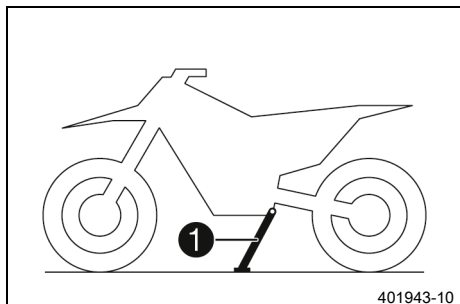
- 車両を垂直に立て、スタンドをスイングアームとアダプターに合わせて車両を持ち上げます。

12.4 リアスタンドから車両を降ろす

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



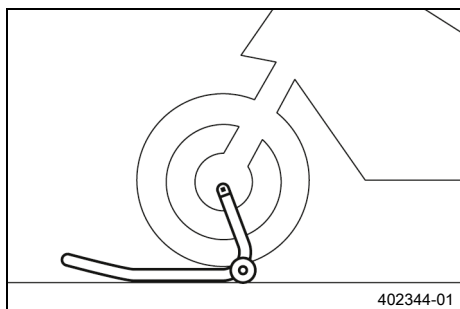
- 車両が倒れないように支えをします。
- リアスタンドを外し、車両をサイドスタンド①で立てます。

12.5 フロントスタンドで車両を持ち上げる

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。



準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(図 頁 49)

主な作業

- ハンドルバーを直進の位置にし、適切なフロントメンテナンススタンドに固定します。

前輪のフロントスタンド (小) (6112996500033)

参考

車両は必ず後方から先に持ち上げて下さい。

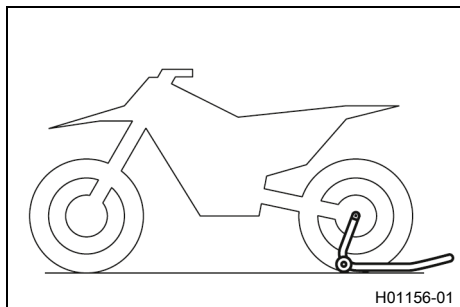
- 車両を持ち上げます。

12.6 フロントスタンドから車両を降ろす

情報

損傷の危険性 駐車中の車両が動き出たり倒れる恐れがあります。

- 車両は安定した平らな地面の上に立てます。

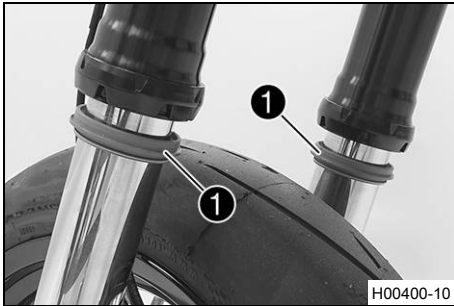


- 車両が倒れないように支えます。
- フロントスタンドを取り外します。

12.7 フォークレグのダストシールを清掃する

準備作業

- フォークカバーを取り外します。(頁 51)



主な作業

- 両側のフォークレグで、ダストシール①を下にずらします。



参考

ダストシールはフォークインナーパイプのほこりや汚れをこすり落とします。時間が経つにつれ、汚れがダストシールの裏に入り込むことがあります。この汚れを取り除かないと、その後ろにあるオイルシールリングに漏れが生じる恐れがあります。



警告

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

- 両側のフォークレグのダストシールとインナーチューブを清掃し、オイルを差します。

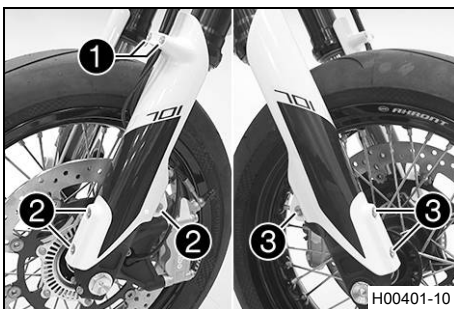
汎用オイルスプレー (頁 126)

- ダストシールを取付け位置に押し戻します。
- 余分なオイルを取り除きます。

その後の作業

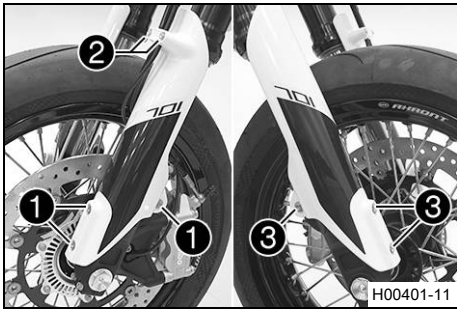
- フォークカバーを取り付けます。(頁 52)

12.8 フォークカバーを取り外す



- スクリュー①を外し、クランプを取り外します。
- 左のフォークレグのスクリュー②を外します。フォークカバーを取り外します。
- 右のフォークレグのスクリュー③を外します。フォークカバーを取り外します。

12.9 フォークカバーを取り付ける



- 左のフォークレッグのカバーの位置を調整します。スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他のスクリュー	M6	10 Nm
----------------	----	-------

- ブレーキホース、ワイヤーハーネス、クランプの位置を調整します。スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。
- 右のフォークレッグでカバーの位置を調整します。スクリュー③を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他のスクリュー	M6	10 Nm
----------------	----	-------

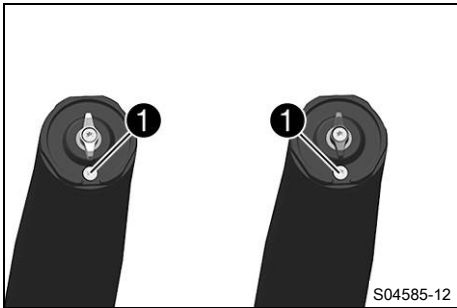
12.10 フォークレッグのエア抜きをする

準備作業

- 車両をリフトスタンドでジャッキアップします。(📖 頁 49)

主な作業

- エアブリーダー①を緩めます。
 ✓ 過圧状態の場合、フォーク内部から過剰な圧力が抜けていきます。
- エアブリーダーをしっかりと締めます。



参考

この作業は両方のフォークレッグで行って下さい。

その後の作業

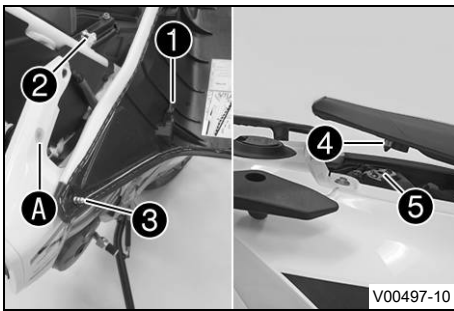
- 車両をリフトスタンドから降ろします。(📖 頁 49)

12.11 シートを取り外す



- ベルト①を引きながらシート後方を持ち上げます。
- シート前端をサイドカバーから横に引き抜きます。
- シートを後ろへずらし、上方向に取り外します。

12.12 シートを取り付ける



- シートの前端を軽く離し、固定用突起部①をホルダー②にあわせて位置を調整します。
- ✓ 固定用突起部をホルダーにはめます。
- 固定用突起部③をブッシングAに押し込みます。
- ロックピン④をロックケース⑤に通し、カチッという音が聞こえてピンがはまるまでシートの後方を下に押し込みます。
- 最後にシートが正しく取り付けられているか点検します。



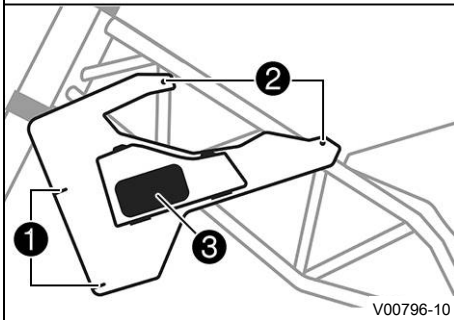
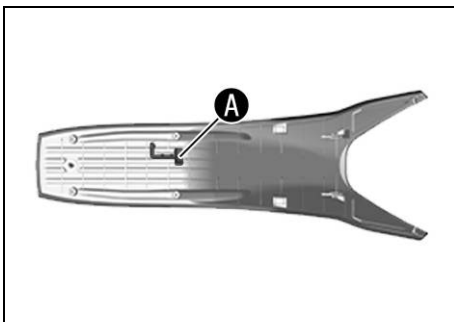
12.13 車載工具を取り外す

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)

主な作業

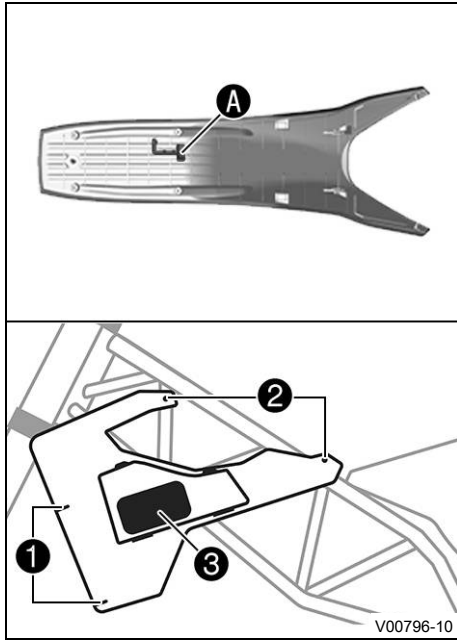
- スクリュー①と②の脱着用六角棒スパナをシート下部のマウントAから外します。
- スクリュー①を外します。
- スクリュー②を外します。
- 左サイドカバーを取り外します。
- 車載工具のコンパートメントを開き、車載工具③を取り外します。



12.14 車載工具を収納する

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)



主な作業

- スクリュー①を外します。
- スクリュー②を外します。

参考

これらのスクリューの脱着用工具はシート下部のホルダーAに設置されています。

- 左サイドカバーを取り外します。
- 車載工具のコンパートメントを開き、車載工具③を収納します。
- 車載工具のコンパートメントを閉じます。
- 左サイドカバーの位置を調整します。
- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

カバー用スクリュー	M5x12	3.5 Nm
-----------	-------	--------

- スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

スポイラー用スクリュー(前)	M5x17	3.5 Nm
----------------	-------	--------

- 工具がホルダーAに挿入されているか確認してください。

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 53)

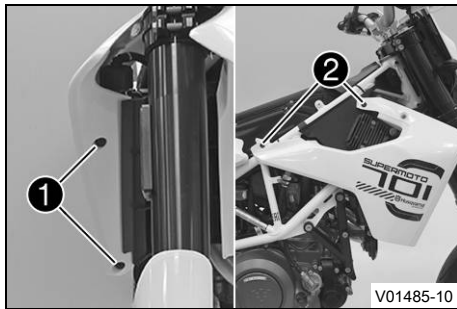
12.15 サイドカバーを取り外す

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)

主な作業

- スクリュー①と②を外します。
- サイドカバーを取り外します。
- 上記作業を反対側でも行います。



12.16 サイドカバーを取り付ける

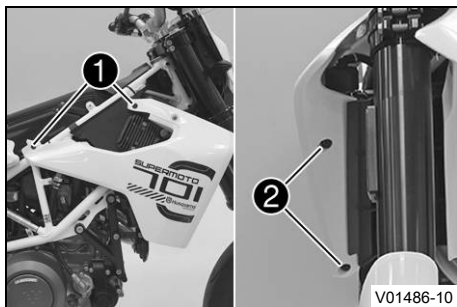
主な作業

- サイドカバーの位置を調整し、スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

カバー用スクリュー	M5x12	3.5 Nm
-----------	-------	--------

- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。



規定

スポイラー用スク リュー(前)	M5x17	3.5 Nm
--------------------	-------	--------

- 上記作業を反対側でも行います。

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 53)



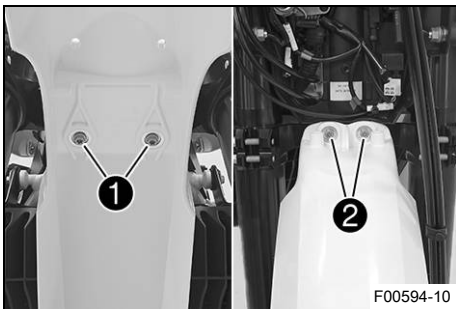
12.17 フロントフェンダーを取り外す

準備作業

- ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り外します。
(📖 頁 87)

主な作業

- スクリュー①を外します。
- スクリュー②を外し、フェンダーを取り外します。



12.18 フロントフェンダーを取り付ける

主な作業

- フロントフェンダーを配置します。スクリュー①を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他の スクリュー	M6	10 Nm
--------------------	----	-------

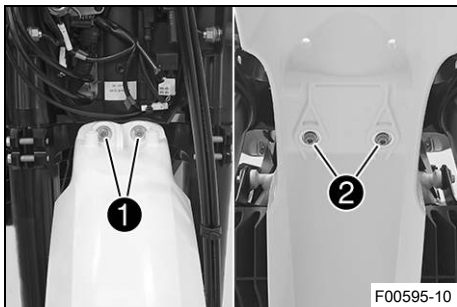
- スクリュー②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他の スクリュー	M6	10 Nm
--------------------	----	-------

その後の作業

- ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り付けます。
(📖 頁 87)
- ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 89)



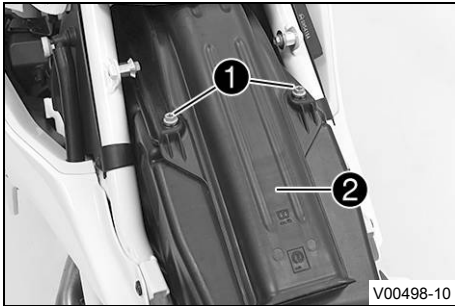
12.19 エアフィルターを取り外す

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)

主な作業

- スクリュー①を外します。
- エアフィルターケースの上部②を取り外します。



情報

エンジン損傷 フィルターを通さずに吸い込んだ空気は、エンジンの耐久性に悪影響を与えます。

エアフィルターがないと埃や汚れがエンジンに侵入します。

- 車両はエアフィルターがある状態でのみ使用して下さい。

- エアフィルター③を取り外します。

12.20 エアフィルターを取り付ける

主な作業

- エアフィルターケースを清掃します。
- エアフィルター①を取り付けます。

参考

エアフィルターのシール部分A全体がエアフィルターケースにのっている事を確認して下さい。

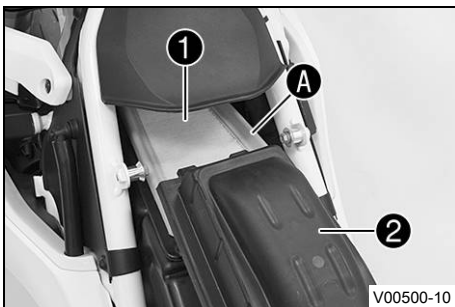
エアフィルターが正しく取り付けられていないと、ほこりや汚れがエンジン内に入り、損傷の原因となる恐れがあります。

- エアフィルターケース上部②の前方をエアフィルターケースにはめ、下向きに倒します。

- スクリュー③を取り付け、しっかりと締めます。

規定

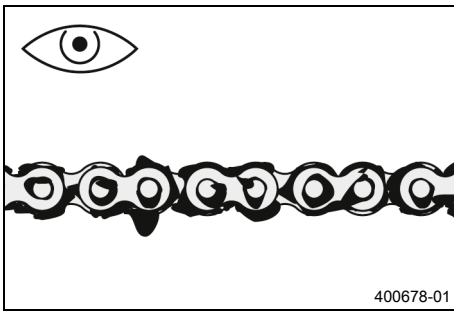
エアフィルターケース上部用スクリュー	M6	2 Nm
--------------------	----	------



その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 53)

12.21 チェーンの汚れを点検する



- チェーンに大きな汚れがついていないか点検します。
 - » チェーンがひどく汚れている:
 - チェーンを清掃します。(📖 頁 57)

12.22 チェーンを清掃する

**警告**

事故の危険性 潤滑剤がタイヤに付着すると、タイヤの粘着力が低下します。

- 潤滑剤を適切な洗浄剤を利用してタイヤから拭き取ってください。

**警告**

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。

**情報**

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

**参考**

チェーンの寿命は手入れの仕方で大きく変わってきます。

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 49)

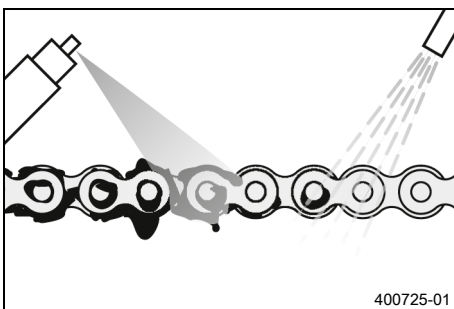
主な作業

- 大きな汚れは弱い水流で洗い流します。
- 使用済みグリースの残りはチェーン洗浄剤で落とします。

チェーン洗浄剤 (📖 頁 126)

- 乾かした後、チェーンスプレーを吹き付けます。

チェーンスプレー・ Street (📖 頁 126)

**その後の作業**

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)

12.23 チェーンの遊びを点検する



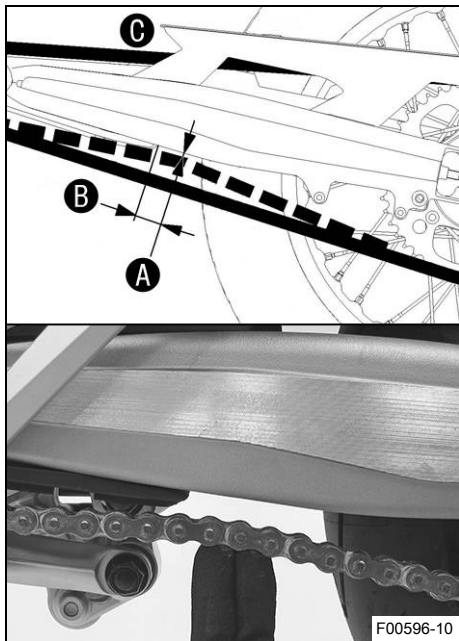
警告

事故の危険性 不適切なチェーンの遊びは部品を破損し、事故の原因となります。

チェーンが貼りすぎているとチェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット、そしてギアベアリングおよび後輪ベアリングが早期磨耗してしまいます。部品の中には過負荷により切れたり壊れたりするものもあります。

チェーンが緩すぎるとチェーンがフロントスプロケットまたはリアスプロケットから外れてしまいます。その結果、後輪ロック、またはエンジン破損の原因となります。

- チェーンの遊びを定期的に点検してください。
- チェーンの遊びを規定値に従って設定してください。



- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 49)



参考

バイクをサイドスタンドに乗せた状態でも点検は可能です。

- ギアをニュートラルに入れます。
- チェーンスライダーガードから **B** の距離でチェーンを上押し、チェーンの遊び **A** を確認します。



参考

その際、チェーン上部 **C** がピンと張っている事を確認して下さい。

チェーンは均等に擦り切れるとは限りません。チェーンの位置を変えて何回か測定を繰り返して下さい。

チェーンの遊び A	5 mm
チェーンスライダーとガードからの距離 B	30 mm

- » チェーンの遊びが規定通りになっていない:
 - チェーンの遊びを調節します。(📖 頁 58)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)

12.24 チェーンの遊びを調節する



警告

事故の危険性 不適切なチェーンの遊びは部品を破損し、事故の原因となります。

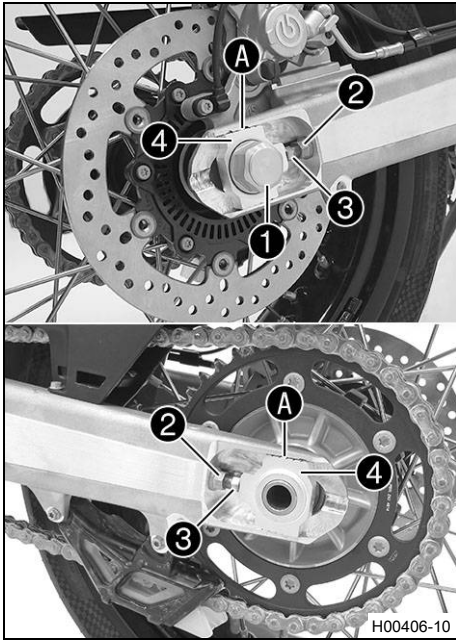
チェーンが貼りすぎているとチェーン、フロントスプロケット、リアスプロケット、そしてギアベアリングおよび後輪ベアリングが早期磨耗してしまいます。部品の中には過負荷により切れたり壊れたりするものもあります。

チェーンが緩すぎるとチェーンがフロントスプロケットまたはリアスプロケットから外れてしまいます。その結果、後輪ロック、またはエンジン破損の原因となります。

- チェーンの遊びを定期的に点検してください。
- チェーンの遊びを規定値に従って設定してください。

準備作業

- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 58)



主な作業

- ナット①を緩めます。
- 左右のスクリュー②を外します。
- 左右の調節スクリュー③を回し、チェーンの遊びを調節します。

規定

チェーンの遊び	5 mm
左右の調節スクリュー③を回し、両側のチェーンアジャスター④のマーキングが目印Aに対して同じ位置になるように調節します。これにより後輪の位置が正しく調整されます。	

i **参考**

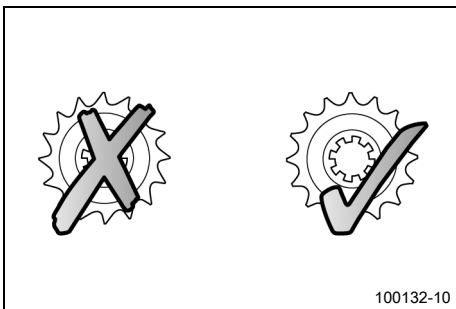
その際、チェーン上部がピンと張っている事を確認して下さい。
チェーンは均等に擦り切れるとは限りません。チェーンの位置を変えて何回か測定を繰り返して下さい。

- ナット②をしっかりと締めます。
- チェーンアジャスター④が調節スクリュー③に接触している事を確認します。
- ナット①をしっかりと締めます。

規定

後輪アクスルシャフト用ナット	M25x1.5	90 Nm
----------------	---------	-------

12.25 チェーン、リアスプロケット、フロントスプロケット、チェーンガイドを点検する



準備作業

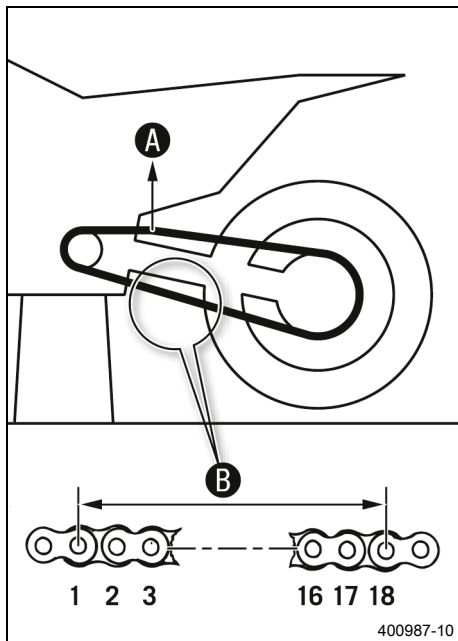
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 49)

主な作業

- ギアをニュートラルに入れます。
- リアスプロケットとフロントスプロケットの磨耗を点検します。
 - » スプロケットまたはチェーンピニオンがスムーズに動く場合：
 - 駆動部品一式を交換します。🔧

i **参考**

フロントスプロケット、リアスプロケット、チェーンは必ず一緒に交換して下さい。



- チェーン上部を以下に記載した重量 **A** で引っ張ります。
規定

チェーンの摩耗測定の重量	15 kg
--------------	-------

- チェーン下部でローラー 18 個分の長さ **B** を測定します。

i 参考

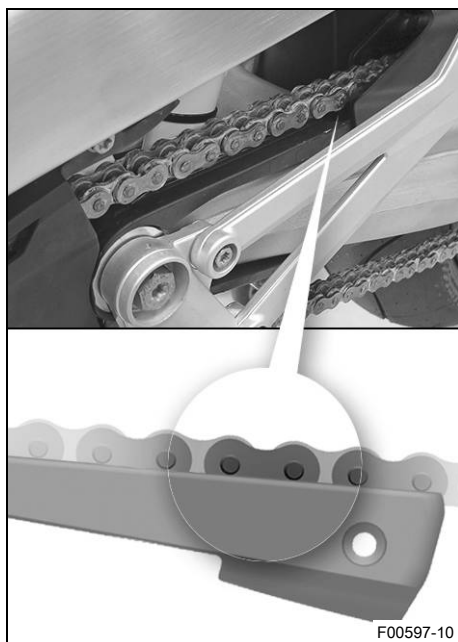
チェーンは均等に擦り切れるとは限らないので、上記確認を何箇所か別の場所で繰り返し行って下さい。

チェーンが最も長い部分でのローラー 18 個分の長さ B の最大値	272 mm
------------------------------------------	--------

- » 長さ **B** が規定値より大きい:
 - 駆動部品一式を交換します。🔧

i 参考

新しいチェーンを取り付ける際は、同時にリアスプロケットとフロントスプロケットも交換して下さい。
古いスプロケットまたはチェーンピニオンに新しいチェーンを使用すると消耗が早くなります。



- チェーンスライダーガードの磨耗を点検します。
 - » チェーンのピンの下端が、チェーンスライダーガードの高さ、またはそれより下にある:
 - チェーンスライダーガードを交換します。🔧
- チェーンスライダーガードがきちんと固定されているか確認します。
 - » チェーンスライダーガードがガタついている:
 - チェーンスライダーガードのスクリューをしっかりと締めます。

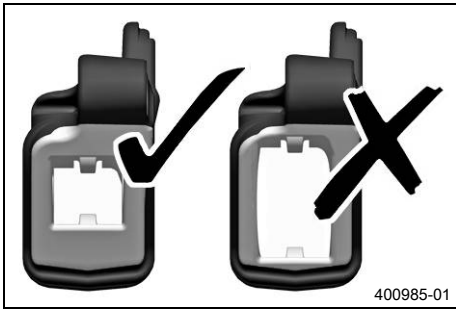
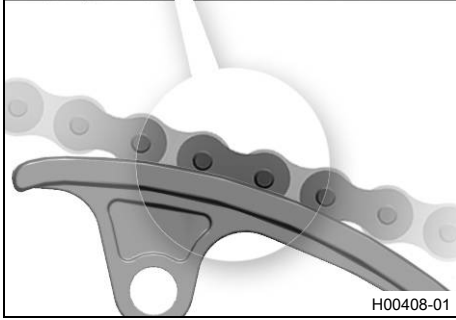
規定

チェーンスライダーガード用スクリュー	M6	10 Nm Loctite®243™
--------------------	----	------------------------------



- チェーンスライダ－の磨耗を点検します。
 - » チェーンのピンの下端が、チェーンスライダ－の高さ、またはそれより下にある：
 - チェーンスライダ－を交換します。↘
- チェーンスライダ－がきちんと固定されているか確認します。
 - » チェーンスライダ－がガタついている：
 - チェーンスライダ－のスクリユ－をしっかりと締めます。

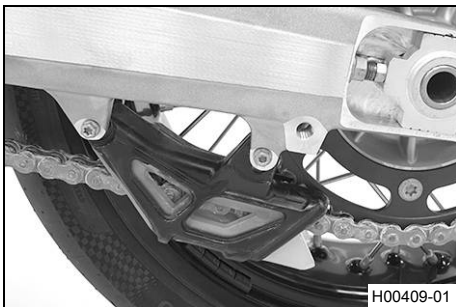
チェーンスライダ－用スクリユ－	M8	15 Nm
-----------------	----	-------



- チェーンガイドの磨耗を点検します。

i 参考
チェーンガイドの磨耗は前面の状態を見て判断します。

- » チェーンガイドの色の明るい部分が磨耗している：
 - チェーンガイドを交換します。↘



- チェーンガイドがきちんと固定されているか確認します。
 - » チェーンガイドがガタついている：
 - チェーンガイドのスクリユ－をしっかりと締めます。

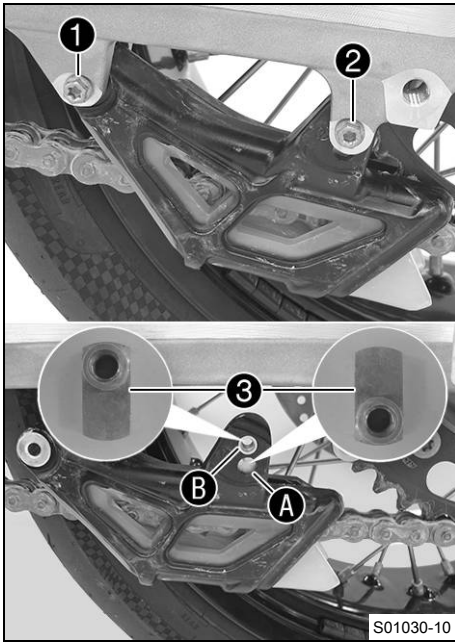
チェーンガイド用スクリユ－	M6	10 Nm
---------------	----	-------

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)



12.26 チェーンガイドを調節する



- スクリュー①と②を外します。チェーンガイドを取り外します。

条件

歯数: ≤ 44 歯

- ナット③を穴Aに差し込みます。チェーンガイドの位置を調整します。
- スクリュー①と②を取り付け、しっかりと締めます。

規定

チェーンガイド用 スクリュー	M6	10 Nm
-------------------	----	-------

条件

歯数: ≥ 45 歯

- ナット③を穴Bに差し込みます。チェーンガイドの位置を調整します。
- スクリュー①と②を取り付け、しっかりと締めます。

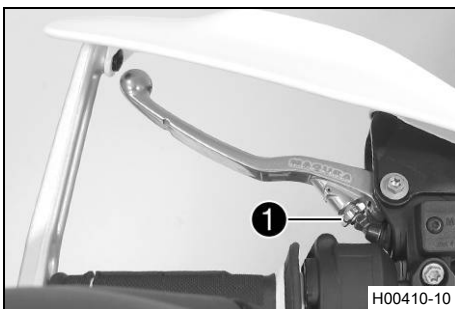
規定

チェーンガイド用 スクリュー	M6	10 Nm
-------------------	----	-------

12.27 クラッチレバーの基本位置を調整する

i 参考

調節スクリューを時計回りに回すと、クラッチレバーはハンドルバーに近づきます。
 調節スクリューを時計と反対回りに回すと、クラッチレバーはハンドルバーから遠ざかります。
 設定範囲には限界があります。
 調節スクリューは手で回し、無理な力をかけないで下さい。
 調節作業は運転中に行わないで下さい。



- クラッチレバーの基本位置を調節スクリュー①で手の大きさに合わせて調整します。
- 車両上の他の部品との間に最低距離が確保されるようにシフトレバーを調節します。

規定

最低間隔	5 mm
------	------

12.28 油圧式クラッチのフルードレベルを点検・調節する

**警告**

皮膚の炎症 ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

**情報**

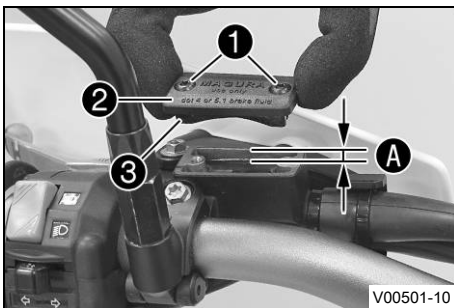
環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

**参考**

クラッチディスクの摩耗が進むにつれ、フルードレベルが高くなります。ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとクラッチワイヤーはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。

塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！
密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！



- ハンドルバーに取り付けられている油圧式クラッチのリザーバータンクを水平な状態にします。
- スクリュー①を外します。
- カバー②をダイヤフラム③と一緒に外します。
- フルードのレベルを確認します。

タンクの上端からフルードレベル A まで	4 mm
----------------------	------

- » フルードのレベルが規定通りになっていない：
 - 油圧式クラッチのフルードレベルを調節します。

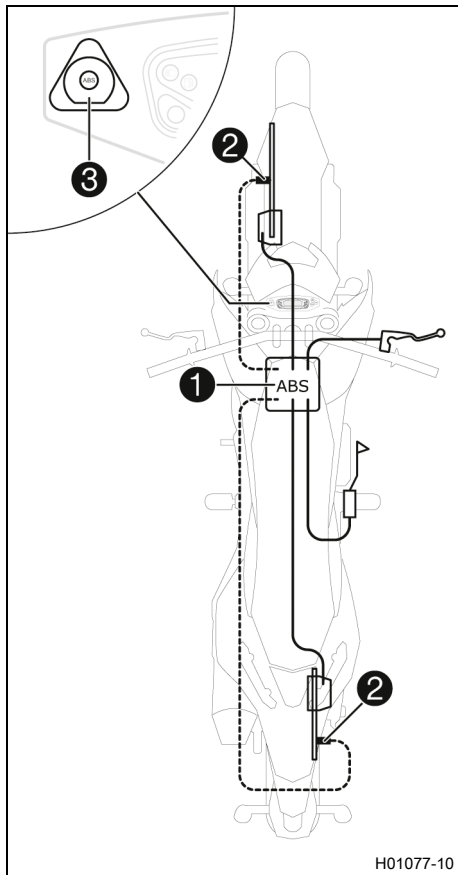
ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (頁 124)

- カバーとダイヤフラムの位置を調整します。スクリューを取り付け、しっかりと締めます。

**参考**

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

13.1 アンチロック・ブレーキシステム (ABS)



ABS モジュール①は油圧ユニット、ABS コントロールユニット、リターンポンプから成り、シートの下に設置されています。前輪と後輪に各1つの車輪速度センサー②が取り付けられています。



警告

事故の危険性 車両を改造した場合、アンチロック・ブレーキシステムの機能に影響を及ぼします。

- サスペンションストロークに影響を及ぼすような改造を行わないで下さい。
- ブレーキシステムには Husqvarna モーターサイクル純正製品のスペアパーツのみをご使用下さい。
- Husqvarna モーターサイクルにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。
- タイヤの規定空気圧を遵守して下さい。
- メンテナンス作業および修理が正しく行われていることを確認して下さい。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

ABSは、直進走行中に車輪がロックしてハンドルが効かなくなってしまうのを防ぐ安全システムです。



警告

事故の危険性 運転支援システムは物理的に可能な範囲内で転倒の確率を抑えるためのものです。

重い荷物の積載、道路舗装の変化、急勾配での発進、クラッチを切らないままのフルブレーキなど極限の走行状態では運転支援が行えない場合があります。

- 道路の状況、運転能力に応じた走行方法で運転しましょう。



警告

事故の危険性 ABS モードの選択を誤ると、車両の制御が著しく困難になります。

ABS モードは、それぞれ特定の条件にのみ適しています。

- 必ず路面に適した ABS モードを選択してください。

ABS には、ABS モードRoadと ABS モードSupermotoの2つの作動モードがあります。

ABS モードRoadでは、ABS が前輪・後輪の両方を制御できます。ABS モードSupermotoでは、ABS が前輪だけを制御します。後輪では ABS 制御が行われません。ABS 警告ランプ③がゆっくりと点滅し、現在、ABS モードがSupermotoである事に注意を促します。

i 参考

ABS モードSupermotoでは後輪がロックし、転倒する恐れがあります。
ABS モードSupermotoは走行モードSPORTでのみ利用することができます。

ABS は 2 つの独立したブレーキ回路で作動します (前輪ブレーキと後輪ブレーキ)。車輪のいずれかがロックしている傾向を ABS コントロールユニットで検出すると、ブレーキ圧の調整により ABS が作動し始めます。調整プロセスによりブレーキペダルまたはブレーキレバーにわずかな振動が感じられます。
通常、イグニッションをオンにすると ABS 警告ランプ③が点灯し、発進すると消えます。発進後もランプが消えない場合や走行中に点灯した場合は、ABS で不具合が発生した事を示します。この場合には ABS は作動せず、ブレーキをかけた際に車輪がロックする恐れがあります。その際、ABS による調整は行われませんが、ブレーキシステム自体は通常通り機能します。
ABS 警告ランプは、ウィリーや後輪の空転などの極端な走行状態で、前輪と後輪の回転数に大きな差異がある場合にも点灯する事があります。この場合、ABS はオフとなります。
ABS を再度オンにするには、車両を停止してイグニッションをオフにします。車両を再び作動すると、ABS も再びオンになります。ABS 警告ランプは発進後に消えます。

i 参考

バイクにはさらに 5-D センサーが搭載されています。
5-D センサーは前後左右の傾きを検知する ABS の補助機能です。車輪が傾いた状態 (カーブ走行中) でブレーキを作動した際、物理的に可能な範囲で車輪のブロックや滑りを防ぐことができます。

13.2 ブレーキレバーの基本位置を調整する



- ブレーキレバーの基本位置を調節ダイヤル①で手の大きさに合わせて調整します。

i 参考

ブレーキレバーを前方に押し調節ダイヤルを回します。
調節作業は運転中に行わないで下さい。

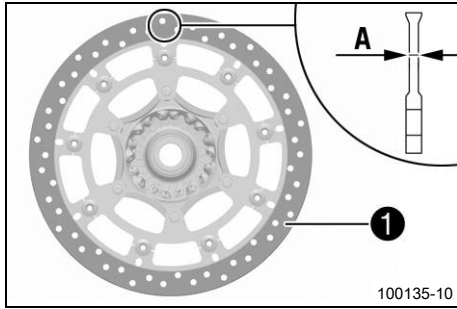
13.3 ブレーキディスクを点検する



警告

事故の危険性 磨耗したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキディスクは速やかに交換しなければなりません。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



- 前輪と後輪のブレーキディスクの何箇所かでディスクの厚み **A** を確認します。

参考

ブレーキディスクの厚みは、ブレーキパッドと接触する範囲 **1** が摩耗により減っていきます。

ブレーキディスク磨耗限界	
前方	4.0 mm
後輪	4.5 mm

- » ブレーキディスクの厚みが規定値を下回っている:
 - 前輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。🔧
 - 後輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。🔧
- 前輪と後輪のブレーキディスクでひび、損傷、変形がないかを点検します。
 - » ブレーキディスクにひび、損傷、変形が見られる:
 - 前輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。🔧
 - 後輪ブレーキのブレーキディスクを交換します。🔧

13.4 前輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルが規定のマーキングもしくは規定値を下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

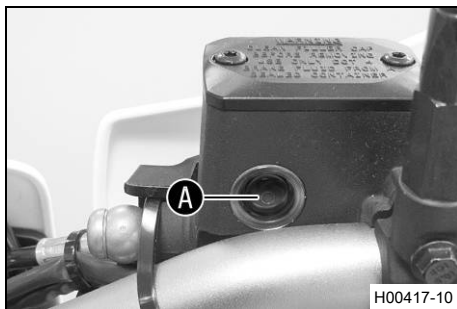
- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



- ハンドルバーに取り付けられているブレーキフルードリザーバーを水平な状態にします。
- ブレーキフルードのレベルを点検窓で確認します。
 - » ブレーキフルードのレベルがマーキング **A** を下回っている:
 - 前輪ブレーキのブレーキフルードを補給します。🔧 (📖 頁 67)

13.5 前輪ブレーキのブレーキフルードを補給する



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルが規定のマーキングもしくは規定値を下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

皮膚の炎症 ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリス、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとブレーキホースはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！ 密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！

準備作業

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 68)

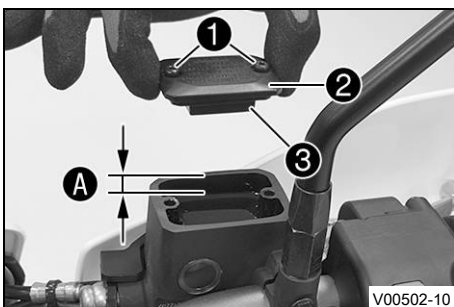
主な作業

- ハンドルバーに取り付けられているブレーキフルードリザーバーを水平な状態にします。
- スクリュー①を外します。
- カバー②をダイヤフラム③と一緒に外します。
- ブレーキフルードをAの位置まで注ぎます。

規定

寸法 A (タンクの上縁からブレーキフルードのレベルまで)	5 mm
-------------------------------	------

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (📖 頁 124)



- カバーとダイヤフラムの位置を調整します。スクリューを取り付け、しっかりと締めます。



参考

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

13.6 前輪ブレーキのブレーキパッドを点検する



警告

事故の危険性 磨耗したブレーキパッドはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキパッドは速やかに交換しなければなりません。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

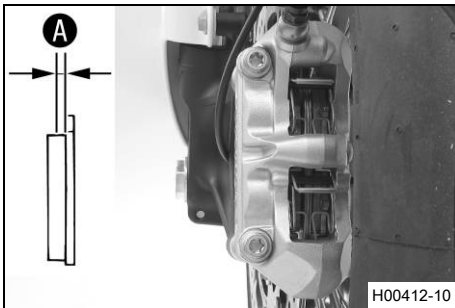


警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

ブレーキパッドの交換が遅れると、ブレーキパッドサポートがブレーキディスクをこすります。その結果、ブレーキ性能が大幅に低下し、ブレーキディスクを破損してしまいます。

- ブレーキパッドを定期的に点検してください。



- ブレーキパッド厚み **A** の最小値を確認します。

厚み最小値 A	≥ 1 mm
----------------	--------

» 厚みが最小値を下回っている:

- 前輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。↘
- ブレーキパッドにひびや破損がないか点検します。
- » ひびや破損がある:
 - 前輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。↘

13.7 ブレーキペダルの遊びを点検する

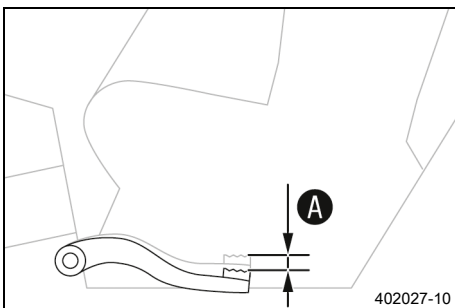


警告

事故の危険性 ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。

ブレーキペダルに遊びがないと、ブレーキシステム内で後輪ブレーキに圧力がかかります。

- ブレーキペダルの遊びを規定値に従って設定してください。



- ブレーキペダルを、ペダルが上がり切った状態とフットブレーキシリンダーのピストンに触れる間で何度か動かし、遊び **A** を確認します。

規定

ブレーキペダルの遊び	3 ... 5 mm
------------	------------



参考

ブレーキペダルを作用した際、抵抗が大きくなったらフットブレーキシリンダーのピストンに触れています。

- » 遊びが規定通りになっていない:

- ブレーキペダルの基本位置を調整します。 (頁 69)

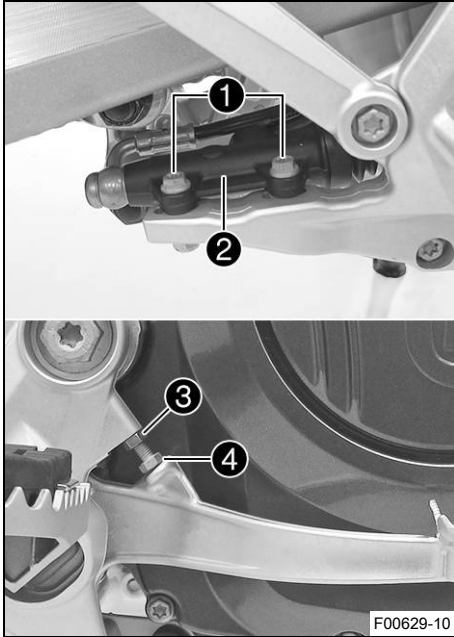
13.8 ブレーキペダルの基本位置を調整する



警告

事故の危険性 ブレーキシステムは過熱状態では稼動しません。
ブレーキペダルに遊びがないと、ブレーキシステム内で後輪ブレーキに圧力がかかります。

- ブレーキペダルの遊びを規定値に従って設定してください。



- フットブレーキシリンダー^②にあるスクリュー^①を緩めます。
- ナット^③を緩め、スクリュー^④を回し、ブレーキペダルの基本位置を好みに合わせて調節します。



参考

設定範囲には限界があります。スクリューは、最低4回転分フットレストサポートにねじ込まれた状態にして下さい。

- ブレーキペダルで遊びがあるように、フットブレーキシリンダー^②の位置を調整します。
- スクリューキャップ^①をしっかりと締めます。

規定

フットブレーキシリンダー用スクリュー	M6	10 Nm
--------------------	----	-------

- ブレーキペダルの遊びを点検します。(頁 68)
- ナット^③をしっかりと締めます。

13.9 後輪ブレーキのブレーキフルードのレベルを点検する



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。
ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

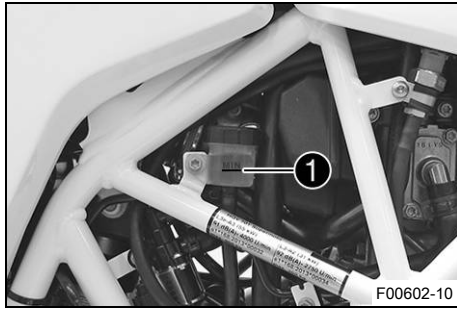
- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



- 車両を垂直に立てます。
- ブレーキフルードリザーバーでブレーキフルードのレベルを確認します。
 - » フルードのレベルがMINのマーキング①まで下がっている:
 - 後輪ブレーキのブレーキフルードを補給します。(📖 頁 70)

13.10 後輪ブレーキのブレーキフルードを補給する 🐾



警告

事故の危険性 ブレーキシステムはブレーキフルード・レベルが不十分であると稼動しません。ブレーキフルードのレベルがMINのマーキングを下回っていたら、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが摩耗しています。

- ブレーキシステムを点検し、問題を解決するまでは車両を走行させないでください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

皮膚の炎症 ブレーキフルードに接触すると皮膚の炎症の原因となります。

- ブレーキフルードは子供の手の届かないところに保管してください。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- ブレーキフルードを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は多量の水で洗ってください。
- ブレーキフルードが目に入ってしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- ブレーキフルードが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



警告

事故の危険性 老化したブレーキフルードはブレーキ性能を低下させます。

- 前輪および後輪ブレーキのブレーキフルードがサービスプランに従って交換されていることを確認してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

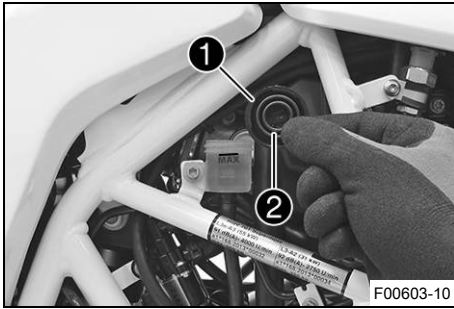


参考

ブレーキフルード DOT 5 を絶対に使用しないで下さい！ シリコンオイルをベースにしており、紫色に着色してあります。ガスケットとブレーキホースはブレーキフルード DOT 5 での使用に適していません。塗装された部品にブレーキフルードがつかないように注意して下さい。塗装がはげます！ 密閉された容器に保存された、きれいなブレーキフルードのみを使用して下さい！

準備作業

- 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検します。(📖 頁 71)



主な作業

- 車両を垂直に立てます。
- スクリューキャップ①をワッシャー、ダイヤフラム②と一緒に外します。
- ブレーキフルードをMAXのマーキング位置まで注ぎます。

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1 (📖 頁 124)

- スクリューキャップをワッシャーとダイヤフラムと一緒に取り付けます。



参考

ブレーキフルードが溢れたりこぼれたりした場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

13.11 後輪ブレーキのブレーキパッドを点検する



警告

事故の危険性 磨耗したブレーキパッドはブレーキ性能を低下させます。

- 磨耗したブレーキパッドは速やかに交換しなければなりません。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)

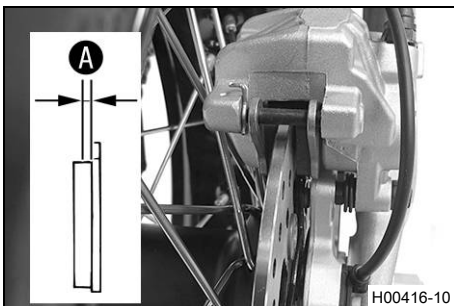


警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

ブレーキパッドの交換が遅れると、ブレーキパッドサポートがブレーキディスクをこすります。その結果、ブレーキ性能が大幅に低下し、ブレーキディスクを破損してしまいます。

- ブレーキパッドを定期的に点検してください。



- ブレーキパッド厚み A の最小値を確認します。

厚み最小値 A	≥ 1 mm
---------	--------

- » 厚みが最小値を下回っている:
 - 後輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧
- ブレーキパッドにひびや破損がないか点検します。
 - » ひびや破損がある:
 - 後輪ブレーキのブレーキパッドを交換します。🔧

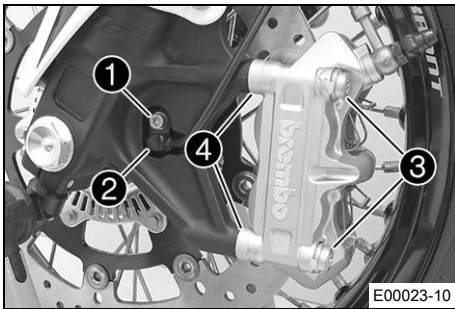
14.1 前輪を取り外す

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 49)
- フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 50)

主な作業

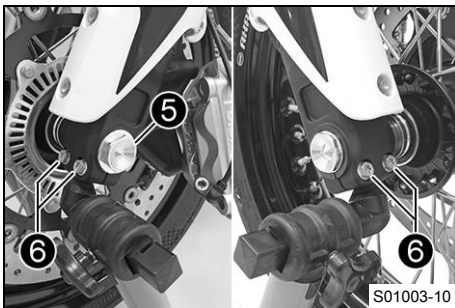
- スクリュー①を外し、車輪速度センサー②を穴から抜きます。
- スクリュー③とスペーサー④を取り外します。
- ブレーキディスク上でブレーキキャリパーを軽く横に傾け、ブレーキパッドを押し戻します。
- ブレーキキャリパーを慎重に後ろへ引いてブレーキディスクから外し、脇にかけておきます。



参考

ブレーキキャリパーを外した状態でブレーキレバーを作動しないで下さい。

- スクリュー⑤を数回転分緩めます。
- スクリュー⑥を緩めます。
- スクリュー⑤を押し、アクスルシャフトをフォークレグの穴から押し出します。
- スクリュー⑤を外します。

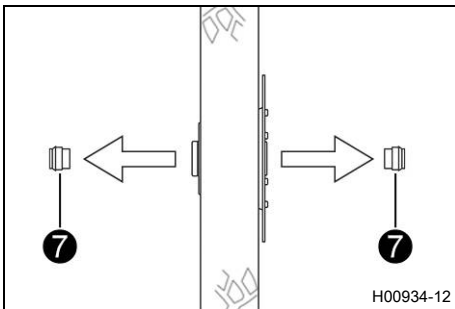


警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- ブレーキディスクが損傷する事のないよう、ホイールの取り外しには注意して下さい。

- 前輪を支え、アクスルシャフトを取り外します。前輪をフロントフォークから取り外します。
- スペーサー⑦を取り外します。



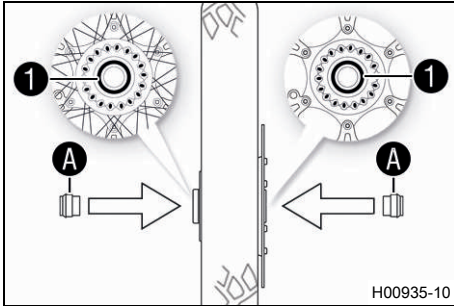
14.2 前輪を取り付ける



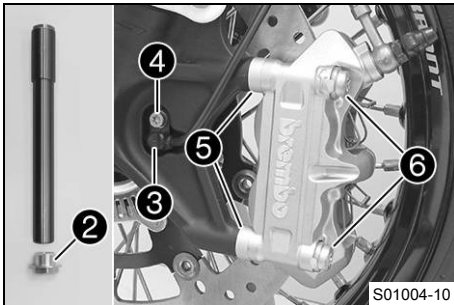
警告

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。



H00935-10



S01004-10

主な作業

- ホイールベアリングに磨耗や損傷がないかを点検します。
 - » ホイールベアリングが破損または磨耗している：
 - 前方ホイールベアリングを交換します。
- シャフトのラジアルシールリング ①とスペーサーの接触面 A を清掃し、グリースアップします。

耐久性グリース (頁 126)

- スペーサーを取り付けます。
- アクスルシャフトを清掃し、軽くグリースアップします。

耐久性グリース (頁 126)

- 前輪をフロントフォークの高さまで持ち上げ、位置を調整してアクスルシャフトを差し込みます。
- スクリュー ② を取り付け、しっかりと締めます。

規定

前方アクスルシャフト用スクリュー	M24x1.5	45 Nm
------------------	---------	-------

- 車輪速度センサー ③ を穴に差し込み、位置を調整します。
- スクリュー ④ を取り付け、しっかりと締めます。

規定

車輪速度センサー用スクリュー	M6	6 Nm	Loctite®243™
----------------	----	------	--------------

- ブレーキディスク上でブレーキキャリパーの位置を調整します。
 - ✓ ブレーキパッドの位置が正しく調整されています。
- スペーサー ⑤ の位置を調整します。スクリュー ⑥ を取り付け、締めないままにしておきます。

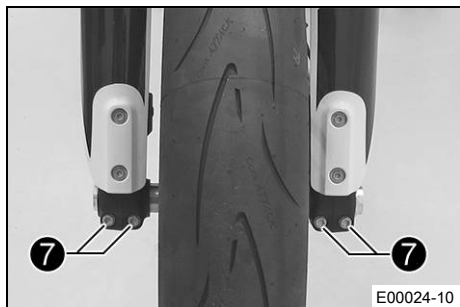
規定

前方ブレーキキャリパー用スクリュー	M10x1.25	45 Nm	Loctite®243™
-------------------	----------	-------	--------------

- ブレーキパッドがブレーキディスクに接触して抵抗が感じられるまで、ブレーキレバーを何度か作動します。ブレーキレバーを作動した状態で固定します。
 - ✓ ブレーキキャリパーの位置が調整されます。
- スクリュー ⑥ をしっかりと締めます。

規定

前方ブレーキ キャリパー用ス クリュー	M10x1.25	45 Nm Loctite®243™
---------------------------	----------	---------------------------



- ブレーキレバーの固定を解きます。
- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)
- 前輪のブレーキを作動し、フロントフォークのスプリングを何度が強く圧縮します。
- ✓ フォークレグの位置が調整されます。
- スクリュー⑦をしっかり締めます。

規定

フォークレグのアクスル通し穴用スクリュー	M8	15 Nm
----------------------	----	-------

その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)

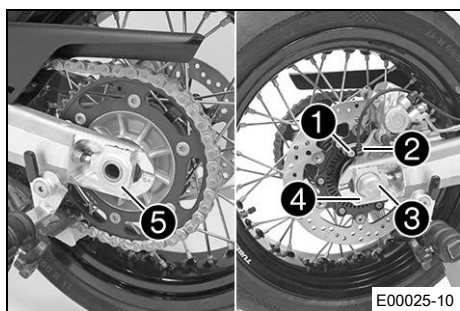
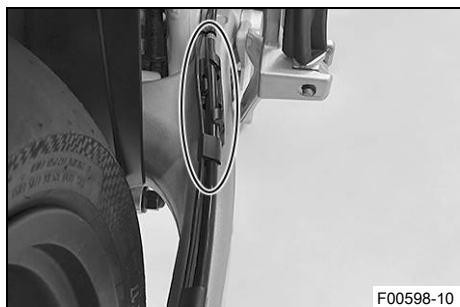
14.3 後輪を取り外す

準備作業

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 49)

主な作業

- ブレーキワイヤーをガイドから取り外します。



- 手でブレーキキャリパーをブレーキディスクに向かって押し、ブレーキピストンを押し戻します。
- スクリュー①を外し、車輪速度センサー②を穴から抜きます。
- ナット③を外します。チェーンアジャスター④を取り外します。
- チェーンアジャスターが調節スクリューから離れるまで、アクスルシャフト⑤を引き出します。



- 後輪をできるだけ前に押し、チェーンをリアsprocketから外します。

参考

部品を損傷させないように、カバーをかけて保護します。

- 後輪を支え、アクスルシャフトを取り外します。



警告

事故の危険性 破損したブレーキディスクはブレーキ性能を低下させます。

- ブレーキディスクが損傷する事のないよう、ホイールの取り外しには注意して下さい。

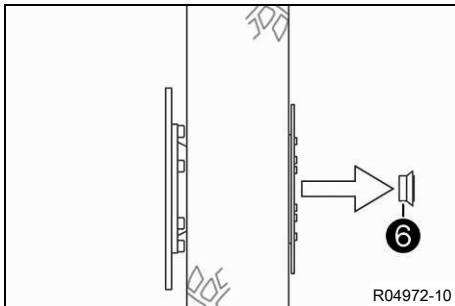
- スイングアームから後輪を外します。



参考

後輪を取り外した状態でフットブレーキを作動しないで下さい。

- スパースー⑥を取り外します。



14.4 後輪を取り付ける



警告

事故の危険性 オイルやグリースがブレーキディスクに付着するとブレーキ性能が低下します。

- ブレーキディスクを常にオイルやグリースから保護してください。
- 必要な場合、ブレーキディスクをブレーキ洗浄剤を使って清掃してください。



警告

事故の危険性 後輪取り付け直後には後輪ブレーキにはブレーキ性能がありません。

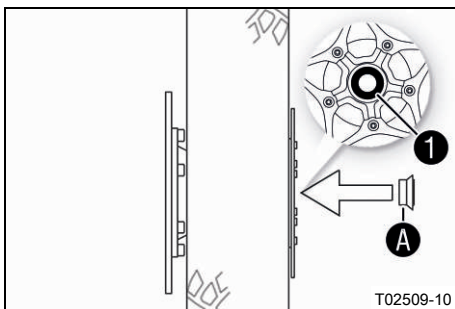
- 走行を開始する前にしっかりとした圧点を感じることができるようになるまでフットブレーキを何回か作動させてください。

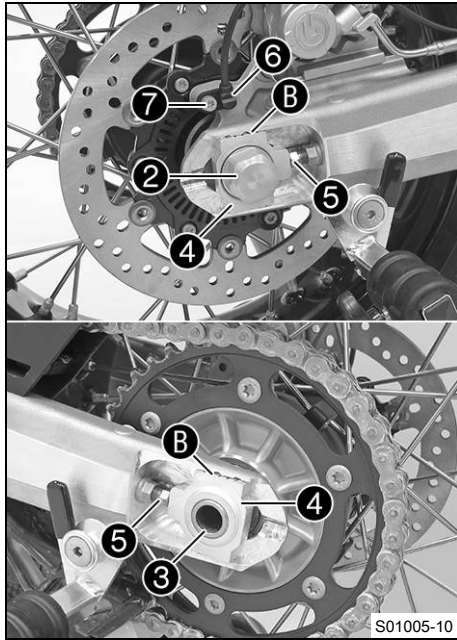
主な作業

- 後輪のハブダンパーを点検します。 (頁 77)
- ホイールベアリングに磨耗や損傷がないかを点検します。
 - » ホイールベアリングが破損または磨耗している:
 - 後輪のホイールベアリングを交換します。
- シャフトのラジアルシールリング①とスパースーの接触面Aを清掃し、グリースアップします。

耐久性グリース (頁 126)

- スパースーを取り付けます。





- アクスルシャフトとナット②のねじ山を清掃してグリースアップします。

耐久性グリース (📖 頁 126)

- アクスルシャフトを清掃し、軽くグリースアップします。

耐久性グリース (📖 頁 126)

- ハブダンパーとリアsprocketサポートを後輪に取り付けます。
- 後輪の位置を調整します。
- ✓ ブレーキパッドの位置が正しく調整されています。
- 後輪をできるだけ前に押し、チェーンをリアsprocketにかけます。
- アクスルシャフト③とチェーンアジャスター④を取り付けます。ナット②を取り付け、締めないままにしておきます。
- チェーンアジャスター④が調節スクリュー⑤に接触している事を確認します。

規定

後輪の位置が正しく調整されるよう、左右のチェーンアジャスターに付けられたマーキングが目印Bに対して同じ位置にくるように取り付けて下さい。

i 参考

左右のチェーンアジャスター④は同じ向きで取り付けて下さい。

- ナット②をしっかりと締めます。

規定

後輪アクスルシャフト用ナット	M25x1.5	90 Nm
----------------	---------	-------

- 車輪速度センサー⑥を穴に差し込み、位置を調整します。
- スクリュー⑦を取り付け、しっかりと締めます。

規定

車輪速度センサー用スクリュー	M6	6 Nm	Loctite®243™
----------------	----	------	--------------

- ブレーキワイヤーをガイドの位置で調整します。
- ブレーキパッドがブレーキディスクに接触して抵抗が感じられるまで、ブレーキペダルを何度か作動します。



その後の作業

- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)
- チェーンの遊びを点検します。(📖 頁 58)

14.5 後輪のハブダンパーを点検する

参考

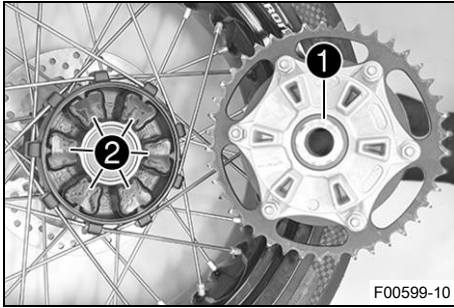
エンジンの力はリアスプロケットから6つのハブダンパーを通して後輪に伝えられます。車両の使用によりハブダンパーは摩耗していきます。ハブダンパーを適時に交換しないと、リアスプロケットサポートと後輪ハブを損傷してしまいます。

準備作業

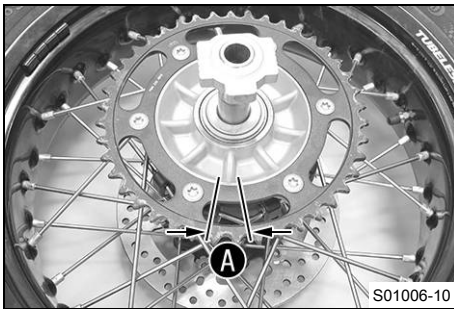
- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(頁 49)
- 後輪を取り外します。(頁 74)

主な作業

- ベアリング①を点検します。
 - » ベアリングが破損または磨耗している:
 - リアスプロケットサポートのベアリングを交換します。
- 後輪のハブダンパー②に破損・摩耗が無い点検します。
 - » 後輪のハブダンパーが摩耗または損傷している:
 - 後輪のハブダンパー全てを交換します。
- リアスプロケットを上にして後輪を作業台の上に置き、アクスルシャフトをハブに差し込みます。
- 遊びAを確認するため、後輪を押さえた状態でリアスプロケットを手で回してみます。



F00599-10



S01006-10

参考

遊びはリアスプロケットの外側で測定して下さい。

後輪のハブダンパーの遊び	≤ 5 mm
--------------	--------

- » 遊びAが記載された値より大きい:
 - 後輪のハブダンパー全てを交換します。

その後の作業

- 後輪を取り付けます。(頁 75)
- リアスタンドから車両を降ろします。(頁 50)
- チェーンの遊びを点検します。(頁 58)

14.6 タイヤの状態を点検する



警告

事故の危険性 タイヤが走行中にパンクしてしまった場合、車両をコントロールすることができなくなります。

- 破損した、またはすり減ったタイヤが速やかに交換されていることを確認してください。(お近くのHusqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



警告

転倒の危険性 前輪と後輪のトレッドが異なると走行性能に影響を及ぼします。

異なるトレッドのタイヤを使用すると車両のコントロールが大幅に難しくなります。

- 前輪と後輪に同様のトレッドのタイヤが装着されていることを確認してください。



警告

事故の危険性 承認または推奨されていないタイヤならびに車輪を装着した場合、走行性能が損なわれます。

- Husqvarna モーターサイクルにより承認および推奨された適切な速度記号のタイヤならびに車輪のみを使用して下さい。



警告

事故の危険性 新しいタイヤのグリップ力はまだ十分なものではありません。

新しいタイヤの接地面はまだ十分に慣らされていません。

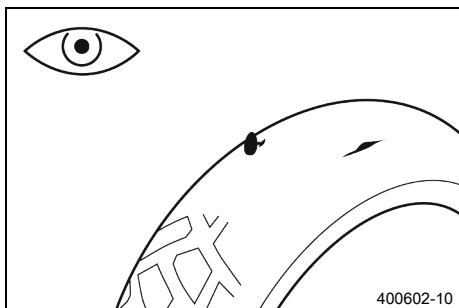
- 新しいタイヤの場合は傾きを変えて慎重に慣らし走行を行って下さい。
慣らし走行期間 200 km



参考

タイヤの種類、状態、空気圧は車両の走行性能に影響を与えます。

タイヤがすり減っていると、路面が濡れている場合などは特に走行性能に悪影響を与えます。



- 前輪・後輪のタイヤに亀裂がないか、異物が刺さっていないか、その他損傷がないかを点検します。
 - » タイヤに亀裂や損傷がある、または異物が刺さっている:
 - タイヤを交換します。🔧
- 溝の深さを点検します。

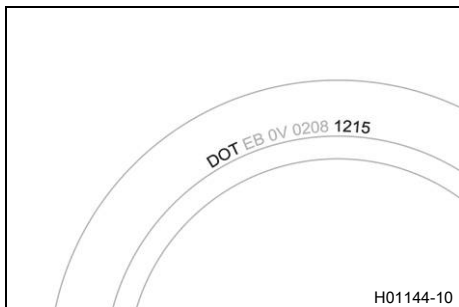


参考

各国法律により定められている溝の深さの最小値を守ってください。

溝の深さ最小値	≥ 2 mm
---------	--------

- » 溝の深さが最小値を下回っている:
 - タイヤを交換します。🔧
- タイヤの製造日を確認します。

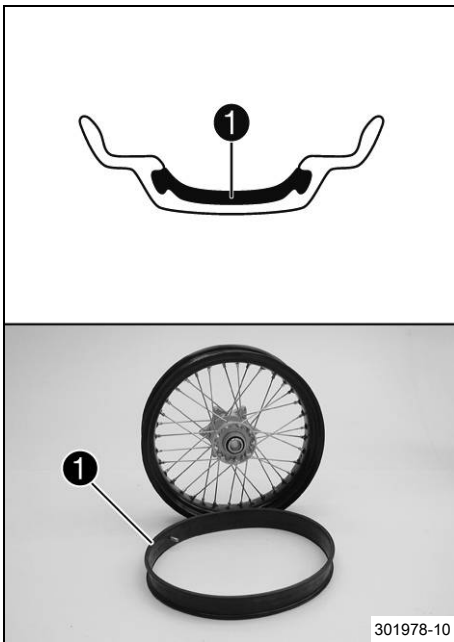


参考

通常、タイヤの製造日はタイヤに記載されており、DOTコードの下4桁の数字で表されています。最初の2桁が製造週を、残りの2桁が製造年を示しています。Husqvarna Motorcycles では、実際の磨耗状態にかかわらず、遅くとも製造日から5年を経過したらタイヤ交換する事をお勧めしています。

- » タイヤの製造日が5年以上前である:
 - タイヤを交換します。🔧

14.7 チューブレスタイヤシステム

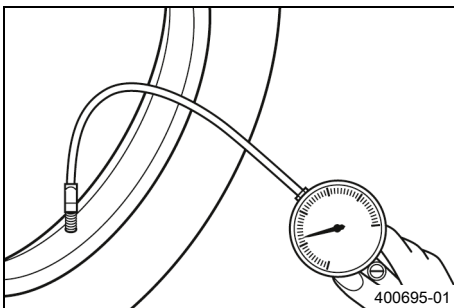


この車両は従来のタイヤのチューブの役目を果たすインナーライナー①を使ったチューブレスタイヤシステムを使用しています。チューブレスシステムの特長はチューブ破損の危険性が軽減されることです。急激な減圧の危険性が大幅に減少します。従来のワイヤースポークホイールを使用するよりも慣性モーメントが小さくなります。その結果、ハンドリング性能や快適性の向上につながります。頑丈なリム設計によりワイヤースポークホイールはほぼメンテナンスフリーです。Husqvarna Motorcycles では、実際の磨耗状態にかかわらず、遅くとも製造日から5年を経過する前にインナーライナーを交換する事をお勧めしています。

14.8 タイヤ空気圧を点検する

i 参考

タイヤの空気圧が低過ぎると異常な磨耗が発生し、タイヤが過熱します。適正な空気圧により快適な走行が可能となり、タイヤの寿命も延びます。



- カバーキャップを外します。
- タイヤが冷えた状態で空気圧を点検します。

同乗者なしでのタイヤの空気圧	
前方	2.0 bar
後輪	2.0 bar

同乗者あり / 最大積載量でのタイヤの空気圧	
前方	2.0 bar
後輪	2.2 bar

- » タイヤの空気圧が規定通りになっていない:
 - タイヤの空気圧を調節します。
- カバーキャップを取り付けます。



14.9 スポークの張りを点検する



警告

事故の危険性 スポークの張りが不適切な場合、走行性能に影響を及ぼし、その結果として損害を招くことがあります。

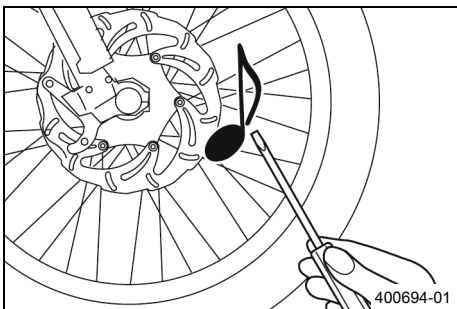
スポークを張り過ぎた場合、過負荷によりスポークが折れます。スポークが緩すぎる場合、ホイールが横または縦方向に歪みやすくなります。その結果その他のスポークが緩んでしまいます。

- 特に新しい車両など、スポークの張りを定期的に点検してください。(お近くの Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーまでお問い合わせ下さい。)



参考

スポークの1本が緩んでいると車輪がしっかり安定せず、すぐに他のスポークを緩める原因となります。スポークを張り過ぎていると、そこにだけ負荷がかかり過ぎ、折れる原因となります。スポークの張りは(新しい車両では特に)定期的に点検して下さい。



- ドライバーの刃先で各スポークを軽くたたきます。



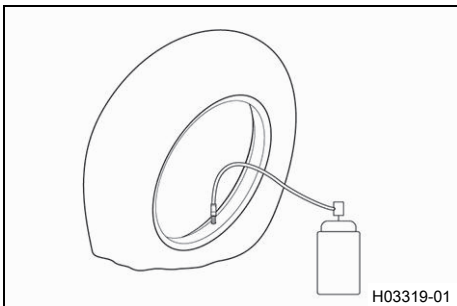
参考

スポークの長さや太さによって音の響きが違います。長さや太さが同じスポークで響きが異なる場合は、張りにばらつきがある事を示します。

明るい響きがすれば良い状態です。

- » スポークの張りが均等でない:
 - スポークの張りを調節します。↩

14.10 パンク修理剤の使用法



警告

事故の危険性 パンク修理剤を誤って使用すると、タイヤの空気圧を低下させてしまいます。

パンク修理剤は全てのタイヤの損傷を修理できるものではありません。

- パンク修理剤メーカーからの注意事項や指示に従ってください。
- パンク修理剤で修繕を行った場合、低速度で注意深く走行してください。
- 修繕後は最寄の修理工場まで走行し、そこでタイヤを交換してください。それ以上の距離は走行しないで下さい。

パンク修理剤は緊急時のみに使用してください。パンクした車両を修理剤を使って修理するよりも、できれば、最寄の修理工場へ車両を輸送してください。

15.1 12V バッテリーを取り外す

**警告**

人体への危険 バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

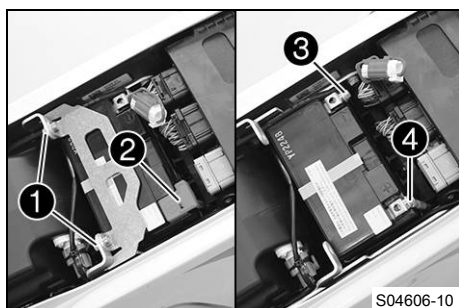
- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)

主な作業

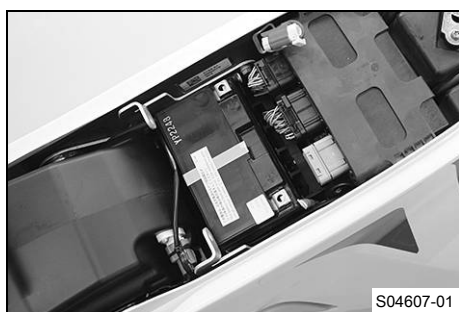
- スクリュー①を外します。
- 固定ブラケットを後ろにずらし、取り外します。
- プラス極のカバー②を取り外します。
- 12V バッテリーからマイナスケーブル③を外します。
- 12V バッテリーからプラスケーブル④を外します。
- 12V バッテリーを上から取り外します。

**参考**

12V バッテリーがあがった状態あるいは 12V バッテリーを搭載していない車両を運転する事は絶対にやめて下さい。どちらの場合も電気部品や安全関連装置を損傷させる恐れがあります。これにより、車両は道路交通に不適切な状態となります。

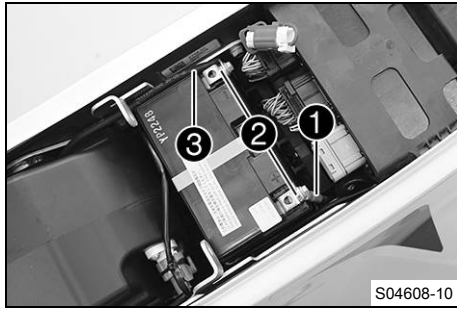


15.2 12V バッテリーを取り付ける

**主な作業**

- 電極が後ろに来るようにして、12V バッテリーをバッテリーコンパートメントに入れます。

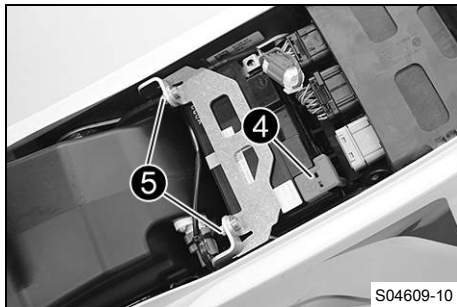
12V バッテリー (YTZ10S) (📖 頁 117)



- プラスケーブル①をワッシャー②と一緒に位置を調整します。
- マイナスケーブル③をワッシャー②と一緒に位置を調整します。
- スクリューを取り付け、しっかりと締めます。

規定

バッテリー電極用スクリュー	M6	4.5 Nm
---------------	----	--------



- プラス極のカバー④の位置を調整します。
- 固定ブラケットの位置を調整し、スクリュー⑤を取り付けてしっかりと締めます。

規定

シャーシ用その他のスクリュー	M6	10 Nm
----------------	----	-------

その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 53)
- 時刻を設定します。(📖 頁 23)

15.3 12V バッテリーを充電する



警告

人体への危険 バッテリー液、バッテリーから発生する気体は重大な化学火傷を引き起こす恐れがあります。

- 12V バッテリーは子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 適切な保護服、保護メガネを着用して下さい。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスとの接触は避けてください。
- 12-V バッテリーを火花や炎に近づけないで下さい。
- 12-V バッテリーの充電は必ず換気の良い場所で行って下さい。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- バッテリー液やバッテリーからの発生ガスが目にはいつてしまった場合、少なくとも 15 分間水で洗い落とし、速やかに受診してください。



情報

環境汚染 12V バッテリーには環境に悪影響を与える物質が含まれています。

- 12V バッテリーは家庭用ゴミとして廃棄しないで下さい。
- 12V バッテリーを廃棄する場合、使用済みバッテリーの回収場所に持ち込んで下さい。



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリス、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

i 参考

12V バッテリーは使用しなくても毎日放電しています。
 12V バッテリーの寿命は充電量と充電方法に大きく左右されます。
 大きな電流により短時間で充電すると寿命に悪影響を与えます。
 充電電流、充電電圧、充電時間が規定値を超えると、電解液が安全バルブから漏出します。これにより
 12V バッテリーの容量が減ってしまいます。
 12V バッテリーが空になったら、直ちに充電して下さい。
 放電し切った状態で長く放置すると過放電と硫酸化が起こり、12V バッテリー容量が失われ、バッテリー
 が破損します。
 この 12V バッテリーはメンテナンスフリーです。電解液レベルの点検を行う必要はありません。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)
- 12V バッテリーを取り外します。🔧(📖 頁 81)

主な作業

- 充電器と 12V バッテリーを接続します。充電器のスイッチを入れます。

規定

充電器は 12V バッテリーに適したものでなければなりません。

i 参考

カバー①は絶対に取り外さないで下さい。
 バッテリーケース②に記載された容量の最大 10% で
 12V バッテリーを充電します。

- 充電が終了したら充電器の電源を切り、12V バッテリーから外します。

規定

充電電流、充電電圧、充電時間が規定値を超えないよう注意して下さい。

車両を使用しないときは、 12V バッテリーを定期的に 充電して下さい	3ヶ月
-------------------------------------------	-----

その後の作業

- 12V バッテリーを取り付けます。🔧(📖 頁 81)
- シートを取り付けます。(📖 頁 53)
- 時刻を設定します。(📖 頁 23)

**15.4 メインヒューズを交換する****警告**

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

i 参考

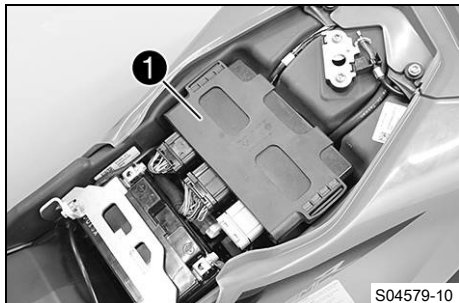
メインヒューズが車両上の全ての電装系部品を保護しています。12V バッテリー横、セルフスターターリレーのケースに設置されています。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)

主な作業

- エンジン制御**①**ユニットをホルダーから抜き取り、脇に垂らしておきます。
- 保護キャップ**②**を外します。



- 損傷したメインヒューズ**③**をラジオペンチで取り外します。

i 参考

ヒューズワイヤが壊れている場合**Ⓐ**はヒューズに欠陥があります。

セルフスターターリレーにスペアヒューズ**④**が差し込んであります。

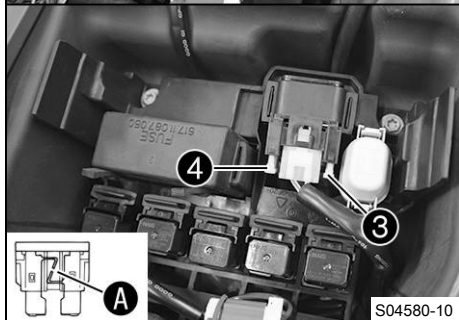
- 新しいメインヒューズを取り付けます。

ヒューズ (58011109130) (📖 頁 117)

i 参考

新しいスペアヒューズをセルフスターターリレーに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- 電装系部品の機能を点検します。
- 保護キャップをかぶせます。
- エンジン制御ユニットの位置を調整します。



その後の作業

- シートを取り付けます。(📖 頁 53)
- 時刻を設定します。(📖 頁 23)

15.5 ABS のヒューズを交換する



警告

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

i 参考

ABS用の2つのヒューズはシートの下にあります。この2つのヒューズでABSのリターンポンプと油圧ユニットを保護します。ABSコントロールユニットを保護している3つ目のヒューズは、ヒューズボックス内に設置されています。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)
- エンジン制御ユニットをホルダーから抜き取り、脇に垂らしておきます。

ABS 油圧ユニットのヒューズを交換する:

- 保護キャップ**①**を外します。
- ABS油圧ユニットのヒューズ**②**を取り外します。
- 新しいヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088010) (📖 頁 117)

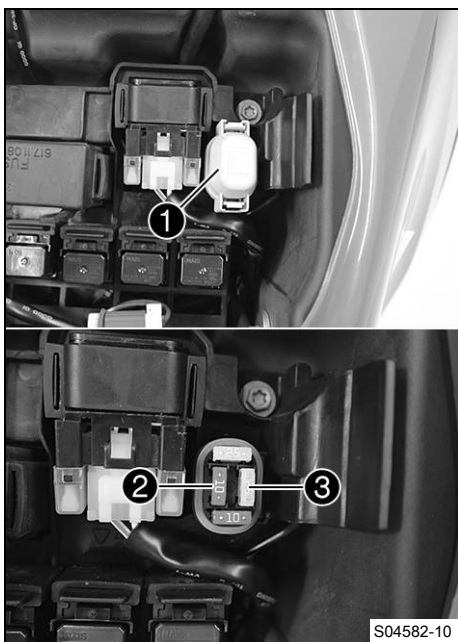
- カバーキャップを取り付けます。

ABS リターンポンプのヒューズを交換する:

- 保護キャップ**①**を外します。
- ABSリターンポンプのヒューズ**③**を取り外します。
- 新しいヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088025) (📖 頁 117)

- カバーキャップを取り付けます。

**その後の作業**

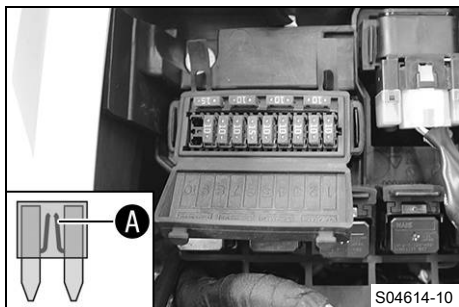
- エンジン制御ユニットの位置を調整します。
- シートを取り付けます。(📖 頁 53)

**15.6 各電装系部品のヒューズを交換する****i** 参考

各電装系部品のヒューズが設置されたヒューズボックスはシートの下に設置されています。

準備作業

- シートを取り外します。(📖 頁 52)
- エンジン制御ユニットをホルダーから抜き取り、脇に垂らしておきます。



主な作業

- ヒューズボックスのカバー①を開きます。

- 損傷したヒューズを取り外します。

規定

ヒューズ1 - 10 A - イグニッション、コンビネーションインスツルメント、時計、エンジン制御ユニット
ヒューズ2 - 10 A - イグニッション、コンビネーションインスツルメント、エンジン制御ユニット
ヒューズ3 - 10 A - 燃料ポンプ
ヒューズ4 - 10 A - 冷却ファン
ヒューズ5 - 10 A - ホーン、ブレーキライト、ターンシグナル
ヒューズ6 - 15 A - ヘッドライトのハイビームとロービーム、ポジションライト、テールライト、ナンバープレートライト
ヒューズ7 - 10 A - アクセサリー用 ACC 1 (継続プラス極)
ヒューズ8 - 10 A - アクセサリー用 ACC 2 (電源プラス極)、USB-A- 充電ポート
ヒューズ9 - 10 A - ABS
ヒューズ10 - 未使用
ヒューズSPARE - 10 A/15 A - スペアヒューズ

参考

ヒューズワイヤが壊れている場合①はヒューズに欠陥があります。

警告

火災の危険性 不適切なヒューズは電気装置に過負荷をかけます。

- 指定されたアンペア値のヒューズのみを使用してください。
- 切れたヒューズをつないだり修理しないで下さい。

- 対応する容量のスペアヒューズを取り付けます。

ヒューズ (75011088010) (図 頁 117)

ヒューズ (75011088015) (図 頁 117)

ヒント

新しいスペアヒューズをヒューズボックスに取り付け、必要な場合に使用できるようにしておきます。

- 電装系部品の機能を点検します。

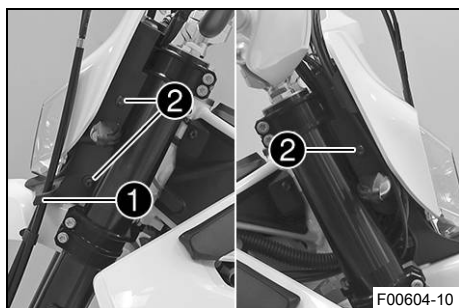
- ヒューズボックスのカバーを閉じます。
- エンジン制御ユニットの位置を調整します。

その後の作業

- シートを取り付けます。(頁 53)

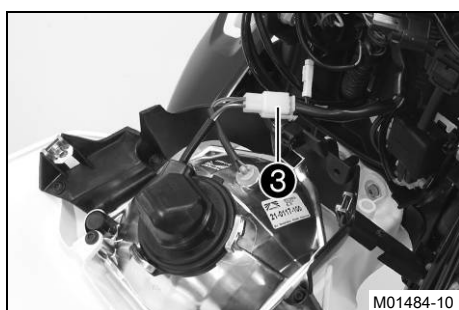


15.7 ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り外す



F00604-10

- フェンダーを損傷させないように、布をかけて保護します。
- ホルダーにあるブレーキワイヤーとワイヤーハーネス①を外します。
- 両側でスクリュー②を外します。
- ヘッドライトマスクを前方に開きます。

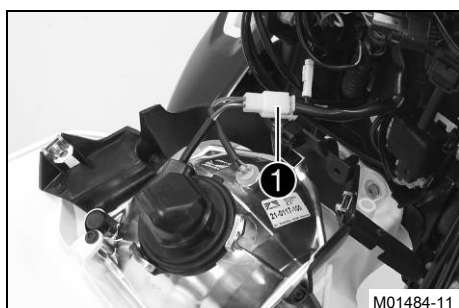


M01484-10

- ヘッドライトのコネクター③を外します。
- ヘッドライトマスクを取り外します。



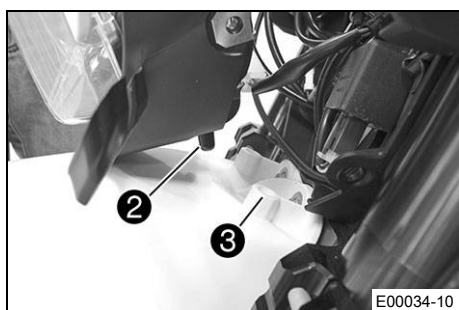
15.8 ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り付ける



M01484-11

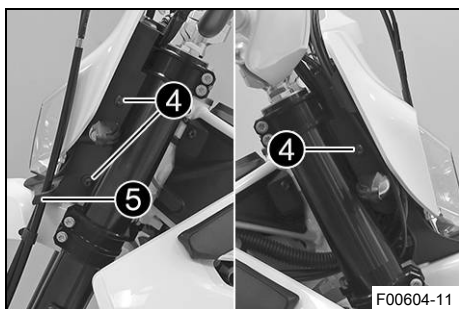
主な作業

- ヘッドライトのコネクター①を接続します。
- 照明の機能を点検します。



E00034-10

- フェンダーから布を外し、ヘッドライトマスクの位置を調整します。
- ✓ 両方の突起部②がフェンダーに設けられた穴③にはまります。



- スクリュー④を取り付け、しっかりと締めます。

規定

ヘッドライトマスク 用スクリュー	M5	5 Nm
---------------------	----	------

- ホルダーにあるブレーキワイヤーとワイヤーハーネス⑤をかけます。

その後の作業

- ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 89)

15.9 ヘッドライトバルブを交換する

情報

反射板の損傷 反射板に油脂類が付着すると光度が低下します。

ランプのバルブに油脂類が付着していると熱により気化し、反射板に付着します。

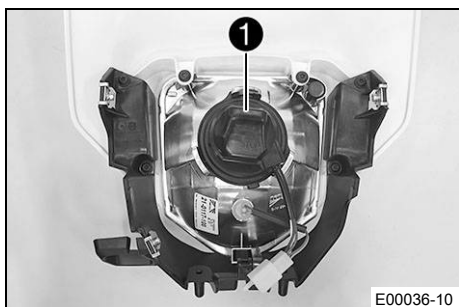
- 取り付け前にバルブを清掃し、油脂類を取り除きます。
- 素手でバルブに触れないで下さい。

準備作業

- ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り外します。(📖 頁 87)

主な作業

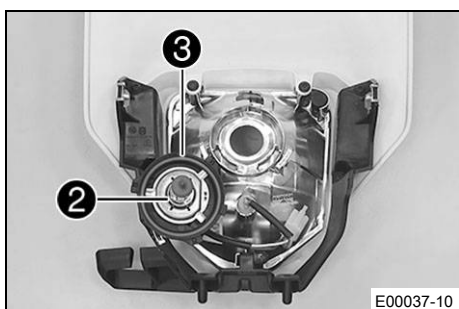
- 保護キャップ①を、その下にあるバルブソケットと一緒に時計と反対回りに最後まで回し切り、取り外します。



- ヘッドライトバルブ②を抜き取ります。
- 新しいヘッドライトバルブを取り付けます。

ヘッドライト (H4 / ソケット P43t) (📖 頁 117)

- 保護キャップをバルブソケットと一緒に反射板に取り付け、時計回りに最後まで回し切ります。



参考

i Oリング③がきちんとはまっているか確認して下さい。

その後の作業

- ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り付けます。(📖 頁 87)
- ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 89)

15.10 パーキングライトのバルブを交換する

情報

反射板の損傷 反射板に油脂類が付着すると光度が低下します。

ランプのバルブに油脂類が付着していると熱により気化し、反射板に付着します。

- 取り付け前にバルブを清掃し、油脂類を取り除きます。
- 素手でバルブに触れないで下さい。

準備作業

- ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り外します。
(📖 頁 87)

主な作業

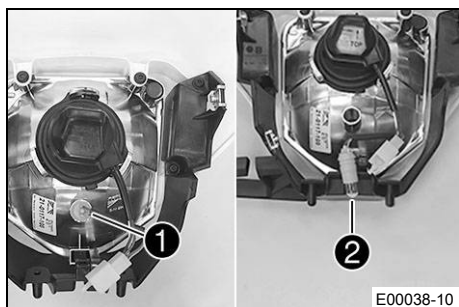
- バルブソケット①を反射板から取り外します。
- パーキングライトのバルブ②をバルブソケットから抜きます。
- 新しいパーキングライトのバルブをバルブソケットに差し込みます。

ポジションライト (W5W / ソケット W2, 1x9.5d) (📖 頁 117)

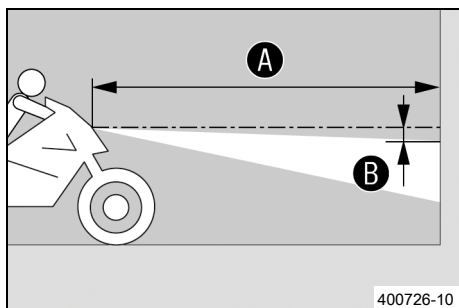
- バルブソケットを反射板に取り付けます。

その後の作業

- ヘッドライトマスクとヘッドライトを取り付けます。
(📖 頁 87)
- ヘッドライトの設定を点検します。(📖 頁 89)



15.11 ヘッドライトの設定を点検する



- 明るい壁が前にある水平な地面の上に車両を立て、ヘッドライトの中心の高さで壁に印を付けます。
- その印の下、(B)の距離にもう1つ印を付けます。

規定

距離 (B)	5 cm
--------	------

- 壁から (A) の距離に車両を垂直に立てます。

規定

距離 (A)	5 m
--------	-----

- ここでライダーが (必要に応じて荷物および同乗者と一緒に) 車両に乗ります。
- ロービームを点灯します。
- ヘッドライトの設定を点検します。

走行準備の整った車両に運転者が (必要に応じて荷物および同乗者と一緒に) 乗った状態で、明暗の境界が下側のマーキングとぴったり一致する事を確認して下さい。

» 明暗の境界が規定通りになっていない:

- ヘッドライトの照明距離を調節します。(📖 頁 90)

15.12 ヘッドライトの照明距離を調節する

準備作業

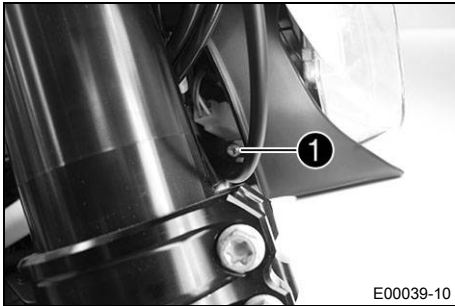
- ヘッドライトの設定を点検します。(P.89)

主な作業

- スクリュー①を緩めます。
- ヘッドライトを上下に動かして照明距離を調節します。

規定

走行準備の整った車両に運転者が乗った状態で、明暗の境界が下側のマーキング(「ヘッドライトの設定を点検する」で付けたマーキング)と一致する事を確認して下さい。



i 参考

積載量が変わると、ヘッドライト照明距離の再調節が必要となる事があります。

- スクリュー①をしっかりと締めます。

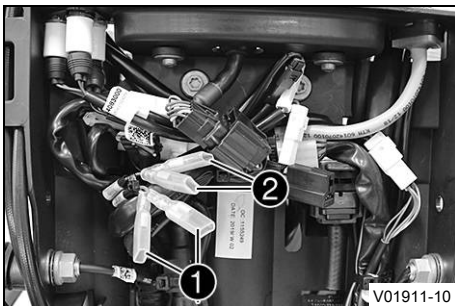
15.13 ACC1 と ACC2

取り付け位置

- 電源 ACC1①と ACC2②はヘッドライトマスクの裏にあります。

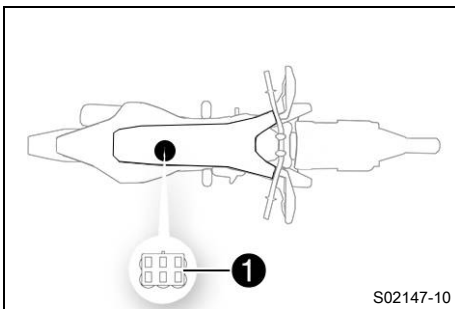
i 参考

電源はヒューズで保護されており、またこのヒューズはその他の電装系部品も保護しています。これにより連続負荷はヒューズ値よりも格段に低くなっています。これより強いヒューズは決して使用しないで下さい。

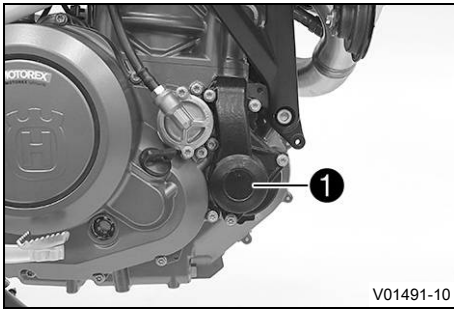


15.14 診断プラグ

診断プラグ①はエンジン制御ユニットの下に設置されています。

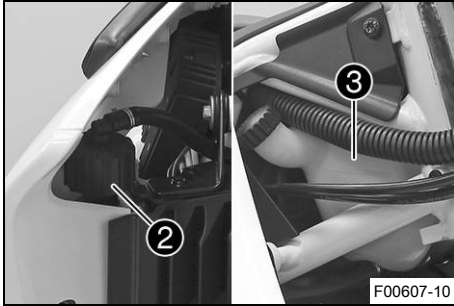


16.1 冷却システム



エンジン内のウォーターポンプ①により、クーラントが強制循環します。

熱により発生した冷却システム内の圧力は、ラジエーターキャップ②にあるバルブにより調整されます。熱膨張により余分となったクーラントが調節タンク③に流れ込みます。流れ込んだクーラントは、温度が下がるとまた冷却システムに吸い込まれます。これにより、クーラントが記載された温度まで上昇しても不具合を起こす事はありません。



125 °C

冷却は走行風と、高温になるとオンになる冷却ファンによって行われます。

速度が遅いほど冷却効果は低くなります。同様に、ラジエーターのフィンが汚れていると冷却効果が低くなります。

16.2 不凍液とクーラントのレベルを点検する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



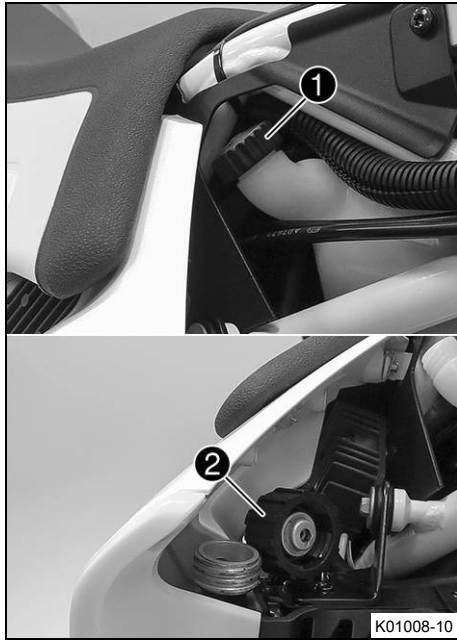
警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

条件

エンジンが冷えている。



- 車両をサイドスタンドで水平な地面の上に立てます。
- 調節タンクのキャップ①を外します。
- ラジエーターキャップ②を外します。
- クーラントの不凍効果を点検します。

-25 ... -45 °C

- » クーラントの不凍効果が規定通りになっていない:
 - クーラントの不凍効果を調整します。
- 調節タンクのクーラントのレベルを点検します。

クーラントのレベルが両マーキングの間にあることを確認して下さい。

- » クーラントのレベルが規定通りになっていない:
 - クーラントのレベルを調整します。

クーラント (📖 頁 124)

- 調節タンクのキャップ①を取り付けます。
- ラジエーター内のクーラントのレベルを確認します。

ラジエーターがクーラントで満たされている事を確認して下さい。

- » クーラントのレベルが規定通りになっていない:
 - クーラントのレベルを調節し、クーラントが減少した原因を突き止めます。
- ラジエーターキャップ②を取り付けます。

16.3 クーラントのレベルを点検する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



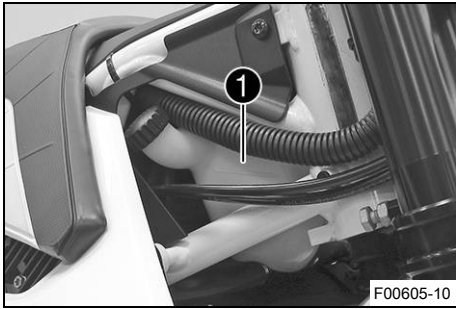
警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

条件

エンジンが冷えている。



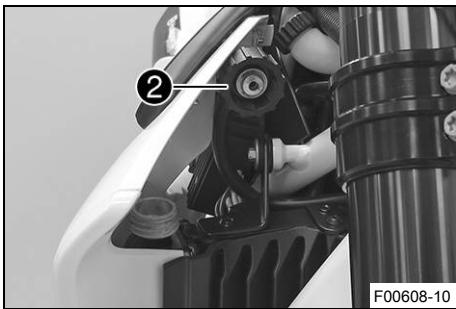
- 車両をサイドスタンドで水平な地面の上に立てます。
- 調節タンク①に入っているクーラントのレベルを確認します。

クーラントのレベルが両マーキングの間にあることを確認して下さい。

» クーラントのレベルが規定通りになっていない:

- クーラントのレベルを調整します。

クーラント (📖 頁 124)



- ラジエーターキャップ②を取り外し、ラジエーター内のクーラントのレベルを点検します。

ラジエーターがクーラントで満たされている事を確認して下さい。

» クーラントのレベルが規定通りになっていない:

- クーラントのレベルを調節し、クーラントが減少した原因を突き止めます。

クーラント (📖 頁 124)

- ラジエーターキャップを取り付けます。



16.4 クーラントを排出する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



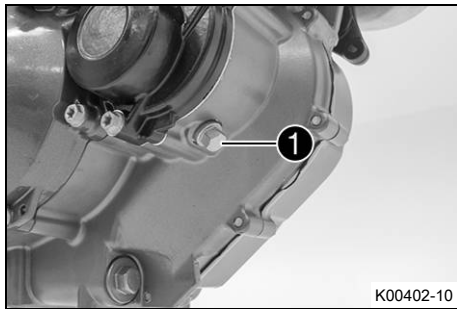
警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

条件

エンジンが冷えている。



- 車両を垂直に立てます。
- 適切な容器をエンジンの下に置きます。
- スクリュー①をシールリングと一緒に外します。
- ラジエーターキャップを外します。
- クーラントが完全に流れ出るまで待ちます。
- スクリュー①を新しいシールリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

ウォーターポンプ排水口用スクリューラグ	M10x1	15 Nm
---------------------	-------	-------

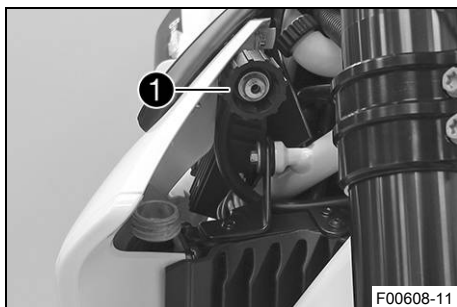
16.5 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをする



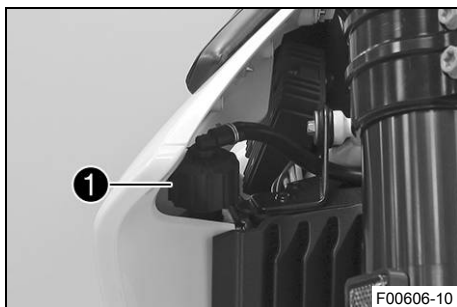
警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



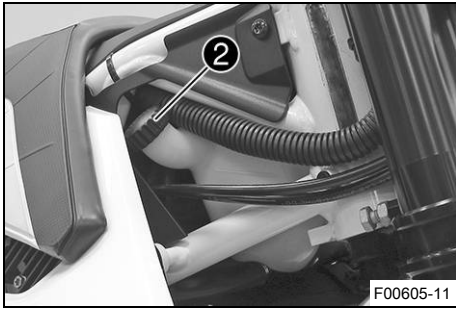
- 車両をサイドスタンドで水平な地面上に立てます。
- ラジエーターキャップ①を外します。



- クーラントを注入します。

クーラント	1.20 L	クーラント (頁 124)
-------	--------	-------------------

- ラジエーターをクーラントで満たします。
- ラジエーターキャップ①を取り付けます。



- 調節タンクのキャップ②を外します。
- クーラントを両マーキングの間のレベルまで補充します。
- 調節タンクのキャップを取り付けます。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼動する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼動状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、暖気運転します。
- エンジンを停止して冷めるのを待ちます。
- クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 92)

16.6 クーラントを交換する



警告

火傷の危険性 クーラントは運転中、非常に熱く、圧力がかかっています。

- エンジンまたは冷却システムが作動温度状態にある場合、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けないでください。
- 冷却システムとエンジンを冷ましてから、ラジエーター、冷却管その他冷却システムの構成部品を開けてください。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



警告

中毒の危険性 クーラントは毒性で、健康に害を及ぼします。

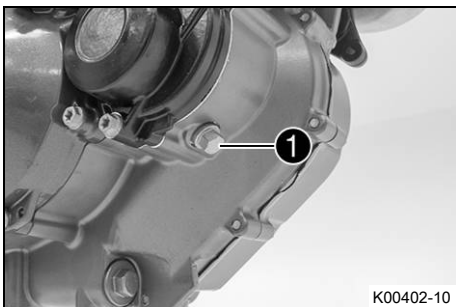
- クーラントは子供の手の届かないところに保管してください。
- クーラントが皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- クーラントを飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- クーラントが目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- クーラントが衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。

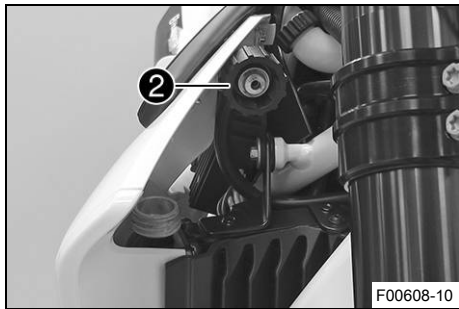
条件

エンジンが冷えている。

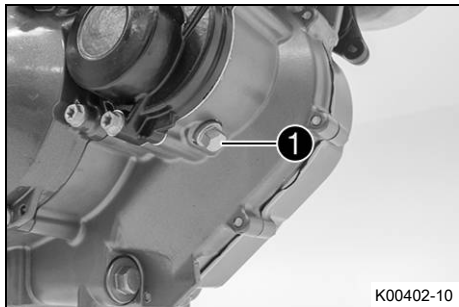
主な作業

- 車両を垂直に立てます。
- 適切な容器をエンジンの下に置きます。
- スクリュー①をシールリングと一緒に外します。





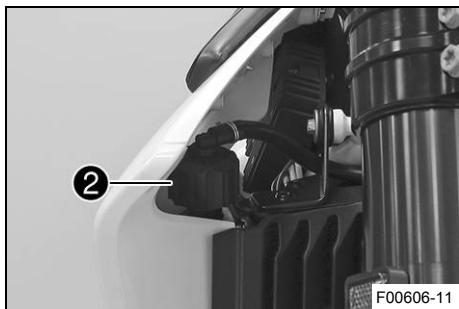
- ラジエーターキャップ②を外します。
- クーラントが完全に流れ出るまで待ちます。



- スクリュー①を新しいシールリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

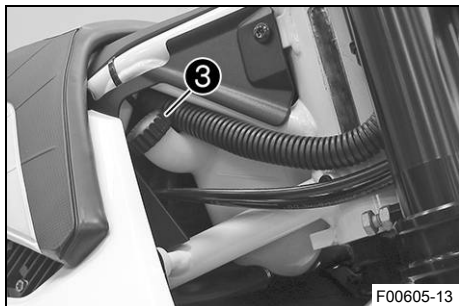
ウォーターポンプ排水口用スクリューラグ	M10x1	15 Nm
---------------------	-------	-------



- 車両をサイドスタンドで水平な地面の上に立てます。
- クーラントを注入します。

クーラント	1.20 L	クーラント (📖 頁 124)
-------	--------	--------------------

- ラジエーターをクーラントで満たします。
- ラジエーターキャップ②を取り付けます。



- 調節タンクのキャップ③を外します。
- クーラントを両マーキングの間のレベルまで補充します。
- 調節タンクのキャップ③を取り付けます。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、暖気運転します。
- エンジンを停止して冷めるのを待ちます。

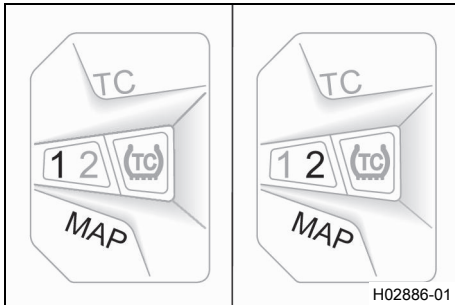
その後の作業

- クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 92)

17.1 走行モードを変更する

参考

コンビネーションスイッチのキーMAPを利用して希望の走行モードに切り替えることができます。始動の際、前回選択された設定が再びオンになります。走行モードは走行中に変更することもできます。



条件

スロットルグリップが開いていない状態です。

- LEDが希望の走行モードを表示するまでキーMAPを押します。走行モード1はSTREETを意味し、走行モード2はSPORTを意味します。

- ✓ STREET - 安定した反応特性
- ✓ SPORT - ダイレクトな反応特性

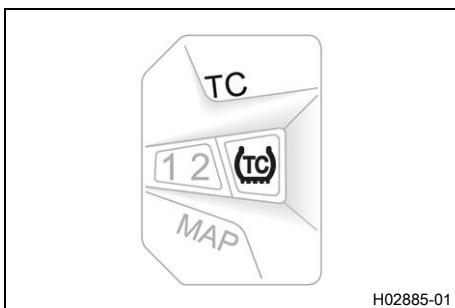
参考

走行モードは吸気特性のみを変更するものです。両走行モードでは認可出力を利用することができます。走行モード2ではトラクションコントロールにより、前輪のスリップおよび上昇が増加します。走行モード2では、ABSがABSモードSupermotoに切り替わります。

17.2 トラクションコントロールを設定する

参考

トラクションコントロールはイグニッションがオンになると有効化されます。後輪でトラクションが失われると、トラクションコントロールがエンジントルクを下げます。トラクションコントロールがオフになっていると、大きく加速した場合や路面へのグリップ力が低下している場合に後輪が空転し、転倒する恐れがあります。トラクションコントロールは走行中にも設定することができます。トラクションコントロールは、最低速度に達し、セルフテストが終了した場合にのみ無効化することができます。



トラクションコントロールをオフ：

条件

スロットルグリップが開いていない状態です。

無効化する前の走行速度: ≥ 4 km/h

- TCキーを5秒間押し続けます。

- ✓ トラクションコントロールがオフになるとTCLEDが点灯します。

トラクションコントロールをオン：

条件

スロットルグリップが開いていない状態です。

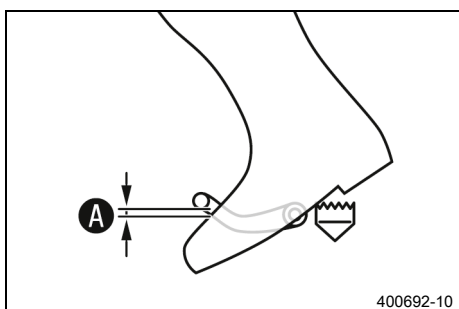
- TCキーを5秒間押し続けます。

- ✓ トラクションコントロールがオンになるとTCLEDが点灯しません。

i 参考
 TC インジケータランプと両走行モードが同時に点灯している場合、トラクションコントロールの不具合が検出されます。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。

17.3 シフトレバーの基本位置を点検する

i 参考
 走行中、シフトレバーが基本位置にある状態でブーツに触れることがないように調節して下さい。シフトレバーが常時ブーツに接触していると、トランスミッションに過剰な負荷がかかります。

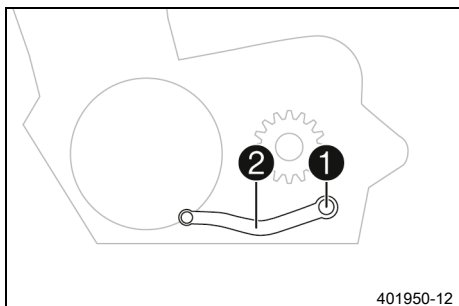


- ライディングポジションで車両に乗り、ブーツの上端とシフトレバーの距離 **A** を確認します。

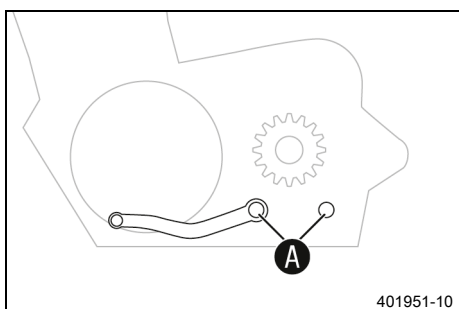
シフトレバーからブーツ上端までの距離	10 ... 20 mm
--------------------	--------------

- » 距離が規定通りになっていない:
 - シフトレバーの基本位置を調整します。🔧 (📖 頁 98)

17.4 シフトレバーの基本位置を調整する 🔧



- スクリュー **1** をワッシャーと一緒に取り外し、シフトレバー **2** を取り外します。



- シフトレバーとシフトシャフトの歯 **A** を清掃します。
- シフトレバー **2** を好みの位置でシフトシャフトに差し込み、歯をかみ合わせます。

i 参考
 設定範囲には限界があります。シフト操作の際にシフトレバーが車両の他の部品に触れないように調節して下さい。

- スクリュー **1** をワッシャーと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

シフトレバー用 スクリュー	M6	14 Nm Loctite®243™
------------------	----	------------------------------

18.1 燃料スクリーンを交換する



危険

火事の危険 燃料は可燃性です。

フューエルタンク内の燃料は熱により膨張し、溢れ出てしまうことがあります。

- 炎や火のついたタバコの近くで車両に給油しないでください。
- 給油の際にはエンジンを停止してください。
- 特に車両部品に燃料がこぼれることがないように注意してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 給油の際には燃料給油に関する注意事項を参照してください。



警告

中毒の危険性 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

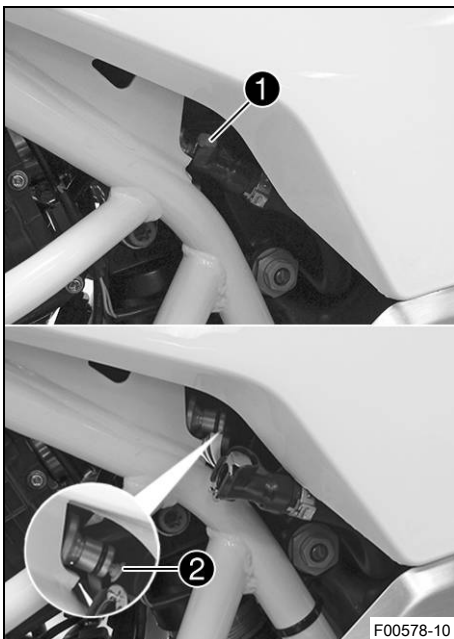
- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。



情報

環境汚染 燃料の不適切な取り扱いは、環境汚染の原因となります。

- 燃料を地下水、土壌、下水道に流してはいけません。



- クイックカップリング①を圧縮空気で念入りに清掃します。



参考

燃料ホースに汚れが絶対に入らないよう注意して下さい。汚れが入り込むとインジェクションバルブが詰まる原因となります。

- クイックカップリング①を外します。
- 接続部から燃料スクリーン②を取り出します。
- 新しい燃料スクリーンを接続部に差し込み、最後まで押し込みます。
- 糸くずの出ない布にシリコンスプレーを吹きかけ、クイックカップリングのOリングを軽くグリースアップします。

シリコンスプレー (📖 頁 126)

- クイックカップリングを差し込みます。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼動する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼動状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、きちんと作動するか点検します。

18.2 エンジンオイルのレベルを点検する

条件

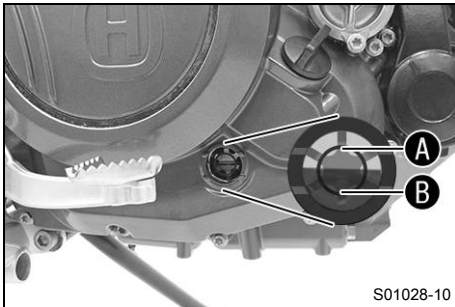
エンジンが作動温度に達している。

準備作業

- 車両を水平な地面の上で垂直に立てます。

主な作業

- エンジンオイルのレベルを点検します。



参考

エンジンを停止した後、1分待ってから確認します。

エンジンオイルのレベルがAとBの間にあるように調整します。

- » エンジンオイルのレベルがBのマーキングを下回っている:
 - エンジンオイルを補給します。(頁 103)
- » エンジンオイルのレベルがAのマーキングを上回っている:
 - エンジンオイルのレベルを調整します。

18.3 エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃する



警告

火傷の危険性 エンジンオイル並びにミッションオイルは運転中非常に熱くなっています。

- 適切な保護服、保護手袋を着用して下さい。
- 火傷した場合、速やかにその部位をぬるま湯に浸して下さい。



情報

環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリース、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。

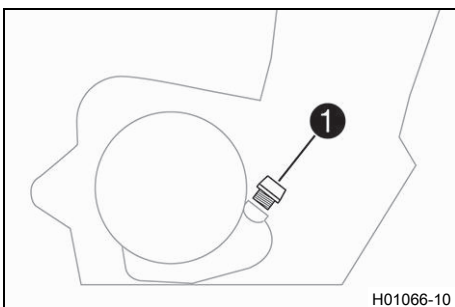


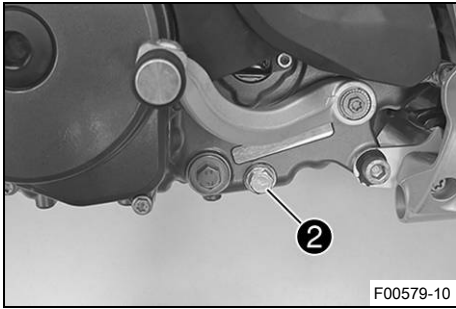
参考

エンジンオイルをエンジン暖機状態で排出します。

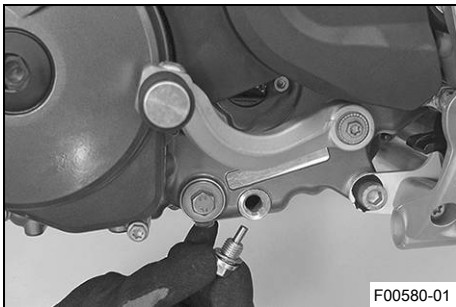
主な作業

- 適切な容器をエンジンの下に置きます。
- オイルフィルターボルト①をOリングと共に外します。





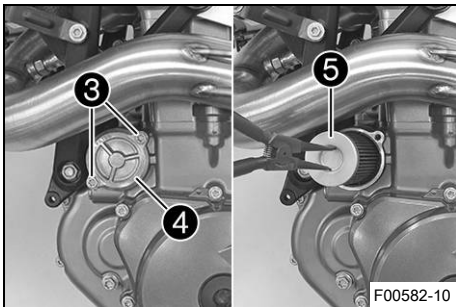
- マグネットオイルドレインボルト②をシールリングと一緒に外します。
- エンジンオイルが完全に流れ出るまで待ちます。



- マグネットオイルドレインボルトを念入りに清掃します。
- マグネットオイルドレインボルトを新しいシールリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

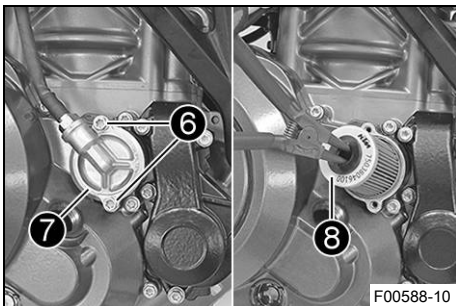
規定

マグネットオイルドレインボルト	M12x1.5	20 Nm
-----------------	---------	-------



- スクリュー③を外します。オイルフィルターカバー④をOリングと一緒に取り外します。
- オイルフィルター⑤をフィルターケースから取り出します。

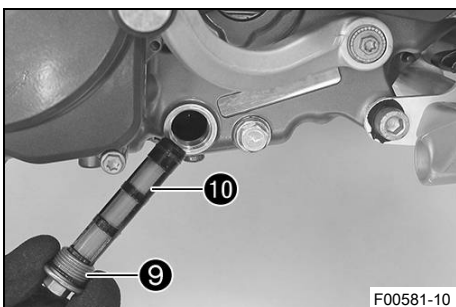
□ックリング用ペンチ (51012011000)



- スクリュー⑥を外します。オイルフィルターカバー⑦をOリングと一緒に取り外します。
- オイルフィルター⑧をフィルターケースから取り出します。

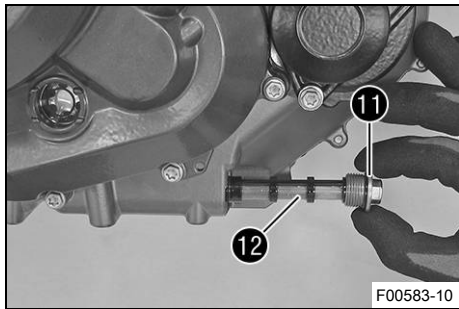
□ックリング用ペンチ (51012011000)

- エンジンオイルが完全に流れ出るまで待ちます。
- 部品とシール面を念入りに清掃します。

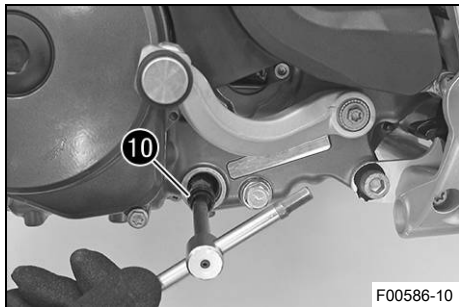


- スクリュープラグ⑨をオイルスクリーン⑩およびOリングと一緒に取り外します。

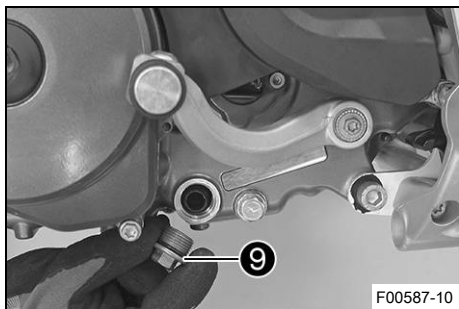
18 エンジンで行うサービス作業



- スクリュープラグ⑪をオイルスクリーン⑫およびOリングと一緒に取り外します。
- エンジンオイルが完全に流れ出るまで待ちます。
- 部品とシール面を念入りに清掃します。



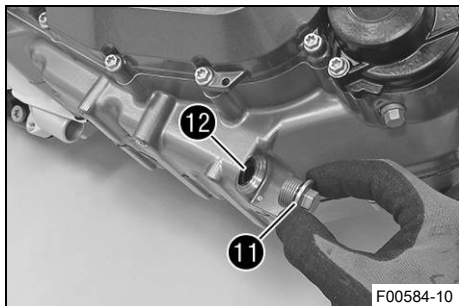
- オイルスクリーン⑩の位置をOリングと一緒にピンスパナで調整します。
- エンジンケースの反対側にあるスクリュープラグの穴にピンスパナを通して位置を調整します。
- オイルスクリーンをエンジンケースに最後まで押し込みます。



- スクリュープラグ⑨をOリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

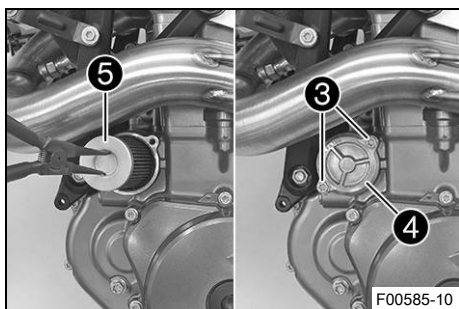
オイルスクリーン用 スクリュープラグ	M20x1.5	15 Nm
-----------------------	---------	-------



- オイルスクリーン⑫とOリングの位置を調整します。
- スクリュープラグ⑪をOリングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。

規定

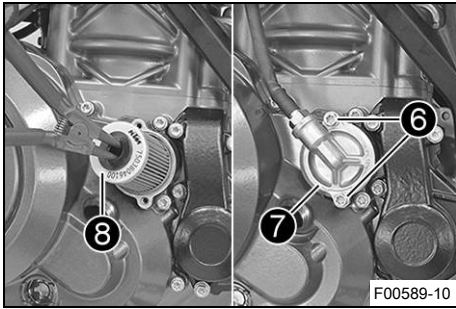
オイルスクリーン用 スクリュープラグ	M20x1.5	15 Nm
-----------------------	---------	-------



- 新しいオイルフィルター⑤を取り付けます。
- オイルフィルターカバーのOリングにオイルを差します。オイルフィルターカバー④の位置を調整します。
- スクリュー③を取り付け、しっかりと締めます。

規定

オイルフィルターカ バー用スクリュー	M5	6 Nm
-----------------------	----	------



- 新しいオイルフィルター⑧を取り付けます。
- オイルフィルターカバーの O リングにオイルを差します。オイルフィルターカバー⑦の位置を調整します。
- スクリュー⑥を取り付け、しっかりと締めます。

規定

オイルフィルターカバー用スクリュー	M5	6 Nm
-------------------	----	------

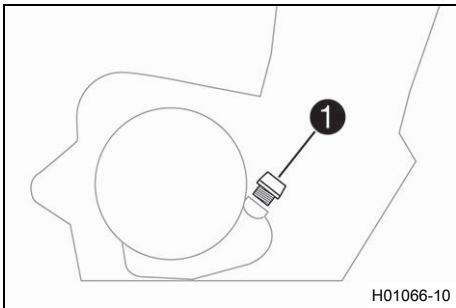
- クラッチカバーの部分にエンジンオイルを注入します。

エンジンオイル	1.70 L	エンジンオイル (SAE 10W/50) (📖 頁 124)
---------	--------	--------------------------------



参考

エンジンオイルが少な過ぎる場合やエンジンオイルの質が悪いと、エンジンの摩耗を早める事になります。



- オイルフィルターボルト①を O リングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。



危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、漏れがないか確認します。

その後の作業

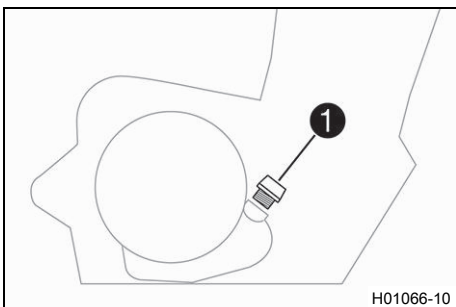
- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 100)

18.4 エンジンオイルを補給する



参考

エンジンオイルが少な過ぎる場合やエンジンオイルの質が悪いと、エンジンの摩耗を早める事になります。



主な作業

- オイルフィルターボルト①を O リングと一緒に外し、エンジンオイルを注入します。
- エンジンオイルを点検窓の中心まで注入します。

エンジンオイル (SAE 10W/50) (📖 頁 124)

参考

エンジンオイルの性能を最大限に引き出すには、異なったエンジンオイルを混ぜて使用する事は望ましくありません。

Husqvarna Motorcycles では、必要に応じてエンジンオイルを交換する事をお勧めしています。

- オイルフィルターボルト **①** を O リングと一緒に取り付け、しっかりと締めます。




危険

中毒の危険性 排気ガスは毒性があり、意識不明や死亡の原因となる恐れがあります。

- エンジンを稼働する際は十分に換気が行えるように常に確認してください。
- 閉め切った室内でエンジンを始動したり、稼働状態にする場合は、適切な排気ガス抽出装置を使用してください。

- エンジンをかけ、漏れがないか確認します。

その後の作業

- エンジンオイルのレベルを点検します。( 頁 100)

19.1 洗車をする

情報

部品の損傷 高圧洗浄機の誤った使用により部品が破損することがあります。

高圧により水分が電気部品、プラグ、ケーブル、ベアリングに侵入します。

圧力が高すぎるとエラーや部品破損の原因となります。

- 水流が直接電気部品、プラグ、ケーブル、ベアリングにあたらないように注意してください。
- 高圧洗浄機のジェットと部品間の最低間隔を維持してください。

最低間隔 60 cm



情報

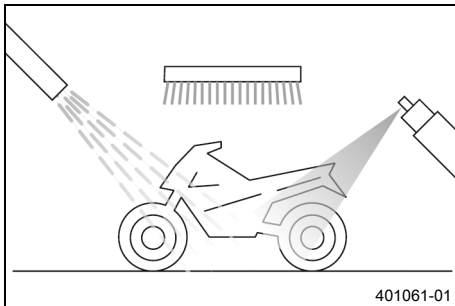
環境汚染 問題物資が環境汚染の原因となります。

- オイル、グリス、フィルター、燃料、洗浄剤、ブレーキフルードなどは、定められた規則に従い正しく廃棄して下さい。



参考

品質や外観を長く保持するため、洗車は定期的に行って下さい。
洗車中は車両に直射日光が当たらないよう注意して下さい。



- 水が入らないように排気装置をふさぎます。
- 大きな汚れはあらかじめ弱い水流で落としておきます。
- 汚れがひどい箇所には市販のモーターサイクル洗浄剤を吹きつけ、ブラシで汚れを落とします。

モーターサイクル用洗浄剤 (📖 頁 126)



参考

洗車には市販のモーターサイクル洗浄剤を入れた温水と柔らかいスポンジを使用して下さい。

乾燥した車両に直接モーターサイクル洗浄剤を付けることは絶対にせず、必ず事前に車両を水ですすいで下さい。

凍剤防止用の塩が散布された道路を走行した後は、冷水で洗車して下さい。温水を使うと塩の作用を促進してしまいます。

- 弱い水流で念入りにすすいだ後、車両をよく乾燥させます。
- 排気装置をふさいでいる栓を外します。



警告

事故の危険性 水分や汚れはブレーキシステムに影響を及ぼします。

- ブレーキパッドとブレーキディスクを乾燥させ汚れを落とすために何度か慎重にブレーキをかけてください。

- 洗車後、エンジンが作動温度に達するまで短い距離を走行します。

i 参考

熱によりエンジンやブレーキシテムの手の届かない場所にある水分も蒸発します。

- ハンドルまわりのカバーキャップをずらし、ここに入り込んだ水分も蒸発させます。
- 車両の温度が下がったら全てのスライド部とベアリング部をグリースアップします。
- チェーンを清掃します。(📖 頁 57)
- 塗装されていない金属製部品 (ブレーキディスクと排気装置を除く)には、腐食防止剤を塗布します。

ラッカー塗装、金属、ゴム用手入れ剤 (📖 頁 126)

- ラッカー塗装されている全部品に刺激の少ないラッカー専用の手入れ剤を塗布します。

Perfect Finish およびラッカー塗装用光沢剤 (📖 頁 126)

i 参考

部品の品質が著しく損なわれるため、納車状態で光沢のないプラスチック部品は磨かないで下さい。

- プラスチック部品およびパウダーコーティングされている部品は全て刺激の少ない洗浄・手入れ剤で手入れをします。

ラッカー塗装 (光沢、非光沢)、金属、プラスチック専用洗浄剤 (📖 頁 126)

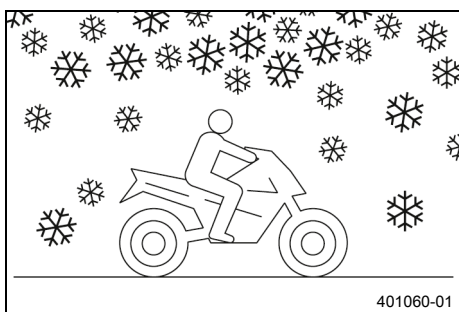
- イグニッション/ハンドルロックをグリースアップします。

汎用オイルスプレー (📖 頁 126)

19.2 冬季運転における点検・メンテナンス作業

i 参考

冬季にも車両を使用する場合は、凍結防止のために路上に散布された塩の存在を考慮しなければなりません。刺激が強い塩に対する予防対策を講じておく必要があります。塩が撒かれた道路を走行した後は、必ず冷たい水で洗浄し、良く乾かしてください。温水の使用は塩の作用を促進します。



- 洗車をします。(📖 頁 105)
- ブレーキシテムを清掃します。

i 参考

撒き塩された道路を走行する毎に、ブレーキキャリアとブレーキパッド (冷えており、取り付けられたままの状態) を冷たい水で入念に洗浄し、よく乾かしてください。

塩が撒かれた道路を走行した後は、車輛を必ず冷たい水で洗浄し、良く乾かしてください。

- エンジンやスイングアームをはじめ、塗装されていない部品や亜鉛メッキ加工された部品 (ブレーキディスクを除く)には全てワックス系腐食防止剤を塗布します。

**参考**

ブレーキディスクには腐食防止剤が付かないよう注意して下さい。ブレーキ性能が大幅に低下します。

- チェーンを清掃します。(📖 頁 57)



20.1 保管

**警告**

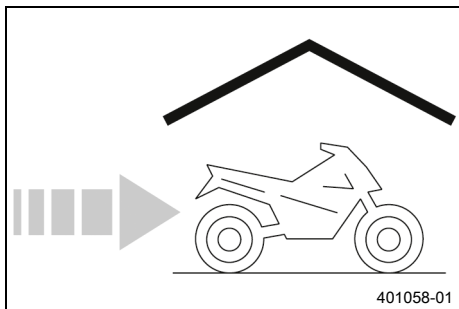
中毒の危険性 燃料は毒性で、健康に害を及ぼします。

- 燃料が皮膚、目、衣服に接触しないよう注意してください。
- 燃料を飲み込んでしまった場合、即座に受診してください。
- 気化した燃料を吸い込まないでください。
- 接触した部分の肌は即座に多量の水で洗ってください。
- 燃料が目にはいつてしまった場合、速やかに水で洗い落とし、受診してください。
- 燃料が衣服に付着した場合、衣服を取り替えてください。
- 燃料は適切なキャニスターに入れ、子供の手の届かない場所に保管して下さい。

**参考**

車両を長期にわたって使用しない場合は、以下に挙げた処置をご自身または正規ディーラーで行って下さい。

車両の保管前に全ての部品が機能するか、摩耗していないかを点検します。サービス作業、修理、改造が必要な場合は、ディーラーのサービスセンターが空いている保管時期に行う事をお勧めします。シーズン開始の混雑時を避ける事ができます。



- シーズンオフで使用を停止する前の最後の給油時に、燃料添加剤を加えます。

**参考**

燃料添加剤は保管期間の燃料を安定させ、次回の使用開始時に快適にエンジン始動を行うことができます。

- 燃料を給油します。(📖 頁 40)
- 洗車をします。(📖 頁 105)
- エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧(📖 頁 100)
- 不凍液とクーラントのレベルを点検します。(📖 頁 91)
- タイヤ空気圧を点検します。(📖 頁 79)
- 12V バッテリーを取り外します。🔧(📖 頁 81)
- 12V バッテリーを充電します。🔧(📖 頁 82)

規定

12V バッテリーの保管温度 (直射日光を避ける)	0 ... 35 °C
------------------------------	-------------

- 車両は乾燥した、急激な温度変化のない場所で保管して下さい。

**参考**

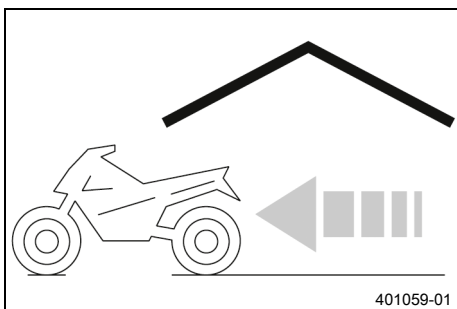
Husqvarna Motorcycles では車両を持ち上げて保管する事をお勧めしています。

- 車両をリアスタンドで持ち上げます。(📖 頁 49)
- フロントスタンドで車両を持ち上げます。(📖 頁 50)
- 通気性の良い防水シートかカバーで車両を覆います。

i 参考

空気を通さないカバーは湿気が逃げず、腐食の原因となりますので絶対に使用しないで下さい。
保管中にエンジンを短時間のみ作動すると、車両に非常に悪い影響を与えます。エンジンが十分に暖まらないため、燃焼の際に生じた水蒸気が結露し、バルブや排気装置のさびの原因となります。

20.2 保管後、運転操作の前に



- フロントスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)
- リアスタンドから車両を降ろします。(📖 頁 50)
- 12V バッテリーを充電します。🔌 (📖 頁 82)
- 12V バッテリーを取り付けます。🔌 (📖 頁 81)
- 時刻を設定します。(📖 頁 23)
- 運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業を実施します。(📖 頁 32)
- 試験走行を行います。

不具合	考えられる原因	対応
スタートキーを作動してもエンジンが回転しない	操作ミス	- エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 32)
	12V バッテリーが放電される	- 12V バッテリーを充電します。🔌 (📖 頁 82) - スタンバイ電流を点検します。🔌
	ヒューズ1、2、3のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85)
	メインヒューズが飛んでいる	- メインヒューズを交換します。(📖 頁 83)
	正しくアース接続されていない	- アース接続を点検します。
クラッチレバーを握らないとエンジンが回転しない	ギアが入っている	- ギアをニュートラルに入れます。
	ギアが入っており、サイドスタンドが出ている	- ギアをニュートラルに入れます。
エンジンが回転しているのにかからない	操作ミス	- エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 32)
	ヒューズ3が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85)
	クイックカップリングが差し込まれていない	- クイックカップリングを差し込みます。
	電子フューエルインジェクションの不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔌
	エンジン始動時にスロットルグリップを開いた	- エンジン始動の際、スロットルは 開かない で下さい。 - エンジン始動の作業ステップに従って下さい。(📖 頁 32)
エンジンの出力が低過ぎる	エアフィルターがひどく汚れている	- エアフィルターを取り外します。🔌 (📖 頁 56) - エアフィルターを取り付けます。🔌 (📖 頁 56)
	燃料スクリーンがひどく汚れている	- 燃料スクリーンを交換します。🔌 (📖 頁 99)
	燃料フィルターがひどく汚れている	- 燃圧を点検します。🔌
	電子フューエルインジェクションの不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔌
エンジンが異常に熱くなる	冷却システムのクーラントが少な過ぎる	- 冷却システムに漏れが無いか確認します。 - クーラントのレベルを点検します。(📖 頁 92)
	ラジエーターのフィンがひどく汚れている	- ラジエーターのフィンを清掃します。
	冷却システム内に気泡が発生している	- クーラントを排出します。🔌 (📖 頁 93) - 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。🔌(📖 頁 94)

不具合	考えられる原因	対応
エンジンが異常に熱くなる	ラジエーターホースが折れ曲がっている、または損傷している	- ラジエーターホースを交換します。🔧
	サーモスタットが故障している	- サーモスタットを点検します。🔧
	ヒューズ4が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85)
	冷却ファン装置が故障している	- 冷却ファン装置を点検します。🔧
	冷却システムに空気が入っている	- 冷却システムにクーラントを注入してエア抜きをします。🔧(📖 頁 94)
不具合インジケータランプが点灯または点滅	電子フューエルインジェクションの不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧
ギアがニュートラルに入っているのに、ニュートラルインジケータランプNが点灯しない	ギアセンサーがプログラムされていない	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールでエラーメモリーを解読します。🔧
走行中にエンジンが停止する	燃料不足	- 燃料を給油します。(📖 頁 40)
	ヒューズ1、2、3のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85)
ABS 警告ランプが点灯している	ヒューズが飛んでいる	- ABS のヒューズを交換します。(📖 頁 84)
	前輪と後輪の回転数に大きな差がある	- 停車してイグニッションを停止し、再スタートします。
	ABS の不具合	- Husqvarna Motorcycles 診断ツールで ABS のエラーメモリーを解読します。🔧
オイルの消費が多い	エンジンの空気抜きホースが折れ曲がっている	- 空気抜きホースが折れ曲がらないように配置し、必要に応じて交換します。
	エンジンオイルのレベルが高すぎる	- エンジンオイルのレベルを点検します。(📖 頁 100)
	エンジンオイルの濃度(粘度)が低すぎる	- エンジンオイルとオイルフィルターを交換し、オイルスクリーンを清掃します。🔧(📖 頁 100)
ヘッドライトとパーキングライトが機能しない	ヒューズ6が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85)
ターンシグナル、ブレーキライト、ホーンが機能しない	ヒューズ5が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85)
時計が表示されないまたは正しく表示されない	ヒューズ1が飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85) - 時刻を設定します。(📖 頁 23)
12V バッテリーが放電される	車両を停止した際、イグニッションをオフにしなかった	- 12V バッテリーを充電します。🔧(📖 頁 82)
	12V バッテリーがジェネレーターで充電されない	- 充電電圧を点検します。🔧 - スタンバイ電流を点検します。🔧
コンビネーションインストルメントのディスプレイに何も表示されない	ヒューズ1、2のいずれかが飛んでいる	- 各電装系部品のヒューズを交換します。(📖 頁 85) - 時刻を設定します。(📖 頁 23)

22.1 エンジン

構造	単気筒、4 ストローク、水冷エンジン
排気量	692.7 cm ³
ストローク	80 mm
ボア	105 mm
圧縮比	12.7:1
アイドリング回転数	
クーラントの温度: ≥ 70 °C	1,600 ... 1,700 rpm
駆動方式	OHC、吸気はカムレバーで、排気はロッカーレバーで制御、チェーン駆動
吸気バルブ直径	42 mm
排気バルブ直径	34 mm
冷えた状態でのバルブの遊び	
吸気: 20 °C	0.10 ... 0.15 mm
排気: 20 °C	0.22 ... 0.27 mm
クランクシャフトベアリング	2 シリンダーローラーベアリング
コンロッドベアリング	スライドベアリング
ピストンピンベアリング	DLCコーティングのピストンピン
ピストン	軽合金、鍛造
ピストンリング	1 コンプレッションリング、1 テーパーフェースリング、1 コイルスプリング付きオイルリング
エンジン潤滑方式	トロコイドポンプ 2 台によるセミドライサンプ潤滑
一次減速比	36:79
クラッチ	APTCTM アンチホッピング湿式クラッチ、油圧作動
ギア	6 速ギア常時噛合式
変速比	
1 速	14:35
2 速	16:28
3 速	20:27
4 速	21:23
5 速	23:22
6 速	23:20
混合気生成	電子フューエルインジェクション
イグニッション	非接触制御電子イグニッション、デジタルイグニッションコントローラー
ジェネレーター	12 V, 300 W
スパークプラグ	
内側のスパークプラグ	NGK LKAR9BI-10
外側のスパークプラグ	NGK LMAR7DI-10
スパークプラグ電極間のクリアランス	1.0 mm
冷却システム	水冷式、ウォーターポンプによるクーラントの常時循環
エンジンスタート装置	セルフスターターモーター、オートデコンプ

22.2 締付けトルク、エンジン

ダイヤフラム取り付け用スク リュー	M3	2 Nm	Loctite®243™
インテークフランジのホースクラ ンプ	M4	2.5 Nm	
クラッチ潤滑用オイルジェット	M4	2 Nm	
コンロッドベアリング潤滑用オイ ルジェット	M4	0.8 Nm	
オイルフィルターカバー用スク リュー	M5	6 Nm	
オイルポンプカバー用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
オイルリターンのカバープレート 用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
カムシャフトの軸ロック用スク リュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
ギアセンサー用スクリュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
クラッチスプリング用スクリュー	M5	6 Nm	
シフトシャフトセンサー用スク リュー	M5	5 Nm	Loctite®243™
シリンダーヘッド内オイルジェッ ト	M5	2 Nm	Loctite®243™
その他エンジン用スクリュー	M5	6 Nm	
ベアリングロック用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
固定ブラケット用スクリュー	M5	8 Nm	Loctite®243™
イグニッションコイル用スク リュー	M6	10 Nm	
ウォーターポンプカバー用スク リュー	M6	10 Nm	
ウォーターポンプホイール用スク リュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
エンジンケース用スクリュー	M6x25	10 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6x30	10 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6x70	10 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6x80	10 Nm	
エンジンケース用スクリュー	M6	10 Nm	
ガイドレール用スクリュー	M6x30	10 Nm	Loctite®2701™
ガイドレール用スクリュー	M6x20	10 Nm	Loctite®243™
カムシャフトベアリングブラケッ ト用スクリュー	M6x80	10 Nm	
カムシャフトベアリングブラケッ ト用スクリュー	M6x90	10 Nm	

カムシャフトベアリングブラケット用スクリュー	M6	10 Nm	
クラッチカバー用スクリュー	M6x25	10 Nm	
クラッチカバー用スクリュー	M6x30	10 Nm	
クラッチカバー用スクリュー	M6x35	10 Nm	
クラッチカバー用スクリュー	M6	10 Nm	
クラッチスレーブシリンダー用スクリュー	M6x20	10 Nm	
クラッチスレーブシリンダー用スクリュー	M6x20	10 Nm	
クラッチスレーブシリンダー用スクリュー	M6x35	10 Nm	
クランクシャフト回転数センサー用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
サーモスタットケース用スクリュー	M6	10 Nm	
ジェネレーターカバー(タイミン グチェーンシャフトの貫通穴)用ス クリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
ジェネレーターカバー用スク リュー	M6	10 Nm	
ジェネレーターカバー用スク リュー	M6x30	10 Nm	
シフトレバー用スクリュー	M6	14 Nm	Loctite®243™
シフトロック用スクリュー	M6	15 Nm	Loctite®243™
シリンダーヘッド用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
シリンダー用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
セルフスターターモーター用スク リュー	M6	10 Nm	
その他エンジン用スクリュー	M6	10 Nm	
タイミングチェーンシャフト用ス クリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
タイミングチェーンシャフト用ス クリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
チェーン落下防止金具	M6	5 Nm	
テンショナーレール用スクリュー	M6x30	10 Nm	Loctite®2701™
バルブカバー用スクリュー	M6	10 Nm	
レゾネータ用スクリュー	M6	10 Nm	
ロックレバー用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
固定子用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
二次エアシステムカバー用スク リュー	M6x12	10 Nm	Loctite®243™

ピストン冷却用オイルジェット	M6x0.75	4 Nm	
陰圧接続部 吸気チャンネル	M6x0.75	2.5 Nm	Loctite®2701™
カムシャフトベアリングブラケット用ヘッドレススクリュー	M8	6 Nm	Loctite®243™
ロッカーアームシャフト用スクリュー	M8x40	15 Nm	
ロッカーアームシャフト用スクリュー	M8x55	15 Nm	
ロックスクリュー用スクリュープラグ	M8	15 Nm	
排気管フランジ用スタッドボルト	M8	15 Nm	Loctite®243™
排気管フランジ用ナット	M8	20 Nm	コパペースト
シリンダーヘッド用スクリュー	M10	<p>締付け順序: タイミングチェーンシャフト側の後方のスクリューから順に、対角に締めていきます。 レベル 1 15 Nm レベル 2 30 Nm レベル 3 45 Nm レベル 4 60 Nm ねじ山にはグリースを塗布</p>	
ウォーターポンプ排水口用スクリュープラグ	M10x1	15 Nm	
オイルホース用スクリュー	M10x1	10 Nm	
オイルホール用スクリュープラグ	M10x1	15 Nm	Loctite®243™
スパークプラグ、外側	M10x1	11 Nm	
タイミングチェーンテンショナーロック解除用スクリュー	M10x1	8 Nm	
油圧スイッチ	M10x1	10 Nm	
スパークプラグ、内側	M12x1.25	18 Nm	
シリンダーヘッドにあるクーラント温度センサー	M12x1.5	12 Nm	
マグネットオイルドレインボルト	M12x1.5	20 Nm	
油圧制御バルブ用スクリュープラグ	M12x1.5	20 Nm	
オイルホール用スクリュープラグ	M14x1.5	15 Nm	Loctite®243™
エンジンケースのスクリューインアダプター	M16x1.5	25 Nm	Loctite®243™
ローター用ナット	M18x1.5	100 Nm	Loctite®243™
オイルスクリーン用スクリュープラグ	M20x1.5	15 Nm	

クラッチハブ用ナット	M20x1.5	120 Nm Loctite®243™
フロントスプロケット用ナット	M20x1.5	100 Nm Loctite®243™
第一ギア用ナット	M20LHx1.5	90 Nm Loctite®243™
ジェネレーターカバー用スク リュープラグ	M24x1.5	8 Nm
タイミングチェーンテンショナー 用スクリュープラグ	M24x1.5	25 Nm

22.3 容量

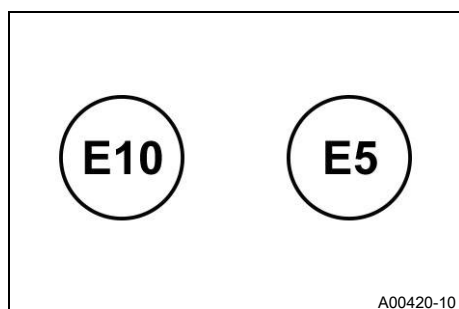
22.3.1 エンジンオイル

エンジンオイル	1.70 L	エンジンオイル (SAE 10W/50) (📖 頁 124)
---------	--------	-----------------------------------

22.3.2 クーラント

クーラント	1.20 L	クーラント (📖 頁 124)
-------	--------	-----------------

22.3.3 燃料



EU ガソリンスタンドのマーキングに注意して下さい。

フューエルタンク容量 (約)	12.7 L	無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95) (📖 頁 125)
----------------	--------	----------------------------------

予備燃料 (約)	1.8 L
----------	-------

22.4 シャーシ

フレーム	クロムモリブデン鋼スペースフレーム、パウダーコーティング
フロントフォーク	WP Suspension APEX 5348
ショックアブソーバー	WP Suspension APEX 5746
サスペンションストローク	
前方	215 mm
後輪	240 mm
ブレーキシステム	
前方	4ピストン式固定ラジアルブレーキキャリパー付き ディスクブレーキ、フローティングマウントブレーキ ディスク

後輪	ディスクブレーキ、シングルピストンブレーキキャリア、フローティングマウント
ブレーキディスク直径	
前方	320 mm
後輪	240 mm
ブレーキディスク磨耗限界	
前方	4.0 mm
後輪	4.5 mm
同乗者なしでのタイヤの空気圧	
前方	2.0 bar
後輪	2.0 bar
同乗者あり / 最大積載量でのタイヤの空気圧	
前方	2.0 bar
後輪	2.2 bar
二次減速比	16:42
チェーン	5/8 x 1/4" X リング
ステアリングヘッドアングル	63°
ホイールベース	1,476 ± 15 mm
負荷がない状態でのシート高	882 mm
負荷がない状態での最低地上高	237 mm
燃料を除いた重量 (約)	149.4 kg
前方許容最大軸重	150 kg
最大許容軸重後輪	200 kg
最大許容重量	350 kg

22.5 電装系

12V バッテリー	YTZ10S	バッテリー電圧: 12 V 定格容量: 8.6 Ah メンテナンスフリー
ヒューズ	58011109130	30 A
ヒューズ	75011088025	25 A
ヒューズ	75011088015	15 A
ヒューズ	75011088010	10 A
ヘッドライト	H4 / ソケット P43t	12 V 60/55 W
ポジションライト	W5W / ソケット W2、1x9.5d	12 V 5 W
コンビネーションインスツルメントの照明及びインジケータランプ	LED	
ターンシグナル	LED	
ブレーキライト / テールライト	LED	
ナンバープレートライト	LED	

22.6 タイヤ

フロントタイヤ	リアタイヤ
120/70 R 17 M/C 58H TL Continental ContiAttack SM EVO	160/60 R 17 M/C 69H TL Continental ContiAttack SM EVO
ここに示されるタイヤは標準装備が予定されているタイヤの一例です。下記アドレスのサービスで詳細をご確認下さい: www.husqvarna-motorcycles.com	

22.7 フロントフォーク

フロントフォークタイプナンバー	14.18.8S.12	
フロントフォーク	WP Suspension APEX 5348	
コンプレッションダンパー		
コンフォート	20 クリック	
スタンダード	15 クリック	
スポーツ	10 クリック	
最大積載時	10 クリック	
リバウンドダンパー		
コンフォート	20 クリック	
スタンダード	15 クリック	
スポーツ	10 クリック	
最大積載時	10 クリック	
スプリング長 (プリロードスパーサーを含む)	463 mm	
ばね定数		
ミドル (標準)	5.3 N/mm	
フロントフォーク長	879 mm	
各フォークレグのフロント フォークオイル量	590 ml	フロントフォークオイル (SAE 4) (48601166S1) (📖 頁 125)

22.8 ショックアブソーバー

ショックアブソーバータイプナンバー	15.18.7S.12
ショックアブソーバー	WP Suspension APEX 5746
コンプレッションダンパー低速	
コンフォート	20 クリック
標準	15 クリック
スポーツ	10 クリック
最大積載時	10 クリック
コンプレッションダンパー高速	
コンフォート	2 回転
スタンダード	1.5 回転
スポーツ	1 回転
最大積載時	1 回転
リバウンドダンパー	
コンフォート	20 クリック

スタンダード	15 クリック
スポーツ	10 クリック
最大積載時	10 クリック
スプリング係数	
標準	75 N/mm
全長	391 mm
ダンパーオイル (200 頁 124)	SAE 2.5

22.9 締付けトルク、シャーシ

コンビネーションインストルメント用スクリュー	EJOT PT® 45x12-Z	1 Nm
サイドスタンドセンサー用スクリュー	EJOT PT® K50x12	1 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	EJOT PT® K45x12	1 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	EJOT PT® K50x12	1 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	EJOT PT® K50x14	1 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	EJOT PT® K50x16	2 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	EJOT PT® K50x18	2 Nm
チェーンガード用スクリュー	EJOT PT® K50x18	1.5 Nm
ラジエータープロテクター用スクリュー	EJOT PT® K50x14	2 Nm
リアエンドカバーテールライト用スクリュー	EJOT PT® K50x12	2 Nm
左コンビネーションスイッチ用スクリュー	EJOT PT® K50x18	2 Nm
サイドスタンドセンサー用スクリューキャップ	M4	2 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	M4	3 Nm
シャーシ用その他のナット	M4	3 Nm
後輪スポークニップル	M4.5	4 Nm
前輪スポークニップル	M4.5	4 Nm
カバー用スクリュー	M5x12	3.5 Nm
シャーシ用その他のスクリュー	M5	5 Nm
シャーシ用その他のナット	M5	5 Nm
スイングアームに取り付けるブレーキワイヤーホルダー用スクリュー	M5	5 Nm
スポイラー用スクリュー(前)	M5x17	3.5 Nm
スロットルグリップ用スクリュー	M5	3.5 Nm
セルフスターターモーターのケーブル用スクリュー	M5	3 Nm
ナンバープレートホルダー用下部スクリュー	M5	3 Nm
フューエルタンクのフランジキャップ用スクリュー	M5	2.5 Nm

フューエルタンクへの後方下フェンダー用スクリュー	M5	5 Nm	
ブレーキペダルステップ用スクリュー	M5	6 Nm	Loctite®243™
フレームへのブレーキワイヤーホルダー用スクリュー	M5	2 Nm	
リアフェンダー用スクリュー	M5	2.5 Nm	
左コンビネーションスイッチ用スクリュー	M5	3.5 Nm	
電気装置ホルダー用スクリュー	M5	3 Nm	
燃料ポンプ用スクリュー	M5	4 Nm	
燃料レベルセンサー用スクリュー	M5	3 Nm	
排気管断熱プレート用スクリュー	M5	8 Nm	Loctite®243™
冷却ファン用スクリュー	M5	3.2 Nm	
12V バッテリー下部の電気装置ホルダー用スクリュー	M6	10 Nm	
ABS コントロールユニット用スクリュー	M6	5 Nm	
イグニッション用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
エアフィルターケース上部用スクリュー	M6	2 Nm	
クラッチ操作部用スクリュー	M6	5 Nm	
サイドスタンドのマグネットホルダー用スクリュー	M6	6 Nm	Loctite®243™
シートロック用スクリュー	M6	5 Nm	
シャーシ用その他のスクリュー	M6	10 Nm	
シャーシ用その他のナット	M6	10 Nm	
セルフスターターモーターへのバッテリーケーブル取り付け用スクリュー	M6	6 Nm	
その他フューエルタンク用スクリュー	M6	5 Nm	
タンクの電気装置ホルダー用スクリュー	M6	2 Nm	
チェーンガード用スクリュー	M6	2 Nm	Loctite®243™
チェーンガイド用スクリュー	M6	10 Nm	
チェーンスライダーガード用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
ナンバープレートホルダー用下部スクリュー	M6	8 Nm	
ナンバープレートホルダー用上部スクリュー	M6	8 Nm	
バッテリーコンパートメント用スクリュー	M6	2 Nm	
バッテリー電極用スクリュー	M6	4.5 Nm	

バルブ用ナット	M6	4.5 Nm	
ハンドブレーキフィッティング用 スクリュー	M6	5 Nm	
フットブレーキシリンダーのプッシュロッドボールジョイント用スクリュー	M6	10 Nm	Loctite®243™
フットブレーキシリンダー用スクリュー	M6	10 Nm	
ブレーキホースホルダー用スクリュー	M6	6 Nm	Loctite®243™
フレームの SLS バルブ用スクリュー	M6	4 Nm	
フレームへの ABS モジュール固定ブラケット取付け用スクリュー	M6	10 Nm	
フレームへのエアフィルターケース取付け用スクリュー	M6	6 Nm	
ラジエーターの空気抜き用スクリュー	M6	8 Nm	
ラジエーター取り付け部下用スクリュー	M6	8 Nm	
ラジエーター取り付け部上用スクリュー	M6	10 Nm	
リアフェンダー用スクリュー	M6	4 Nm	
レギュレーター用スクリュー	M6	8 Nm	
慣性測定ユニット用スクリュー	M6	8 Nm	
後輪ブレーキディスク用スクリュー	M6	14 Nm	Loctite®243™
後輪ブレーキのブレーキフルードリザーバー用スクリュー	M6	5 Nm	
車輪速度センサー用スクリュー	M6	6 Nm	Loctite®243™
前方シート取り付け部分用スクリュー	M6	5 Nm	
前方ブレーキディスク用スクリュー	M6	14 Nm	Loctite®243™
アッパートリプルランプ用スクリュー	M8	17 Nm	
サイドグリップ用スクリュー	M8	10 Nm	
サイドスタンド取り付けアーム用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
サイドスタンド取付けアームのスプリングホルダー用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
シャーシ用その他のスクリュー	M8	25 Nm	
シャーシ用その他のナット	M8	25 Nm	
シリンダーヘッドへのマニホール ド取り付け用ナット	M8		ナットを均等に締めます。プレートは曲げないでください。 コパペースト

ステアリングステム用スクリュー	M8	20 Nm	Loctite®243™
チェーンスライダー用スクリュー	M8	15 Nm	
ハンドルパークランプ用スクリュー	M8	20 Nm	
ハンドルバー末端部用スクリュー	M8	15 Nm	
ヒールプロテクター用スクリュー	M8x12	5 Nm	Loctite®243™
フォークレグのアクスル通し穴用スクリュー	M8	15 Nm	
フューエルタンクベアリング用スクリュー	M8	15 Nm	
フューエルタンク用下部スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
フューエルタンク用上部スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
ブレーキペダル用スクリュー	M8	25 Nm	Loctite®243™
フレームのコネクションレバー用スクリュー	M8	30 Nm	Loctite®243™
フロントスプロケットスクリュー用ナット	M8	35 Nm	Loctite®2701™
メインサイレンサーランプ用スクリュー	M8	12 Nm	コパペースト
メインサイレンサーホルダー用スクリュー	M8	25 Nm	
口アートリプルランプ用スクリュー	M8	12 Nm	
後部フットレストサポート用スクリュー	M8x16	25 Nm	
前方フットレストサポート用スクリュー	M8	25 Nm	
エンジン取り付けスクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
サイドスタンド用スクリュー	M10	35 Nm	Loctite®243™
シャーシ用その他のスクリュー	M10	45 Nm	
シャーシ用その他のナット	M10	45 Nm	
ショックアブソーバ用下部スクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
ショックアブソーバ用上部スクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
ハンドルアダプター用スクリュー	M10	45 Nm	Loctite®243™
フレームのエンジンホルダー用スクリュー	M10	45 Nm	
前方ブレーキキャリパーエア抜き用スクリュー	M10	25 Nm	
バンジョーボルト	M10x1	8 Nm	

ブレーキホース用バンジョーボルト	M10x1	25 Nm	
前方ブレーキキャリパー用スクリュー	M10x1.25	45 Nm	Loctite®243™
ラムダセンサー	M12x1.25	25 Nm	コパペースト
スイングアームピボット用スクリュー	M12x1.5	80 Nm	
スイングアームの角度付きレバー用ナット	M14x1.5	100 Nm	
角度付きレバーのコネクションレバー用ナット	M14x1.5	100 Nm	
ラジエーター温度センサー用スクリュー	M18	20 Nm	
ステアリングヘッド用下部スクリュー	M20x1.5	60 Nm	Loctite®243™
ステアリングヘッド用上部スクリュー	M20x1.5	12 Nm	
前方アクスルシャフト用スクリュー	M24x1.5	45 Nm	
後輪アクスルシャフト用ナット	M25x1.5	90 Nm	

エンジンオイル (SAE 10W/50)**規格 / 分類**

- JASO T903 MA2 (頁 127)
- SAE (頁 127) (SAE 10W/50)

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するエンジンオイルのみを使用して下さい。

100%化学合成エンジンオイル

推奨製品

- MOTOREX®**
- Power Synt 4T

クーラント**規定**

- アルミニウム製エンジン用腐食防止剤が混合され珪酸を含有しない高品質のクーラントのみを使用して下さい。低品質で不適切な不凍液は腐食、沈着、発泡の原因となります。
- 腐食防止や潤滑特性などはクーラントによってのみ可能なものですので、純水は使用しないで下さい。
- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するクーラントのみを使用して下さい。

耐凍結効果有効期間	-25 °C
-----------	--------

必要となる耐凍結効果得るために配合割合を調整しなければなりません。クーラントを薄める必要がある場合は蒸留水を使用して下さい。

事前調査されているクーラントの使用が推奨されています。

耐凍結効果、薄め方、他のクーラントとの混和性 (互換性) に関してはクーラントメーカーの指示に従って下さい。

推奨製品

- MOTOREX®**
- COOLANT M3.0

ダンパーオイル (SAE 2.5) (50180751S1)**規格 / 分類**

- SAE (頁 127) (SAE 2.5)

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するオイルのみを使用して下さい。

ブレーキフルード DOT 4 / DOT 5.1**規格 / 分類**

- DOT

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照) に適合し、これに応じた特性を有するブレーキフルードのみを使用して下さい。

推奨製品

- Castrol**
- REACT PERFORMANCE DOT 4
- MOTOREX®**
- Brake Fluid DOT 5.1

フロントフォークオイル (SAE 4) (48601166S1)

規格 / 分類

- SAE (📖 頁 127) (SAE 4)

規定

- 指定された規格 (タンク記載を参照)を満たし、使用環境に応じた品質のオイルのみを使用して下さい。

無鉛ハイオクガソリン (ROZ 95)

規格 / 分類

- DIN EN 228 (ROZ 95)

規定

- 指定内容に該当するまたは同等の無鉛プレミアムガソリンのみを使用して下さい。
- 最大 10%のエタノールを含む混合ガソリン (E10)を使用しても問題ありません。



参考

メタノール燃料 (M15、M85、M100 など)および 10%以上のエタノールを混合した燃料 (E15、E25、E85、E100 など)は**使用しない**で下さい。

Perfect Finish およびラッカー塗装用光沢剤

- 推奨製品
MOTOREX®
- Moto Shine

シリコンスプレー

- 推奨製品
MOTOREX®
- Silicone Spray

チェーンスプレー・ Street

- 規定
推奨製品
MOTOREX®
- Chainlube Road Strong

チェーン洗浄剤

- 推奨製品
MOTOREX®
- Chain Clean

モーターサイクル用洗浄剤

- 推奨製品
MOTOREX®
- Moto Clean

ラッカー塗装 (光沢、非光沢)、金属、プラスチック専用洗浄剤

- 推奨製品
MOTOREX®
- Quick Cleaner

ラッカー塗装、金属、ゴム用手入れ剤

- 推奨製品
MOTOREX®
- Moto Protect

耐久性グリース

- 推奨製品
MOTOREX®
- Bike Grease 2000

汎用オイルスプレー

- 推奨製品
MOTOREX®
- Joker 440 Synthetic

JASO T903 MA2

多岐にわたる技術開発を受け、モーターサイクル専用の規格、**JASO T903 MA2**が生まれました。以前はモーターサイクル専用の仕様がなく、モーターサイクルには乗用車のエンジンオイルが使われていました。

乗用車ではエンジンのサービス頻度を下げる事が重要である一方、モーターサイクルエンジンでは何よりも高回転数で高い出力を引き出す事が要求されます。

モーターサイクルでは、ギアやクラッチにエンジンと同じオイルが使用される事が珍しくありません。

JASO T903 MA2規格はこれら特殊な事象を考慮に入れた内容となっています。



SAE

SAE 粘度は米国の自動車技術者協会 (Society of Automotive Engineers)によって定められたもので、オイルをその粘度によってクラス分けするものです。粘度はオイルの一特性に過ぎず、その品質を表すものではありません。

-	Easy Shift	クラッチ操作を必要としないシフトのためのエンジン制御ユニットの機能
ABS	アンチロック・ブレーキシステム	直進走行中に車輪がロックしてハンドルが効かなくなってしまうのを防ぐ安全システム
OBD(オンボード・ダイアグノーシス)	オンボード診断	車両の電気系統の数値を監視する車両システム
MTC	バイクトラクションコントロール (モーターサイクルトラクションコントロール)	空転している後輪のエンジントルクを低減させるエンジン制御の補助機能





27.1 赤のマーク

赤のマークは直ちに対処すべきエラー状態を示します。

	クーラント温度警告ランプが赤く点灯-クーラントの温度が危険な値に達しています。交通規制に従った方法で速やかに停止し、エンジンを切り、冷却させてからフルードレベルを点検します。
	オイル圧力警告ランプが赤く点灯-油圧が低過ぎます。交通規制に従った方法で速やかに停車し、エンジンを止めます。




27.2 黄色とオレンジ色のマーク

黄色とオレンジ色のマークはできるだけ早く対処すべきエラー状態を示します。運転支援システムが作動している場合も同様に黄色またはオレンジ色のマークが表示されます。

	ABS 警告ランプが黄色に点灯 / 点滅-ABS警告ランプが点灯している場合、ABS はオンになっていません。ABS 警告ランプは不具合が検出された場合にも点灯します。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。ABS 警告ランプがゆっくりと点滅している場合、ABS モード Supermoto は有効です。
	燃料レベル警告ランプがオレンジに点灯-燃料レベルがリザーブマークに達しています。
	不具合インジケータランプがオレンジに点灯-OBD(オンボード・ダイアグノーシス) が車両の電気系統で不具合を検出しました。交通規制に従った方法で速やかに停車し、Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。
	TC インジケータランプが黄色に点灯 / 点滅-TC インジケータランプが点灯している場合、コーナリング MTC (頁 36) はオンになっていません。TC インジケータランプと両走行モードが同時に点灯している場合、不具合が検出されています。Husqvarna Motorcycles 正規ディーラーに連絡して下さい。TC インジケータランプはコーナリング MTC が稼働すると点滅します。

27.3 緑と青のマーク

緑と青のマークは情報を表示しています。

	ハイビームインジケータランプが青く点灯-ハイビームが点灯しています。
	ニュートラルインジケータランプが緑に点灯-ギアがニュートラルに入っています。
	ターンシグナルインジケータランプが緑に点滅-ターンシグナルが作動しています。

1	
12V バッテリー	
充電する	82
取り付ける	81
取り外す	81
A	
ABS	64
ABS のヒューズ	
交換する	84
ACC1	
前方	90
ACC2	
前方	90
E	
Easy Shift	36
あ	
アクセサリ	10
アンチロック・ブレーキシステム	64
い	
イグニッション	17
インジケータランプの表示	18
う	
運転操作の前に	
運転操作の前に必ず行う点検・メンテナンス作業	32
初めて運転操作を行う際の注意	29
保管後	109
え	
エアフィルター	
取り付ける	56
取り外す	56
エマージェンシーOFFスイッチ	16
エンジン	
慣らし運転をする	30
エンジンオイル	
交換する	100
補給する	103
エンジンオイルのレベル	
点検する	100
エンジン始動	32
エンジンナンバー	14
お	
オイルスクリーン	
清掃する	100
オイルフィルター	
交換する	100
オーナーズマニュアル	8
か	
各部の名称	
左前方	11
右後方	12
カスタマーサービス	10
環境	8
き	
キーナンバー	13
給油する	
燃料	40
く	
クーラント	
交換する	95
排出する	93
不凍液とクーラントのレベルを点検する	91
レベルを点検する	92
クラッチ	
フルードのレベルを点検・調節する	63
クラッチレバー	15
基本位置を調整する	62
け	
ケミカル類	10
牽引	39
こ	
交換部品	10
後輪	
取り付ける	75
取り外す	74
後輪のハブダンパー	
点検する	77
コーナリング MTC	36
誤使用	6
故障時	
牽引	39
コンビネーションインストルメント	
各部の名称	22
キロメートルかマイルを選択する	23
サービス時期を設定する	24
時刻を設定する	23
調節する	22
さ	
サービス	10
サービスプラン	42-43

サイドカバー			
取り付ける	54		
取り外す	54		
サイドグリップ	19		
サイドスタンド	20		
作業上の決まり	8		
し			
シート			
取り付ける	53		
取り外す	52		
リリース	19		
シフト操作	33		
シフトレバー	19		
基本位置を調整する	98		
基本位置を点検する	98		
車載工具			
収納する	53		
取り外す	53		
写真	10		
車両			
清掃する	105		
フロントスタンドから降ろす	50		
フロントスタンドで持ち上げる	50		
リアスタンドから降ろす	50		
リアスタンドで持ち上げる	49		
リフトスタンドから降ろす	49		
リフトスタンドでジャッキアップする	49		
車両識別番号	13		
車両に荷物を積む	30		
仕様一覧			
エンジン	112		
締付けトルク、シャーシ	119		
締付けトルク、エンジン	113		
シャーシ	116		
ショックアブソーバー	118		
タイヤ	118		
電装系	117		
フロントフォーク	118		
容量	116		
使用環境	6		
使用時の安全性	7		
使用目的	6		
ショックアブソーバー	44		
コンプレッションダンパー、全般	45		
コンプレッションダンパー高速を調節する	46		
コンプレッションダンパー低速を調節する	45		
リバウンドダンパーを調節する	47		
ショックアブソーバータイプナンバー	14		
診断プラグ	90		
		す	
		スタートキー	16
		スポークの張り	
		点検する	80
		スロットルグリップ	15
		せ	
		前輪	
		取り付ける	73
		取り外す	72
		そ	
		走行	33
		発進	33
		走行モード	
		変更する	97
		た	
		ターンシグナルスイッチ	16
		タイプラベル	13
		タイヤ空気圧	
		点検する	79
		タイヤの状態	
		点検する	77
		ち	
		チェーン	
		清掃する	57
		点検する	59
		汚れを点検する	57
		チェーンガイド	
		調節する	62
		点検する	59
		チェーンの遊び	
		設定する	58
		点検する	58
		駐車	38
		チュープレスタイヤシステム	79
		て	
		停止	38
		と	
		冬季運転	
		点検・メンテナンス作業	106
		同乗者用フットレスト	19
		トラクションコントロール	
		調節する	97
		トラブルシューティング	110-111
		に	
		荷物	30

ね	
燃料フィルター	
交換する	99
は	
パーキングライトのバルブ	
交換する	89
バンク修理剤	
使用法	80
ハンドルバーの位置	47
設定する	48
ハンドルロック	17
ひ	
ヒューズ	
各電装系部品を交換する	85
ふ	
フィルターキャップ	
閉じる	21
外す	20
フォークカバー	
取り付ける	52
取り外す	51
ブレーキ	37
ブレーキディスク	
点検する	65
ブレーキパッド	
(後輪ブレーキ)点検する	71
(前輪ブレーキ)点検する	68
ブレーキフルード	
(後輪ブレーキ)補給する	70
(前輪ブレーキ)補給する	67
ブレーキフルードのレベル	
(後輪ブレーキ)点検する	69
(前輪ブレーキ)点検する	66
ブレーキペダル	20
遊びを点検する	68
基本位置を調整する	69
ブレーキレバー	15
基本位置を調整する	65
ブレーキをかける	37
フロントスプロケット	
点検する	59
フロントフェンダー	
取り付ける	55
取り外す	55
フロントフォーク	44
コンプレッションレベルを調節する	44
ダストシールを清掃する	51
フォークレグでエア抜きをする	52
リバウンドレベルを調節する	44
フロントフォークのタイプナンバー	14
へ	
ヘッドライト	
照明距離を調節する	90
調整を点検する	89
ヘッドライトバルブを交換する	88
ヘッドライトマスクとヘッドライト	
取り付ける	87
取り外す	87
ほ	
法定保証	10
ホーンスイッチ	15
保管	108
保護服	8
め	
メインヒューズ	
交換する	83
メーカー保証	10
も	
モーターサイクルトラクションコントロール	36
ゆ	
油脂類	10
輸送	39
よ	
容量	
エンジンオイル	103, 116
クーラント	94, 96, 116
燃料	41, 116
ら	
ライトスイッチ	16
り	
リアスプロケット	
点検する	59
れ	
冷却システム	91
クーラントを注入してエア抜きをする	94



3402593ja

2021 年 11 月



Husqvarna Motorcycles GmbH
Stallhofnerstraße 3 | 5230 Mattighofen | オーストリア
www.husqvarna-motorcycles.com



写真: Mitterbauer/KISKA,
Husqvarna Motorcycles GmbH